



Webex コンタクト センターの キャンペーン マネージャー レポート マニュアル

バージョン 4.2.1.2401

米国本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Drive

San Jose, CA 95134-1706 USA

<http://www.cisco.com> Tel: 408 526-4000

800 553-NETS (6387) Fax: 408 527-0883

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。 All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

★定型★このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。★定型★マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

すべての印刷されたコピーおよび複製されたソフトコピーは非管理コピーと見なされ、元のオンラインバージョンを参照して最新版を確認する必要があります。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。アドレス、電話番号、FAX 番号は、Cisco のウェブサイト www.cisco.com/go/offices に一覧表示されています。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Cisco の商標の一覧を表示するには、この URL: www.cisco.com/go/trademarks に移動します。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

© 2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

目次

Reports	4
Real Time	5
Auto Refresh	6
Add Multiple Reports in different tabs	7
Reports Filter Criteria	7
Report Widgets Feature	8
Reports Type	8
Real Time Report Type	9
Historical Reports	12
Reports Filter Criteria	12
Call Outcome	13
Campaign Summary	16
DNC Blocked	17
Contact Attempt	18
Abandoned Percentage	21
Agent Disposition (Campaign-wise)	22
Contact Attempt Bucket	22
Agent Attempt	23
Agent Outcome	25
Callback	26
Global List Status	27
Right Party Connect (RPC)	27
Callback Trace	28
Email Outcome	30
Pass Dialing	30
Schedule Reports	32
Add Schedule Report	32
Edit a schedule	33
Delete a schedule	33
Fields	33
Data Extract	34
Storage Destination	36
Edit Data Extract	37
Delete Data Extract	38
Fields	38



Transaction Field Details	40
Master Field Details	93
Performance Metrics	149
Campaign Summary	149
Report Filter Criteria	151
Time Zones	151
Global List	152
Campaign Group	152
Campaign	152
List	152
CSS Group	152
CSS Group Condition	153

レポート

レポートは、コンタクトセンターでの発信コールに関する概要と詳細の両方の情報を提供します。キャンペーン、グループ、エージェントのパフォーマンスをカバーします。これらのレポートは、個別の試行データの詳細を提供したり、キャンペーンの傾向の要約（RPC、接続率など）を提供したりできます。

ユーザはレポートをデザインし、テンプレートとして保存するオプションがあります。フィルター条件により、特定の連絡先、通話、または結果にフィルターを絞り込むことにより、マイクロビューが可能になります。レポートは、コンタクトセンター内のアクティビティを 360 度見渡すことができる包括的な概要を提供します。

さらに、事前に構成された間隔でレポートをスケジュールしたり、固定データおよびトランザクション データに対してデータ抽出を構成することもできます。

キャンペーン マネージャー は次のタイプのレポートを提供します：

- ・ **リアルタイムレポート**：リアルタイムレポートは、現在実行中のキャンペーン、特に本日のキャンペーンに関するグラフデータを表示します。これらのレポートには間隔データが入力され、デフォルトでは 5 分ごとに更新されます。包括的なフィルター基準により、ユーザは上から下までデータを表示し、詳細な洞察をリアルタイムで提供できます。
- ・ **履歴レポート**：これらのレポートは前日以降の履歴データを利用して、コンタクトセンターのパフォーマンスに関する洞察を提供します。これらは、コンタクト、コール、結果、エージェントなど、コンタクトセンターのすべての面をカバーするほぼ完全なセットを形成します。レポートは、ユーザが選択したフィルター基準に基づいて入力されます。
- ・ **パフォーマンス ダッシュボード**：リアルタイム コンソールは、継続的に更新されるキャンペーンのデータを 15 秒の更新間隔で提供します。これには、試行率、RPC % (Right Party Connect の割合)、および包括的なキャンペーン コンタクトの統計などの主要なメトリックが含まれます。
- ・ **スクリプトデザイナーレポート**：スクリプトデザイナーを使って設定された双方向 SMS および通話ガイドアプリケーションモジュールに関連するすべてのレポートの詳細が記載されています。詳細は スクリプト デザイナーを参照してください。
- ・ **データ抽出**：レポートデータベースからの未加工のトランザクションおよび固定データのエクスポートを構成します。ユーザは、指定された時間での発信試行などの標準的なソースから、選択されたキャンペーングループまたはキャンペーンのデータを抽出できます。

メモ： /、:、*、?、<、>、および | などの特殊文字は使用しないでください。をファイル名の一部として使用できます。Webex コンタクトセンター アプリケーションでは、以下はサポートされていません。

- メール、SMS、IVR のキャンペーン
- 通知
- AEM (エージェント-エグゼクティブのマッピング) が発信します。

リアルタイム

リアルタイム レポートは、現在実行中のキャンペーン、特に当日のグラフ データを表示します。これらのレポートには間隔データが入力され、デフォルトでは 5 分ごとに更新されます。包括的なフィルター基準により、ユーザは上から下までデータを表示し、詳細な洞察をリアルタイムで提供します。リアルタイム レポートを設定することができます。

[レポート] > リアルタイムに移動します。既定のレポートには次のデータが表示されます。

フィールド	説明
合計 キャンペーン数	システムで利用できるキャンペーンの数を表示します。これはまた、アクティブ、非アクティブ、および終了したキャンペーンの数も示します。
アクティブ	現在実行中のキャンペーンの数です。キャンペーン状況は 実行中 です。
非アクティブ	現在実行されていないキャンペーンの数 キャンペーン状況は 一時停止中 または 停止 です。
終了 (Terminated)	終了日時を過ぎたキャンペーンの数です。キャンペーン状況は 時間が中断されました が、キャンペーン日時は現在の時刻より前でなければなりません。
合計コンタクト数 (Total Contacts)	すべてのキャンペーンでアプリケーションにアップロードされたコンタクトの合計数。これはまた、Open、Fresh (未ダイヤル)、スケジュール済み、クローズ済み、およびその他の連絡先の内訳を示します。
Open	指定されたフィルタ基準で現在開いている連絡先の数です。コンタクトの状況は オープン です <i>Delivered</i> を削除しました。
フレッシュ	指定されたフィルタ条件で 1 回も試行されなかった連絡先の数。連絡先の状況は次のとおりです。 [開いて 配信済み]。
再スケジュール済み	件のコンタクトが再スケジュールされ、現在オープンしています。コンタクトの状況は オープン です <i>Delivered</i> を削除しました。
終了 (Closed)	指定されたフィルタ基準でクローズしたコンタクトの数です。コンタクトの状況は [終了] です。
その他	配信を停止したコンタクトの数です。コンタクトの状況は スクラブ済み または フラッシュ済み です。
アップロードされた連絡先	すべてのキャンペーンでアップロードされたコンタクトの合計数と、成功したアップロード、失敗したアップロード、および重複の内訳。
成功 (Successes)	連絡先のテーブルに正常にアップロードされた連絡先の数です。



不具合	さまざまなエラーが原因で、連絡先の数を連絡先テーブルにアップロードできませんでした。 モードエラーは含まれません。
複製	連絡先の表で利用可能な重複記録が原因でアップロードに失敗した連絡先の数。ファイルで重複が発生したり、連絡先テーブルで利用できる重複があるかどうかは考慮されません。
パフォーマンス	本日ダイヤルされた連絡先の合計数と接続率。 固有の

	<p>コール アクティビティ テーブルの連絡先。</p> <p>接続率 - ダイヤルされた連絡先の合計数に対する、接続された連絡先の合計数の割合。 ダイヤルされた連絡先の合計は、今日ダイヤルされた固有の連絡先の数です。</p>
ビジネス パフォーマンス	<p>結果が [成功] とマークされたコンタクトの合計と、結果が成功したコンタクトの比率。 コール アクティビティ テーブルの固有連絡先の数。</p> <p>成功率 - 接続済みコンタクト総数に対する Business Success コンタクト総数の割合。</p>
試行回数	<p>単一の連絡先に対する複数の成功した接続を含む、複数の連絡先にわたってエージェントと正常に接続された試行回数を示します。 これには、業務上の理由および電話上の理由の両方で、再スケジュールされたコールでの接続が含まれます。</p> <p>試行率 - ダイヤルされたコール数の割合とダイヤルされた連絡先の数。 [試行率] インジケータは、各連絡先の平均試行回数を示します。</p>
接続中	<p>すべてのキャンペーンでエージェントと顧客の間で接続されたコール数と接続率を表示します</p> <p>接続試行率 - ダイヤルされたコール数のうち、接続されたコール数の割合。</p> <p>接続された通話数はライブ通話の結果である接続済みコンタクトの数であり、ライブ通話の結果はライブ通話の結果として有効になっている結果です。</p>
発信が禁止されました-	<p>すべてのコンタクトで、結果として放棄放棄の数を示します。</p> <p>ACR が無効になっている場合、放棄率は通話放棄とライブ通話の合計に対する通話放棄の割合です。</p>
AHT (平均処理時間)	<p>通話の平均処理時間 (HH:MM:SS 形式)。 これは、成功した通話時間と接続された通話数の比率です。</p>

リアルタイムレポートでは、次の作業を行うことができます。

自動更新

リアルタイム データは、設定した間隔で自動的に更新することができます。 既定の間隔は 5 分に設定されています。 この間隔を変更するには、Cisco サポートに連絡してください。

自動更新は設定されたタブでのみ機能し、すべてのタブでは機能しません。 さらに、管理者が他のタブまたはアプリケーションの他のページに移動し、元のタブ（自動更新間隔が設定されている）に戻った場合、レポート タブが更新され、タイマーが再起動します。

異なるタブでの複数レポートの追加

複数のレポートを追加して、異なるタブで同時に複数開くことができます。これにより、ユーザは、リアルタイムでコンタクトセンターの全体的なパフォーマンスだけでなく、選択したフィルタリング基準によって定義されたコンタクトセンターの特定の領域にも簡単に監視できるようになります。リアルタイム レポートを初めて開くとき、既定のタブが表示されます。アプリケーションには、最大 10 個のタブ（デフォルト + 9 個の追加）しかロードできません。既定のタブには、ユーザがフィルター条件を変更しない限り、コンタクトセンター全体のリアルタイムデータが含まれます。

1. 複数のレポートに **追加** アイコンをクリックします。[デフォルト] タブの横にある [レポート] タブが開きます。
2. 必要なフィルタ条件を選択します。
3. **ウィジェットの追加** をクリックしてウィジェットを選択し、レポートに追加します。

レポートの検索条件

レポート フィルターを使用すると、ユーザはコンタクト センターのマクロ ビューを確認し、コンタクト、コール、またはエージェントのマイクロ レベルにドリルダウンできます。

レポートのタイムゾーン フィルター

特定のタイムゾーンのリアルタイムレポートを生成することができます。他のフィルタリング基準を選択する前に、[タイムゾーン] ドロップダウンからタイムゾーンを選択します。選択したタイムゾーンの当日のレポートが表示されます。

これはオプションの構成です。この設定を有効にし、タイムゾーン別のレポートを取得するには、Cisco サポートに連絡してください。

レポートのその他の検索条件

フィルター条件を使用すると、次のことができます。

フィルタ	説明
グローバルリスト	すべてのグローバルリストが選択対象として表示されます。単一選択と複数選択の両方が可能です。すべてのグローバルリストを選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。
キャンペーングループ	選択したグローバルリストの連絡先を含むすべてのキャンペーングループが入力されました。単一選択と複数選択の両方が可能です。すべてのキャンペーングループを選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。



キャンペーン	<p>選択したキャンペーングループの連絡先を含むすべてのキャンペーンにデータが入力されました。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーンを選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。</p> <p>単一のキャンペーン選択で次のレベルへのフィルタリングが可能です。 複数のキャンペーンを選択する場合、[次のレベルへのフィルタリング] は無効になります。 このレベルのレポートを表示する。</p>
--------	---

リスト	<p>このキャンペーン用にアップロードされたすべての連絡先リストにデータが入力されました。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのリストを選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定のリストを選択しない場合は、チェーンリスト（リスト ID -1）を含むすべてのリストのデータがレポートに入力されます。 ・ 特定のリストを選択すると、選択したリストのデータのみが入力されます。 このような場合、レポートのリスト ID -1（連鎖リスト）に関するデータが必要な場合は、[連鎖リストを含む] チェックボックスが選択されていることを確認してください。 <p>リストには、日付パネルのデフォルトの日付、つまり現在の日付が入力されます。 さらにリストを選択するには、[日付] パネルから日付を選択し、[OK] をクリックします。 入力済みのリストから、レポートに必要なリストを選択します。</p>
CSS グループ	<p>選択したリストに適用できるすべての連絡先選択方法（CSS）を選択できます。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループを選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。</p>
CSS グループ条件	<p>上記の CSS グループの条件が入力され、選択できるようになります。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループ条件を選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。</p>

適用可能なフィルタを選択し、 **レコードを表示** を選択すると、その選択レベルまでの記録がレポートに生成されます。

レポート ウィジェット機能

レポート ウィジェットには次の共通オプションがあります。

1. クリック **固定解除** レポート ウィジェットを固定された場所から画面の中央にフロートさせることで、ウィジェットのサイズを最大化できます。 これはトグル ボタンで、もう一度クリックすると、ウィジェットが本来の位置に固定されます。 また、削除されたウィジェットをページに復元します。
2. クリック **最大化** レポートをフルスクリーンで表示します。
3. クリック **最小化** 全画面表示からレポートウィジェットを固定された場所に戻します。
4. クリック **チャートのコンテキストメニュー** をクリックして、PNG、JPEG、SVG ベクトル、または Pdf 形式のレポートをダウンロードします。

個々のレポートのビューはさまざまです。 レポートと共に説明されます。 すべてのレポートは、マウスをデータのグラフ表示の上に置くと、グラフデータをテキストで表示します。



レポートの種類

キャンペーン マネージャー は、リアルタイムで異なるタイプのレポートを提供します。 詳細については、次を参照してください。 [リアルタイム レポート 次のページの。](#)

リアルタイム レポート タイプ

リアルタイム レポートには次のようなものがあります。

テレフォニーの結果

[テレフォニー結果] ウィジェットは、各テレフォニー結果に対して、ダイヤルされた連絡先の数を示します。チャートの上にカーソルを合わせると、特定のテレフォニー結果の呼び出し数が表示されます。コンテキストメニューを使用して、任意のオプションのチャートをダウンロードします。最小化されたビューでは、最小パーセンテージの結果が非表示になる場合があります。すべての結果を表示するには、フルスクリーンにズームします。

ビジネスの成果

ビジネス成果ウィジェットは、各ビジネス成果について、ダイヤルされた連絡先の数を示します。チャート上にカーソルを合わせると、特定のビジネス成果の呼び出し数を確認できます。コンテキストメニューを使用して、任意のオプションのチャートをダウンロードします。

キャンペーン単位のコンタクトと対応可能なエージェント

キャンペーンごとの連絡先と対応可能なエージェントは、アプリケーションのすべてのキャンペーンの連絡先とエージェントの数を示します。左軸がコンタクト数、右軸がエージェント数、横軸がキャンペーンです。チャート上にマウスを置くと、特定のキャンペーンのコンタクトとエージェントの数が表示されます。コンテキストメニューを使用して、任意のオプションのチャートをダウンロードします。

コンタクトの状況

連絡先状況ウィジェットは、リアルタイムで選択したフィルター基準のための連絡先の状況を表示します。このウィジェットは、各州の連絡先数をリアルタイムで表示します。X軸にキャンペーン、Y軸にコンタクトの数が表示されます。チャート上にマウスを置くと、特定の連絡先状況の数が表示されます。ウィジェット右下のいずれかの状況をクリックすると、その州に関連する連絡先がウィジェットから削除されます。トグルしてデータを復元します。コンテキストメニューを使用して、任意のオプションのチャートをダウンロードします。

キャンペーン別の連絡先成功率

連絡先の成功率は、キャンペーンにダイヤルした連絡先に対する成功率の比率を示します。このウ



ウィジェットは、X 軸に連絡先の数、Y 軸に成功率を示します。チャート上にカーソルを合わせると、特定のキャンペーンの成功率を確認できます。ウィジェットの右下の任意のキャンペーンをクリックすると、その州に関連付けられた連絡先がウィジェットから削除されます。トグルしてデータを復元します。コンテキストメニューを使用して、任意のオプションのチャートをダウンロードします。

キャンペーン目標に達しました

[キャンペーンの目標] は、各キャンペーンでエージェントが達成した目標を示します。チャート上にカーソルを合わせると、キャンペーンで達成された目標を確認できます。コンテキストメニューを使用して、任意のオプションのチャートをダウンロードします。

連絡先戦略

連絡先戦略は、フィルター条件に従って、使用された連絡先戦略に対するビジネスと電話の両方の結果の詳細を示します。

このウィジェットは、[テレフォニー] と [ビジネスの結果] の両方の連絡先の数を表示します。チャートに表示されるデータは、さらにドリルダウンすることができます。

例: クリック **テレフォニーの結果** をクリックして、各テレフォニーの結果の連絡先の数を確認します。元のレポートに戻すには、**結果に戻る**。

結果チャートから、任意の結果をクリックすると、この結果をスローした各連絡先戦略の連絡先数が表示されます。

前の画面に戻るには、次をクリックします。 **テレフォニーの結果に戻る**。 [**連絡先戦略** チャートで、任意の連絡先戦略をクリックすると、この結果に影響する連絡先戦略内のモードにドリルダウンできます。

連絡先選択の戦略

連絡先の選択戦略は、フィルター基準ごとに、使用された連絡先の選択戦略に対するビジネスと電話の両方の結果の詳細を示します。

このウィジェットは、[テレフォニー] と [ビジネスの結果] の両方の連絡先の数を表示します。チャートに表示されるデータをさらにドリルダウンして、詳細を確認できます。

結果チャートから、任意の結果をクリックして、この結果をスローした各連絡先選択戦略の連絡先の数を取得します。

前の画面に戻るには、次をクリックします。 **テレフォニーの結果に戻る**。

[**連絡先選択の戦略** をクリックします。 **連絡先選択の戦略** [] をクリックして、 **連絡先選択の戦略** 必要に応じて設定します

特定のモードでダイヤルされた通話数

[特定のモードでダイヤルされた通話] は、選択した期間に各モードでダイヤルされた通話の数を示します。ウィジェットは、データをクモグラフ形式で表示します。チャート上にマウスを置くと、Cisco Webex Contact Center キャンペーン



特定のモードでダイヤルされた通話の数が表示されます。 コンテキスト メニューを使用して、任意のオプションのチャートをダウンロードします。

キャンペーンごとに配信されたコンタクト

[キャンペーン単位で配信されたコンタクト] は、各キャンペーンに配信されたコンタクトの数を示します。このウィジェットは、各キャンペーンについて、ダイアラーに配信されたコンタクトの数を示します。チャート上にマウスを置くと、特定のキャンペーンで配信されたコンタクトの数が表示されます。X 軸は連絡先の数を示し、Y 軸はキャンペーンを示します。コンテキストメニューを使用して、任意のオプションのチャートをダウンロードします。アプリケーションに表示されるデータがエクスポートされます。アプリケーション内でデータがマスクされている場合、エクスポートされたシートでもマスクされます。

エージェントの状態

このウィジェットは、エージェントのアクティビティ状態の詳細を表示します。

リアルタイム統計

このウィジェットには、アプリケーションのライブの高レベルの 360 度ビューを提供するスナップショットが含まれています。

アプリケーション全体のアクティブなキャンペーンの数が表示されます。また、[合計]、[無効]、[経過] カテゴリのキャンペーンの数も表示されます。

すべてのキャンペーンでアプリケーションにアップロードされたコンタクトの合計数。これはまた、[進行中]、[最新の (ダイヤル未ダイヤル)]、[スケジュール]、[終了済み]、および [その他の連絡先] の内訳も示します。

アップロードされたコンタクトの合計数です。これには成功、失敗、重複コンタクトの数が含まれます。エージェントと、通話中、アイドル、準備中、ACW、プレビューなど、さまざまな状態にあるエージェントの合計数。

接続率、成功率、試行率、接続試行率、放棄率、平均処理時間が表示されます。

連絡先を配信しました

このウィジェットは、ダイアラーに配信された連絡先の数を表示します。

フィールド

レポートには次のフィールドが表示されます。

フィールド	説明
-------	----



キャンペーン	連絡先がアップロードされているキャンペーンです。
電話番号	配信されるコンタクトの電話番号です。
コンタクト ID (Contact ID)	配信された連絡先の連絡先 ID です。

作成日時	コンタクトがアップロードされた時刻です。
最終アクセス	表中のレコードが最後に更新された時刻です。
モード名	配信された連絡先のモードです。
最大再試行回数	この連絡先がダイヤルされた回数。
最後の結果	この連絡先に対する最新のダイヤル試行の結果。
Status (ステータス)	連絡先の現在の状況です。たとえば、0 - 開始、1 - 終了、4 - 配信済みなどのようになります。
ユーザー ID	この列には、次のいずれかの値が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> NCB 連絡先の場合は、「NCB と入力されました」という文字列が表示されます。 その他のすべての連絡先については、列は空のままです。この列にはデータが含まれていません。
許容される最大リトライ	このコンタクトに許可される最大再試行回数。
条件 ID	このコンタクトが配信される CSS 条件です。
アカウント番号	連絡先への発信を識別するための一意の ID です。
タイムゾーン	連絡先のタイムゾーン。

履歴レポート

これらのレポートは、前日以降の履歴データを利用して、コンタクトセンターのパフォーマンスに関する洞察を提供します。コンタクト、コール、結果、エージェントなど、コンタクトセンターのすべての面をカバーするほぼ網羅的なセットです。レポートは、ユーザが選択したフィルター基準に基づいて入力されます。これらのレポートは csv 形式で表示または保存することができます。

移動先 [レポート](#) > [履歴レポート](#)。

レポートの検索条件

レポート フィルターを使用すると、ユーザはコンタクトセンターのマクロ ビューを確認し、コンタクト、コール、またはエージェントのマイクロ レベルにドリルダウンできます。

レポートのタイムゾーン フィルター

特定のタイムゾーンのリアルタイムレポートを生成することができます。他のフィルタリング基準を選択する前に、[タイムゾーン] ドロップダウンからタイムゾーンを選択します。選択



したタイムゾーンの当日のレポートが表示されます。

この設定を有効にし、タイムゾーン別のレポートを取得するには、Cisco サポートに連絡してください。

レポートのその他の検索条件

メモ: 現在、音声チャンネルのみ利用できます。SMS およびメール機能は今後のリリースで予定されています。ユーザはドキュメント中の SMS またはメール チャンネルへの参照を無視できます。

フィルター条件を使用すると、次のことができます。

フィルタ	説明
グローバルリスト	すべてのグローバルリストが選択対象として表示されます。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのグローバルリストを選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。
キャンペーングループ	選択したグローバルリストの連絡先を含むすべてのキャンペーングループが入力されました。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーングループを選択するには、[すべてを選択] チェックボックスを選択します。
キャンペーン	<p>選択したキャンペーングループの連絡先を含むすべてのキャンペーンにデータが入力されました。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーンを選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。</p> <p>単一のキャンペーン選択で次のレベルへのフィルタリングが可能です。 複数のキャンペーンを選択する場合、[次のレベルへのフィルタリング] は無効になります。 このレベルのレポートを表示する。</p>
リスト	<p>このキャンペーン用にアップロードされたすべての連絡先リストにデータが入力されました。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのリストを選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定のリストを選択しない場合は、チェーンリスト (リスト ID -1) を含むすべてのリストのデータがレポートに入力されます。 特定のリストを選択すると、選択したリストのデータのみが入力されます。 この場合、レポートのリスト ID -1 (連鎖リスト) に関するデータが必要な場合は、[連鎖リストを含む] チェックボックスが選択されていることを確認してください。 <p>リストには、日付パネルのデフォルトの日付、つまり現在の日付が入力されます。 さらにリストを選択するには、[日付] パネルから日付を選択し、[OK] をクリックします。 入力済みのリストから、レポートに必要なリストを選択します。</p>
CSS グループ	選択したリストに適用できるすべての連絡先選択方法 (CSS) を選択できます。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループを選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。
CSS グループ条件	上記の CSS グループの条件が入力され、選択できるようになります。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループ条件を選択するには、[すべて選択] チェックボックスを選択します。

適切なフィルタを選択し、 **レコードを表示** その選択レベルまでのレコードがレポートに追加されます。



通話結果

通話結果レポートには、ダイヤルされた連絡先から、選択した各テレフォニー結果の連絡先の数が表示されます。

1. [期間 から 今日、昨日、今週、今月 および カスタム。 次のオプションを選択した場合： カスタム、 開始日 および 終了日。
2. [チャネル タイプ から 音声、 SMS または メール。
3. ドロップダウンから 結果の種類 と 結果 を選択します。
4. [フィルタ基準] を選択します。 詳細については、 [レポートフィルタ基準](#)を参照してください。
5. [レコードの表示] をクリックしてレポートを表示します。
 1. [エクスポート] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。 PII 保護 機能内の [マスクのエクスポート](#) オプションが有効で、ユーザがエクスポートされたシートのデータを表示できる場合、サポートチームに連絡してデータをマスクしてください。 これにはバックエンドの設定が必要です。

フィールド

通話結果レポートには、次のパラメータが含まれます。

フィールド	説明
今日	現在の日付のレポートを生成します。
前日	前日午前 0 時までのレポートを生成します。
今週	月曜日から本日までのレポートを生成します。
今月	カレンダー月の初日から当日までのレポートを生成します。
カスタム	日付範囲のレポートを生成します。 カレンダー コントロールから [開始日] と [終了日] を選択します。
チャネル (Channel)	コミュニケーションの種類 (音声、SMS、メールなど)。 メモ: SMS およびメールは現在のリリースでは利用できません。今後のリリースでサポートされる予定です。
結果の種類	結果のタイプです。
結果の詳細	選択した結果とキャンペーンに対する各連絡先の連絡先別の結果を一覧表示します。
結果の要約	各キャンペーンの各結果について 1 行の要約を示します。 [基点] チェックボックスを選択します。 [基点] チェックボックスは、列と行を入れ替えます。 [基点] が選択されている場合、レポートは結果を行に、結果数を列に、選択した各キャンペーンについて 1 列で表示します。 基点オプションは、フィルター基準で [キャンペーン] を選択した場合にのみ適用できます。グローバルリストまたはキャンペーングループには適用できません。



結果	ドロップダウンに表示されているすべての構成済みテレフォニー結果の結果。 [すべての結果を選択] オプションを使用して、すべての結果を選択します。 複数の結果を選択することもできます。
----	---

通話結果 - 詳細	
キャンペーン グループ	レポートが表示されるキャンペーングループ。
キャンペーン ID	レポートが表示されるキャンペーンです。
リスト ID	このデータが属するリスト ID です。
連絡先 ID	結果が設定される連絡先の ID です。
結果	この通話の結果です。
親結果	上記の結果がマッピングされる親の結果 (ある場合)。
Call_Start_DateTime	コールの開始日時です。
Call_End_DateTime	通話が終了した日時。
ビジネス分野 1 (1-26)	<p>設定済みのすべてのビジネスフィールドは、1 列に 1 つのビジネスフィールドとして一覧表示されます。</p> <p>単一のキャンペーンを選択する場合、ビジネス フィールド名は次のように表示されます。</p> <p><BusinessFieldName_BF>;複数のキャンペーンを選択した場合は、ビジネスフィールド 1 から ビジネスフィールド 26 までが表示されます。</p>
モード	発信が行われたときのモード。
ダイヤル番号	発信先の番号
エージェント ID	このコールを処理したエージェントのエージェント ID。
エージェント名	このコールを処理したエージェントの名前です。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
期間	通話時間、HH:MM:SS 形式
ターゲット値	この列にはデータが含まれていません。
エージェントのコメント	この列にはデータが含まれていません。
リード スコア	この列にはデータが含まれていません。
Callback_DateTime	エージェントが設定したコールバックのダイヤルアウト日時。
ダイヤラー参照 ID	これはダイヤラーテーブル中の Call GUID フィールドの値です。
Contact_Nature	<p>これは、フレッシュ、再スケジュール済み、通常のコールバック、パーソナルコールバック、AEM-フレッシュ、AEM-再スケジュール済み、AEM-コールバック、フレッシュ-モーメント、AEM-フレッシュ-モーメントなどの連絡先のタイプを示します。</p> <p>メモ注意: 現在のリリースでは、コールバックと AEM はサポートされていません。</p>
スケジュール_DeliveryTime	これは、エージェントが新しいコンタクトの通話を設定する時間です。 これは新しいコンタクトの再スケジュール時刻です。



Next_ScheduleTime	これは、エージェントがコンタクトを再スケジュールするために通話を設定する時刻です。
Attempt_Number	レポート日時時点でのコンタクトに対して行われた試行回数です。

キャンペーンの要約

キャンペーン概要レポートは、選択したフィルタ条件に対するキャンペーンのスナップショットを提供します。 [] レポート リスト > キャンペーンの要約 キャンペーン概要パラメータを表示します。

3 つのビュー タイプから選択できます。

コンタクトと試行: 連絡先と試行ビューは、選択した日付範囲とキャンペーンについて、連絡先と試行に関連する要約を提供します。

連絡先: 連絡先ビューでは日付範囲は必要ありません。 このビュータイプは、選択したキャンペーンの連絡先に関連する要約を提供します。

試行回数 イベント回数ビューには日付範囲を指定してください。 このビュータイプは、選択したキャンペーンの営業活動に関連する要約を提供します。

レポートを表示するには:

1. [**ビューの種類** から **連絡先** および **試行回数**。 次のオプションを選択した場合: **試行回数**、**期間** から **今日**、**昨日**、**今週**、**今月** および **カスタム**。 次のオプションを選択した場合: **カスタム**、**開始日** および **終了日**。
2. [**フィルター条件**。 詳細については、次を参照してください。 [レポート フィルタ条件](#)。
3. クリック **レコードを表示** をクリックしてレポートを作成します。
4. クリック **エクスポート** レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。

レポートのフィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

メモ: パラメータは、選択したビュータイプに基づいて一覧表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン ID	レポートが生成されるキャンペーン ID です。
リスト ID	このデータが属するリスト ID です。
アップロード済み	このリストからアップロードされた連絡先の数。
フレッシュ	[オープン] 状態の新しい連絡先の数。
通知	状態が [オープン] のコールバック連絡先の数。
AEM_開く	この列にはデータが含まれていません。
合計オープン	開いている状態の連絡先の合計数です。



Success_クローズド	終了したコンタクトの数で、結果は [成功] です。
失敗_クローズド	閉じた、失敗の連絡先の数です。

合計_クローズ済み	終了したコンタクトの合計数です。
Contact_Scrubbed	スクラブされたコンタクトの数。
Contact_Fluched	フラッシュされた連絡先の数。
Contact_Expired	number 個のコンタクトの有効期限が切れています。
Contact_Blocked_ByCompliance	ブロック中の連絡先数
連絡先_仮名	この列にはデータが含まれていません。
その他	
完了率_Percentage	アップロードされた連絡先のうち、ダイヤルされた通話の割合。
テレフォニー_ダイヤルアウト	このリストからダイヤルアウトされた通話の数。
Telephony_Success	コール数とテレフォニー送信に成功しました。
Telephony_Failure	失敗したテレフォニー出力でのコール数。
BusinessOutcome_Success	失敗したテレフォニー出力でのコール数。
BusinessOutcome_Failure	失敗したビジネス上の結果を伴うコールの数。
Personal_Callback	この列にはデータが含まれていません。
Normal_Callback	この列にはデータが含まれていません。

DNC がブロックされました

DNC ブロック レポートには、DNC 制限によりダイヤルがブロックされている連絡先の連絡先番号とモードが一覧表示されます。 [] レポート リスト > DNC がブロックされました レポートパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. [期間 から 今日、昨日、今週、今月 および カスタム。 次のオプションを選択した場合: カスタム、 開始日 および 終了日。
2. [エージェント セット DNC のみを表示 チェックボックスを選択して、エージェントによって DNC として設定された連絡先のみを表示します。
3. DNC が有効な特定の番号または任意のビジネス フィールドをフィルタリングするには、同じものを DNC 番号 / 事業分野 テキストボックスをクリックします。
メモ: [DNC 番号/ビジネス フィールド] テキスト ボックスが使用されている場合、



入力がレコードと正確に一致する場合にのみ、対応するレポートが表示されます。

4. 次を選択します: **チャンネル** から **音声**、 **SMS**、または **メール**。

5. [フィルター条件。 詳細については、次を参照してください。 [レポート フィルタ条件](#)。
6. クリック **レコードを表示** をクリックしてレポートを作成します。
7. クリック **エクスポート** レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。

レポートのフィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン ID	レポートが生成されるキャンペーン ID です。
Contact_Number	コンプライアンス制限によりダイヤルがブロックされている連絡先の番号。
モード	通話がダイヤルされるモード。
ブロック場所	連絡先が DNC としてマークされ、ダイヤルがブロックされた日時。
DNC_Businessfield	連絡先に対して有効になっている DNC ブロックを使用するビジネス フィールドの値。
ブロック中のユーザ	フィールド名。電話番号、事業分野など、連絡先が DNC としてマークされる基準となります。
エージェント ID	このコールを処理しているエージェントのエージェント ID。
エージェント名	このコールを処理しているエージェントの名前 (名、姓)。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
DNC_Start_DateAndTime	連絡先に対して DNC が有効になった日時。
DNC_End_DateAndTime	連絡先に対して DNC が有効になっている日時。
DNC タイプ	対応するキャンペーンに適用される DNC のタイプです。 カテゴリ固有、キャンペーン固有、またはグローバルのいずれかです。
DNC キャンペーンカテゴリ	特定の連絡先が DNC でブロックされる際の基準となるキャンペーンカテゴリ。

コンタクト試行



連絡先の試行回数は、選択したフィルター基準に一致する連絡先のすべてのダイヤル試行の一覧を表示します。 ビジネスフィールドの特定の値に対するレポートを生成したり、 [グループ化] ドロップダウン します。

[] レポート リスト > **コンタクト試行** レポートパラメータを表示し

ます。 レポートを表示するには:

1. [**期間** から **今日**、**昨日**、**今週**、**今月** および **カスタム**。 次のオプションを選択した場合:
カスタム、 **開始日** および **終了日**。
2. 次を選択します: **レポートの種類** アップロードとダイヤルから。
 - a. **アップロード済み**: アップロードされたすべてのコンタクトについて、選択したフィルター条件に一致したコンタクト試行の詳細。
 - b. **ダイヤル済み**: 選択したフィルター基準に一致する、ダイヤルされたすべての連絡先の連絡試行の詳細。
3. 次を選択します: **チャンネル** から **音声**、 **SMS**、または **メール**。
4. [**フィルター条件**。 詳細については、「**レポート フィルター条件**」を参照してください。適用可能なフィルター基準は、[**キャンペーン**]、[**リスト**]、[**CSS グループ**]、[**CSS グループ条件**]、および [その他のオプション] です。

メモ:

レポートで選択できるキャンペーンは 1 つだけです。 複数のキャンペーンのレポートは表示されません。 キャンペーン選択後のリストは必須です。 複数のリストが許可されます。 CSS グループおよび CSS グループ条件を 1 つだけ選択します。 このレポートは複数の CSS グループおよび CSS グループ条件では表示されません。

5. [**その他のオプション**秒:
 - a. 設定済みのビジネスフィールドが表示されているドロップダウンリストから、 **ビジネスフィールド** を選択します。 選択したビジネスフィールドの特定の値のレポートが必要な場合、フィールドを選択します。
 - b. 選択したビジネスフィールドの a **ビジネス価値**を入力します。 レポートは、選択したビジネス フィールドでこの値に一致するレコードを取得します。 上でビジネスフィールドを選択している場合、これは必須です。
 - c. **グループ化** を選択してレポートデータをグループ化します。 これは必須です。
 - d. レポートが必要な **最終結果** を選択します。
6. [レコードの表示] をクリックしてレポートを作成してください。
7. [**エクスポート**] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 **PII 保護** 機能内の マスクのエクスポート オプションが有効で、ユーザがエクスポートされたシートのデータを表示できる場合、サポートチームに連絡してデータをマスクしてください。 これにはバックエンドの設定が必要です。

レポートのフィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。



フィールド	説明
リスト ID	この連絡先が属するリスト ID です。
連絡先 ID	このエントリの詳細が関連する試行の数です。例えば、1 は 1 回目の試行に関する詳細を示し、2 は 2 回目の試行に関する詳細を示します。

開始時刻	通話が開始された時刻。
モード	通話のモード。
Contact_Number	ダイヤルされる連絡先の番号。
条件文字列	この行エントリに対して抽出されるデータの条件です。
結果	通話の結果です。
エージェント ID	エンタープライズ レベルでのエージェントの Peripheral 番号です。
エージェント名	通話进行处理するエージェントの名前は、姓と名として表示されます。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
発信開始時刻	通話開始日時
GroupBy_Param	レポートデータがグループ化されるパラメータです。
GroupBy_Paramvalue	データがグループ化される基準となる値です。たとえば、レポートは [名] でグループ化できます。
連絡先の状況	この試行のコンタクト状況。たとえば、開始、終了などです。
アップロード日時	このコンタクトがアップロードされた日時。
期間	通話の継続時間 (HH:MM:SS)。
Dialed_Time	連絡先がダイヤルアウトした時刻。
Callback_Datetime	コールバックがリクエストされた日時です。
配信日時	コンタクトがダイヤラーに配信された日時。
配信タイプ	このコンタクトの配信タイプです。たとえば、ダイヤラーへの通常の連絡先、PEWC 以外の連絡先などです。
前_リードの得点	この列にはデータが含まれていません。
現在のリード スコア	この列にはデータが含まれていません。

ビジネス分野 1 (1-26)

設定されたすべてのビジネスフィールドが名前と共に一覧表示されます。1 列に 1 つのビジネスフィールドです。

メモ: ビジネス フィールド名は、
<BusinessFieldName_BF>.

メモ: 選択したレポートの日付範囲でビジネスフィールドに値がない場合、このフィールドはレポートに含まれません。例えば、選択した日付で BusinessField12 の値がなかったとします。

	今月などの場合、列ヘッダーには Business Field 11 と表示され、次に BusinessField 13 以降と表示されます。
--	--

放棄された割合

放棄割合は、選択したフィルタ基準に一致する放棄コールの割合を表示します。 [レポートリスト] > 離脱率 に移動してレポートのパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. 期間を [] 今日、昨日から選択します。、今週、今月、カスタム。 次のオプションを選択した場合:
カスタムの場合、[開始日] と [終了日] を選択します。
2. チャンネルタイプ から 音声、#dntr_bifejfbejz または メール。
3. ドロップダウンから 結果の種類 と 結果 を選択します。
4. フィルタ基準を選択します。 詳細については、[レポートフィルタ基準](#)を参照してください。
5. [レコードの表示] をクリックしてレポートを表示します。
6. [エクスポート] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン ID	表示されるレポートのキャンペーン ID です。
日付 (Date)	レポートの日付。
総通話数	このアップロードリスト中の連絡先に対してダイヤルされたコール数の合計。
ライブ通話	ライブコール数 - 1 人が応答し、エージェントに接続されたコール。
Answer_Machine_Calls の合計	留守番電話に到達したコールの数。
放棄通話	放棄された通話の数。



放棄の割合	放棄された通話の割合。 コール放棄数/(放棄コール数 + ライブコール数) * 100 ライブコールは、個人によって応答され、エージェントに接続されたコールです。
-------	--

[情報] をクリックして離脱率の計算式を表示してください。ここに表示されるのは次の情報です。

- $X = (\text{サブラインのマシンコール数} / (\text{アンサーマシンコール数} + \text{ライブコール})) * 100$
- $Y = \text{放棄コール数} * X$
- $Z = \text{放棄コール} - Y$ 式: $(Z / (Z + \text{ライブ コール数})) * 100$

エージェントの処分（キャンペーン別）

エージェントの傾向（キャンペーン別）レポートは、ダイヤルされたコールに対してエージェントが設定したすべての結果を、選択されたフィルター基準に基づいて表示します。

レポートリスト > エージェントの処分（キャンペーン単位）に移動してレポートのパラメータを表示します。 レポートを表示するには:

1. 期間を [] [] 今日と 昨日から選択します、 **今週**、 **今月**、および **カスタム**。 次のオプションを選択した場合:
 カスタムでは、[**開始日**] と [**終了日**] を選択します。
2. [**フィルタ基準**] を選択します。 詳細については、 レポートフィルタ基準を参照してください。
3. [**レコードの表示**] をクリックしてレポートを作成してください。
4. [**エクスポート**] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン ID	表示されるレポートのキャンペーン ID です。
リスト ID	このデータが属するリスト ID です。
エージェント名	このコールを処理しているエージェントの名前です。
エージェント ID	このコールを処理したエージェントのエージェント ID。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
通話結果	エージェントによって設定された結果。
Count_of_CallOutcome	エージェントがこの結果を設定した通話の数。



連絡先試行のバケツレポートは、アップロードされた連絡先が閉じるまでに試行されたダイヤル試行回数を一覧表示します。

メモ: 当日のデータはこのレポートに含まれません。このレポートでは、前日の 23:59 時間までのデータのみが考慮されます。

レポートリスト > Contact Attemptbucket に移動してレポートのパラメ

ータを表示します。レポートを表示するには:

1. 期間 今日、昨日 から期間を選択します。、今週、今月 および カスタム。次のオプションを選択した場合:

カスタム設定、[開始日] と [終了日] を選択します。

メモ: データベースは 15 分間隔、-00 -15、-30、-45 ごとに更新されます。概要レポートの終了日として中間の時間 (たとえば、午後 3:35) を選択した場合、生成されたレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM) の時間のデータは含まれません。:SS)。

2. チャンネルタイプとして、音声、SMSから を選択します。>または メール に送信します。
3. フィルタ基準を選択します。詳細については、[レポートフィルタの基準を参照してください](#)。適用可能なフィルター基準は、グローバル リスト、キャンペーン グループ、キャンペーン、リスト、CSS グループ、CSS グループ条件です。このレポートのキャンペーンを 1 つだけ選択してください。このレポートは複数のキャンペーンでは表示されません。
4. [] [レコードの表示] をクリックしてレポートを作成します。
5. [エクスポート] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン ID	このレポートが生成されるキャンペーンです。
アップロード済み	このキャンペーンにアップロードされたコンタクトの数です。
連絡先を開く	このキャンペーンのオープンコンタクトの数です。
終了 (Closed)	このキャンペーンのクローズしたコンタクトの数です。
Attempt_1 から Attempt_9	1 回目 - 9 回目の試行までの到達したコンタクト数。それぞれが別の列に表示されます。
Attempt_グレーター	10 回以上の試行後に連絡先の数に達しました。



エージェント試行

エージェント試行レポートは、選択したフィルター基準について、選択したエージェントによって処理されたすべての通話の数を示します。 [レポートリスト](#) > [エージェントの試行](#) に移動してレポートパラメータを表示してください。

レポートを表示するには:



1. [期間] 今日、 昨日を選択します。、 今週、 今月 および カスタム。 次のオプションを選択した場合：
 カスタムの場合は、 [開始日] と [終了日] を選択します。
 メモ： データベースは 15 分間隔、 -00 -15、 -30、 -45 ごとに更新されます。 概要レポートの終了日として中間の時間（たとえば、午後 3:35）を選択した場合、生成されたレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM) の時間のデータは含まれません。 :SS)。
2. ドロップダウンから エージェントリスト を選択します。
3. チャンネルタイプ から 音声、 #dntr_bifejfbejz または メールに移動します。
4. [フィルタ基準] を選択します。 詳細については、 [レポートフィルタ基準](#)を参照してください。
5. [レコードの表示] をクリックしてレポートを作成してください。
6. [エクスポート] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン ID	このレポートが生成されるキャンペーンです。
エージェント ID	このコールを処理したエージェントのエージェント ID。
エージェント名	このコールを処理したエージェントの名前です。
エージェントログイン名	この列にはデータが含まれていません。
エージェント接続	選択したエージェントに接続されたコール数。
RPC	通話の数、Right Party Connect (RPC) の結果。
Success_BusinessOutcome	取引に成功したコールの数。
Fail_BusinessOutcome	失敗したビジネス上の結果を伴うコールの数。
Success_VoiceOutcome	音声通話（テレフォニー）で成功したコールの数。
Failed_VoiceOutcome	失敗した音声通話（テレフォニー）の結果となった通話の数。
Personal_Callback_Registered	この列にはデータが含まれていません。



Regular_Callback_Registered	この列にはデータが含まれていません。
Personal_Callback_Attempts	この列にはデータが含まれていません。
Regular_Callback_Attempts	この列にはデータが含まれていません。
ダイヤルアウト	エージェントによるダイヤルアウトの合計数。

エージェントの結果

エージェント結果レポートは、選択したエージェントが選択したフィルター基準で設定したすべての結果について、コール数を示します。 [] [レポート リスト](#) > [エージェントの結果](#) レポートパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. [[期間](#) から [今日](#)、[昨日](#)、[今週](#)、[今月](#) および [カスタム](#)。 次のオプションを選択した場合: [カスタム](#)、[開始日](#) および [終了日](#)。

メモ注意: データベースは 15 分間隔、つまり -00 -15、-30、-45 毎に更新されます。 概要レポートの終了日として中間の時間 (たとえば、午後 3:35) を選択した場合、生成されたレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM) の時間のデータは含まれません。 :SS)。

2. [[エージェントリスト](#) [ドロップダウン](#)から選択します。 複数のエージェントを選択することができます。 [基点] チェックボックスを選択します。

メモ:

[基点] チェックボックスを選択して、列と行を入れ替えます。 [基点] を選択すると、レポートはエージェントを行に、結果の数を列に、結果ごとに 1 列で表示します。

[基点] オプションは、フィルター条件で [キャンペーン] を選択した場合にのみ適用でき、グローバルリストまたはキャンペーングループには適用できません。

3. [[チャンネルタイプ](#) から [音声](#)、[SMS](#) または [メール](#)。
4. [[フィルター条件](#)。 詳細については、次を参照してください。 [レポート フィルタ条件](#)。
5. [クリック レコードを表示](#) をクリックしてレポートを作成します。
6. [クリック エクスポート](#) レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン ID	レポートが表示されるキャンペーンです。
エージェント ID	これらのコールを処理したエージェントのエージェント ID。
エージェント名	このレポートが生成されるエージェントの名前。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
結果	エージェントが設定した結果。
Outcome_Count	この結果がエージェントによって設定されたコールの数。

コールバック

メモ: 現在のリリースでは、コールバック機能はサポートされていません。この機能は今後のリリースで予定されています。

コールバック レポートは、選択したフィルター基準について、すべてのアクティブなパーソナル コールバック (PCB) および通常のコールバック (NCB) 通話の詳細を示します。 [レポートリスト](#) > [Callback](#) に移動してレポートパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. 期間を選択します [] (**今日**、 **昨日**) を選択します。、 **今週**、 **今月** 、および **カスタム**。 次のオプションを選択した場合:
カスタムの場合は、[**開始日**] と [**終了日**] を選択します。
メモ: データベースは 15 分間隔 (-00 -15、-30、-45 毎時) に更新されます。 概要レポートの終了日として中間の時間 (たとえば、午後 3:35) を選択した場合、生成されたレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM) の時間のデータは含まれません。:SS)。
2. **チャンネルタイプ** から **音声**、 **#dntr_bifejfbejz** または **メール** を選択します。
3. ドロップダウンから **エージェントリスト** を選択します。 複数のエージェントを選択することができます。
4. [**フィルタ基準**] を選択します。 詳細については、 [レポートフィルタ基準](#) を参照してください。
5. [**レコードの表示**] をクリックしてレポートを作成してください。
6. [**エクスポート**] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。 アプリケーションに表示されるデータがエクスポートされます。 アプリケーション内でデータがマスクされている場合、エクスポートされたシートでもマスクされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン ID	レポートが表示されるキャンペーンです。
エージェント ID	これらのコールを処理したエージェントのエージェント ID。
エージェント名	このレポートが生成されるエージェントの名前。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
連絡先 ID	コールバックが登録されている連絡先 ID です。
連絡先番号	コールバックを 要求する連絡先の番号です。



Callback_Time	コールバック通話を開始する時刻です。
Callback_Endtime	コールバック通話の終了時刻です。
Status (ステータス)	レポート時のコンタクト状況です。
モード	コールバックが要求されるモード。
ビジネスフィールド (1-25)	設定済みのすべてのビジネスフィールドは、1 列に 1 つのビジネスフィールドとして一覧表示されます。

callback_requested_time	顧客がコールバックを要求した日時です。これは、コールバックのダイヤルアウト時間ではありません。
Attempt_Number	コンタクトに対して行われた試行回数。

グローバル リストの状況

グローバルリストの状況レポートには、すべてのグローバルアップロードリストのアップロードの詳細がグラフで表示されます。 グラフ上の任意のデータを選択して、関連する詳細をさらにドリルダウンします。 [レポートリスト] > [グローバルリストの状況] に移動してレポートのパラメータを表示します。

すべてのリストは、左側のグリッドに入力されます。 グリッドには、グローバル リスト ID、ファイル名、アップロード時刻の詳細が含まれます。 チャートを最大化し、任意のパラメータをクリックしてドリルダウンします。 チャート上の **アップロードされた** データをクリックします。 これらの連絡先がアップロードされたキャンペーンを確認することができます。

成功の連絡先の分割を確認するには、成功が表示されているチャートをクリックします。 データは、進行中の連絡先と閉じた連絡先に分類されます。

右通話者接続 (RPC)

RPC レポートは、RPC (Right Party Connect) 通話の詳細を示します。 このレポート中の RPC の割合は、キャンペーン マネージャー コンソールの試行カウンターで RPC として設定されているすべての結果の合計に基づいて計算されます。

レポートを表示するには:

1. 期間を選択します [] (今日、 昨日) を選択します。、 **今週**、 **今月**、および **カスタム**。 次のオプションを選択した場合:
カスタムの場合は、[**開始日**] と [**終了日**] を選択します。
メモ: データベースは 15 分間隔 (-00 -15、-30、-45 毎時) に更新されます。 概要レポートの終了日として中間の時間 (たとえば、午後 3:35) を選択した場合、生成されたレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM) の時間のデータは含まれません。 :SS)。
2. [] **チャンネルタイプ**を [] [**音声**] として選択します。
3. [**フィルタ基準**] を選択します。 詳細については、「レポート フィルター条件」を参照してください。 選択できるキャンペーンは 1 つだけです。
 - a. データが必要なリストの日付範囲を選択します。 複数のリストを使用できます。



4. [レコードの表示] をクリックしてレポートを表示します。
5. [エクスポート] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
Outcome_Type	結果の種類 - テレフォニーまたはビジネス。
Outcome_Name	出力名
Outcome_Count	この結果のコールの数。
合計パーセント	<p>この結果につながったコールの割合です。割合は、(この結果のカウント* / すべての結果を持つ呼び出し回数*) * 100 で計算されます。</p> <p>アスタリスク * は結果の種類を示します - テレフォニーまたはビジネス。割合は、類似する結果タイプのみを考慮して計算されます。たとえば、結果が成功であり、テレフォニーの結果に属する場合、パーセンテージは、テレフォニーの結果を持つすべてのコール数を考慮して計算されます。</p>
RPC_Percentage	RPC 呼び出しの割合。割合は、(この RPC 結果のカウント / このレポートで RPC とマークされたすべての結果を持つコールの数 - テレフォニーとビジネスの両方) * 100 で計算されます。
ターゲット値	駆除時にエージェントにより設定された目標値。

コールバックトレース

メモ: 現在のリリースでは、コールバック機能はサポートされていません。この機能は今後のリリースで予定されています。

コールバックトレースレポートは、選択したフィルター条件で、すべての閉じられたパーソナル コールバック (PCB) および通常のコールバック (NCB) 通話の詳細を表示します。 [レポートリスト](#) > [コールバックトレース](#) に移動してレポートパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. 期間を [] [] 今日と 昨日から選択します、今週、今月、および カスタム。次のオプションを選択した場合:
カスタムでは、[開始日] と [終了日] を選択します。

メモ: データベースは 15 分間隔 (-00 -15、-30、-45 毎時) に更新されます。概要レポ



ートの終了日として中間の時間（たとえば、午後 3:35）を選択した場合、生成されたレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM) の時間のデータは含まれません。:SS)。

2. PCB、NCBからコールバックタイプ を選択します。、または **すべて**にアクセスしてください。
3. エージェント を エージェントリストから選択します。

4. [**フィルタ基準**] を選択します。 詳細については、 [レポートフィルタ基準](#) を参照してください。
5. [**レコードの表示**] をクリックしてレポートを作成してください。 録画を開いて詳細を表示します。
6. [**エクスポート**] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。 アプリケーションに表示されるデータがエクスポートされます。 アプリケーション内でデータがマスクされている場合、エクスポートされたシートでもマスクされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン ID	コールバックが属するキャンペーンです。
リスト ID	コールバック連絡先のリスト ID です。
連絡先 ID	コールバック連絡先の ID です。
Callback_Registered_Type	この列には、NCB、通常のコールバックが表示されます。
Callback_DateTime	エージェントが設定したコールバックのダイヤルアウト日時。
Status (ステータス)	レポート時のコンタクト状況です。
CallBack_RequestedTime	顧客がコールバックを要求した日時です。これは、コールバックのダイヤルアウト時間ではありません。
Attempt_Number	コンタクトに対して行われた試行回数。
ビジネスフィールド(1-25)	設定済みのすべてのビジネスフィールドは、1 列に 1 つのビジネスフィールドとして一覧表示されます。
詳細レポートのフィールド	
試行	コンタクトに対する試行回数。
連絡先番号	電話番号
配信日時	コンタクトが配信された日時です。
ダイヤル モード	連絡先のモードです。
ダイヤル日時	連絡先がダイヤルした日時。
エージェント名 (Agent Name)	コンタクトに対応したエージェントの名前です。
コールバック試行タイプ	この列にはデータが含まれていません。
結果	連絡先に設定されたコールバック結果。
コールバック/再スケジュール_DateTime	コンタクトが再スケジュールされた日時。

メールの結果

注意：Webex コンタクトセンターは現在メールキャンペーンに対応していません。これは今後のリリースで予定されています。

メール結果レポートは、顧客とのメールの対話についてエージェントが設定した結果の詳細を示します。[[レポートリスト](#) > [メール結果](#)] に移動してレポートパラメータを確認してください。

レポートを表示するには：

1. 期間を [] 今日、昨日 から選択します。、今週、今月 および カスタム。次のオプションを選択した場合：
カスタムでは、[開始日] と [終了日] を選択します。
2. フィルタ基準を選択します。詳細については、[レポートフィルタ基準](#)を参照してください。
3. [[レコードの表示](#)] をクリックしてレポートを作成してください。録画を開いて詳細を表示します。
4. [[エクスポート](#)] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
キャンペーン グループ	このメールインタラクションのキャンペーングループ。
リスト ID	メールコンタクトのリスト ID です。
連絡先 ID	メール連絡先の連絡先 ID です。
キャンペーン ID	メールコンタクトのキャンペーン ID です。
結果	エージェントによって設定された結果。
電子メール	連絡先のメールアドレスです。
Email_Activity_DateTime	エージェントがこのメールのインタラクションの結果を設定した日時。
ビジネスフィールド (1-25)	設定済みのすべてのビジネスフィールドは、1 列に 1 つのビジネスフィールドとして一覧表示されます。
Unique_Identifier	この特定の連絡先を識別する追加のビジネスパラメータ。
モード	インタラクションのモード、メール。



ダイヤルを渡す

パス ダイヤル レポートは、連絡先の合計数のうち、連絡先がダイヤルした回数を示します。
[レポートリスト] > [パスダイヤル] に移動してレポートパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. 期間を 今日 今日 、昨日 、今週 、今月 、および カスタム から選択できます。 カスタムを選択した場合、 開始日 および 終了日を選択します。
 メモ： データベースの更新は、システムで設定された日のうちに終了しています。
 設定された時間が 00:30:00 (HH:MM:SS) の場合、昨日のダイヤリング通過レポートが生成されます。 設定された 1 日の終わりが 23:30:00 である場合、レポートは昨日のみ生成されます。
2. ドロップダウンから タイムゾーン を選択します。
3. [フィルタ条件] を選択します。 詳細については、 レポートフィルタの基準を参照してください。
4. [] [レコードの表示] をクリックしてレポートを作成します。
5. [エクスポート] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
レポート日時	レポートの日付を表示します。
キャンペーン ID	キャンペーン ID を一覧表示します。
開いている割合 (%)	アップロードされた連絡先の合計数中、開いた状態でダイヤル発信の資格がある連絡先の割合。
完了した %	アップロードされた連絡先の合計数のうち、と今後実行されない閉じられたコンタクトの割合。
最新の %	アップロードされた と連絡先の合計数のうち、最新でダイヤル試行が行われていない連絡先の割合。
空き % の再スケジュール	アップロードされた連絡先の総数のうち、ダイヤル用に再スケジュールされた連絡先の割合。
1% を渡す	1 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。 $\text{計算} = (\text{1 回にダイヤルされた連絡先} / \text{本日オープンしている連絡先の合計数}) * 100$
2% を渡す	2 回にわたってダイヤルされた連絡先の割合。 $\text{計算} = (\text{2 回の試行でダイヤルされた連絡先} / \text{本日オープンな連絡先の合計数}) * 100$
3% を渡す	3 回試行してダイヤルされた連絡先の割合。 $\text{計算} = (\text{3 回の試行でダイヤルされた連絡先} / \text{本日オープンな連絡先の合計数}) * 100$



合格 4%	4 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。 計算 = (4 回の試行でダイヤルされた連絡先 / 本日オープンな連絡先の合計数) *100
5% を渡す	5 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。

	計算 = (5 回の試行でダイヤルされた連絡先 / 本日オープンな連絡先の合計数) *100
6% を渡す	6 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。 計算 = (6 回の試行でダイヤルされた連絡先 / 本日オープンな連絡先の合計数) *100
7% に合格	7 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。 計算 = (7 回の試行でダイヤルされた連絡先 / 本日オープンな連絡先の合計数) *100
8% に合格する	8 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。 計算 = (8 回の試行でダイヤルされた連絡先数 / 本日オープンになっている連絡先の合計数) *100
9% に合格する	9 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。 計算 = (ダイヤルされた連絡先および 9 回の試行 / 本日オープンになっている連絡先の総数) *100
> 9%	9 回以上ダイヤルされた連絡先の割合。 計算方法 = (9 回以上ダイヤルされた連絡先 / 本日オープンな連絡先の総数) *100

レポートのスケジュール

日単位、週単位、月単位、または年単位で希望のレポートをスケジュールすることで、レポートを同僚や他のユーザに自動的に送信できます。 レポートスケジューラが設定されると、指定したレポートがメールの添付ファイル (XLS 形式) として受信者に配信されます。

スケジュールレポートの追加

1. メニュー > レポート > スケジュールレポートに移動します。
2. スケジュールレポートの追加をクリックします。
3. スケジュールの **名前** を入力します。

注意 名前を追加する際に使用できる文字数は、60 文字以内または 特殊文字 以内です。

4. スケジュールの **説明** を入力します。

5. ドロップダウンから送信する **レポート** のタイプを選択します。 選択したレポートにパラメータを追加するには、 **+** アイコンをクリックします。 連絡先の試みのバケツは、現在の日のデータを除外します。 ユーザがドロップダウンリストからこのレポートを選択すると、この情報がポップアップ表示されます。
6. **レポートの頻度** を、 **日単位**、 **月単位**、 **週単位**、 **特定日** から選択できます。
7. 頻度が **週単位** の場合は、 a **[週の開始日]** を選択します。
8. 頻度が **特定日** 日の場合は、 [a **特定日**] を選択します。
9. **[レポート開始時刻]** を選択します。 これはレポート用にデータがピックアップされる時間です。 たとえば、開始時刻が午前 11 時の場合、午前 11 時のデータのみがレポートに入力されます。
10. **レポート時刻** を選択します。 レポートデータが生成されるまでの時間です。 たとえば、終了時刻が午後 6 時の場合、レポートには午後 6 時までのデータが入力されます。
11. **メールアドレス (es)** を入力すると、複数の別のメールアドレスにまとめてレポートが送信されます。 複数のメールアドレスをコンマで区切って追加してください。
12. **[保存]** をクリックします。 スケジュールレポートのダッシュボードにスケジュールレポートが追加されます。 ユーザはスイッチを **[オン]** にしてレポートを送信し、 **[オフ]** をオフにしてレポートの送信を停止することができます。

スケジュールの編集

1. レポートを選択し、 **[アクション]** の下の **[編集]** をクリックします。
2. 必須パラメータを更新して、 **[保存]** をクリックしてください。

スケジュールの削除

1. レポートを選択し、 **[アクション]** の下の **削除** をクリックします。
2. 確認のポップアップが表示されたら、 **[OK]** **[OK]** をクリックします。

フィールド

フィールド	説明
名前	レポートを送信する特定のスケジュールの名前です。
頻度	レポートの送信がスケジュールされる頻度。



毎月	<p>毎月 1 カレンダー日にレポートが送信されます。 レポートに入力されるデータは、直前のカレンダー月に関連します。</p> <p>メモ: スケジュールの保存が成功した場合に送信される最初のレポートです。その後毎月毎月 1 日</p>
----	---

毎週	レポートは、毎週の指定した曜日に送信されます。 レポートの送信に適切な日を選択します。 選択できる日は 1 つだけです。 レポートに入力されるデータは、直前の 7 日間に関連します。 たとえば、レポートの派遣日として水曜日を選択した場合、前の水曜日の 00.00 から火曜日 23.59 までのデータがレポートに入力されます。
特定の日	レポートは特定の曜日に送信されます。 このレポートを送信する適切な日数のチェックボックスを選択します。 複数選択が可能です。 入力されるデータは、単一の特定日から、選択した [レポート時間] までです。 たとえば、月曜日を選択し、[レポート時間] に 18.00 を指定した場合、レポートには月曜日の 00.00 から 18.00 までのデータが含まれます。
毎日	レポートは毎日送信されます。 レポートのデータは、日単位で、選択した開始時間から選択した終了時間/レポート時間までです。
レポート名	このスケジュールで設定されたとおりに送信されるレポート。
レポート開始時刻	レポートの開始時刻です。 これは、レポートに入力するためにデータが選択される開始時点の時間です。
レポート時刻	レポートを生成して受信者に送信する時刻を指定します。
アクティブ化	スイッチをオンにしてレポートを送信し、オフにするとレポートの送信を停止します。

データ抽出

レポート データベースからの未加工のトランザクションおよび固定データのエクスポートを構成します。 ユーザは、指定された時間で、そして選択されたキャンペーングループまたはキャンペーンの発信試行などの標準的なソースからデータを抽出することができます。

メモ問題: 以下は Webex コンタクト センター アプリケーションでサポートされていない機能ですが、ドキュメント中に参照される場合があります。

- メールおよび SMS キャンペーン
- 通知
- AEM (エージェント-エグゼクティブのマッピング) が発信します。
- メールおよび SMS キャンペーンに関連するデータ

ユーザは上記に関連する表中のデータを無視することができますが、抽出された列はほとんどが空白です。



移動先 メニュー > レポート > データ抽出。 キャンペーンを選択

1. クリック **データ抽出を追加**。
2. **会議室 名前 と 説明** データ抽出の。
3. データを抽出するファイルを選択します **マスター** または **トランザクション**。
4. [**データ ソース** ドロップダウンリストから **これはトランザクション** データ抽出に対してのみ有効です。
5. [**キャンペーン グループ**。 選択したデータソースに基づいて、利用可能なキャンペーングループが一覧表示されます。
6. [**キャンペーン**。 選択したデータソースに基づいて、利用可能なキャンペーンが一覧表示されます。
7. クリック

次へ。 データ

ソース

1. [データ ソース] は選択可能なフィールドの一覧です。 選択したデータタイプに基づいてリストされた標準データソースがあります。 **移動** **利用可能なフィールド** に **選択したフィールド**。
- 例: 通話アクティビティは 1 つのデータソースです。 データ ソースは、発信試行とこれらの試行の結果に関する詳細を提供します。
2. クリック **次へ**。

スケジュール設定の編集

1. 必要な **実行タイプ** から **定期的な間隔**、 **スケジュールされた時刻**、および **オンデマンド**。
2. 選択した実行タイプがオンデマンドの場合、[開始日] と [終了日] を入力します。
3. [**実行日数**。 複数の日を選択することができます。
4. [**EOD の所要時間**。
5. 次を入力します: **ファイル名**。
6. [**ファイル拡張子** から **csv** および **txt**。 選択しているファイル拡張子が **txt** の場合、拡張子を選択します。 **カラムセパレーター** ドロップダウンから選択します。
メモメモ: テーブルから抽出されたデータに JSON 文字列が含まれている場合、txt 形式を使用してファイルを保存します。 たとえば、監査ログテーブルには JSON 文字列のデータが含まれます。
7. **テーブル固有のファイルの作成を有効にします**。 これにより、データ抽出ファイルにテーブル名が追加されます。 この切り替えを無効にすることはできません。 必要に応じて他のオプションを有効にします。 選択したデータソースに基づいて他のオプションが表示されます。
8. ファイルヘッダーが必要な場合は、[**ファイルヘッダーが必要**] を有効にします。



9. [キャンペーン固有のファイルの作成] トグルがオンになっている場合、[**空のファイルが必要**] オプションが自動的に有効になります。 これにより、レコードなしでファイルが書き込まれます。 空のファイルが必要ない場合は、これをオフにします。 これは、選択したデータの種類がマスターの場合にのみ表示されます。
10. [**二重引用符を追加**] を有効にして二重引用符を追加します。 各フィールドのデータはダブルクォーテーションで囲んでいます。

11. **【日時の追加】** を有効にしてサーバ時間を追加してください。ファイルは、サーバ時刻がファイル名に付加されて保存されます。

メモ: 実行タイプをオンデマンドで選択している場合、これは必須です。他の実行タイプでも、**【日時の追加】** オプションの使用をお勧めします。これにより、展開されたファイルが誤って上書きされることを防ぎます。

12. **【保存】** をクリックします。

保存先

保存先画面では、ユーザがデータ抽出ファイルを保存することができます。**【レポート】** > **ストレージの保存先** に移動します。デフォルトでは、共有ドライブが選択されており、以下のフィールドに値が入力されています。

【ストレージ タイプ】 を **【共有ドライブ】**、**【S3】**、**【Google Cloud ストレージ】** から選択します。

S3 ストレージ

1. 抽出データが保存されている **S3 パス** を入力します。これは、抽出データを保存する Amazon S3 バケツの絶対パスです。例、`bucket:¥DE¥`。
2. 必要に応じて **ロールベース認証である** にチェックを入れます。
3. **AWS 地域の終了点** を入力します。これは、お客様の AWS S3 バケツが配置されている地域です。
4. **AWS アクセスキー** を入力します。これは AWS S3 バケツにアクセスするためのキーです。アクセスキーは、Amazon S3 に送信するリクエストに署名するために使用されます。AWS はこのキーを検証し、アクセスを許可します。アクセスキーを使用して、AWS に対して行う API リクエストに署名します。
5. AWS の KMS 暗号化を使用してデータを暗号化する場合は、**【KMS 暗号化】** を入力します。
6. **AWS 秘密鍵** を入力します。これは上で入力した AWS アクセスキーのシークレットキー（パスワードなど）です。認証にはアクセスキー ID とシークレットアクセスキーの組み合わせが必要です。
7. **サーバ側の暗号化** を入力します。これは暗号化/復号キーで、消去されたデータが AWS Key Management System (KMS) 暗号化を使用して暗号化されることを定義します。
8. **KMS キー** を入力します。これは S3 バケツのデータを解読するためのキーです。
9. アーカイブデータが保存されている **アーカイブパス** を入力します。例、`bucket:¥DE¥archive¥`。

メモ: パスを指定する際、先頭にスラッシュ/バックスラッシュを加えないでください。たとえば、IP アドレス 172.20.3.74 を持つマシンの LCMArchive フォルダーにデータをアーカイブし、LCMArchive としてパスを指定する必要があるとします。LCMArchive の下のサブフォルダーを使用している場合は、正しいパス `LCMArchive¥PurgeData` を指定しま



す。

10. [保存] をクリックします。



共有ドライブ ストレージ

1. アーカイブデータを保存するデバイスの **IP/主催者名** を入力します。
2. データ保存用のドライブにアクセスするユーザの **ユーザ ID** と **パスワード** を入力してください。これはドメインとユーザ名の組み合わせである必要があります。例、<ドメイン>¥ユーザ ID です。
3. データが抽出される共有ドライブの **抽出パス** を入力してください。
4. データを保存する共有ドライブの **アーカイブパス** を入力します。
メモ: パスを追加する際、先頭にスラッシュやバックスラッシュを加えないでください。たとえば、IP アドレスが 172. xx. x. xx で、パスが LCMArchive であるマシンの LCMArchive フォルダーにデータをアーカイブする必要があるとします。LCMArchive の下のサブフォルダーを使用している場合は、正しいパス LCMArchive¥PurgeData を指定します。
5. [**保存**] をクリックします。

Google Cloud ストレージ

抽出データを保存する Google Cloud Storage の [**データ抽出パス**] フィールドに入力します。これは、抽出データを保存する Google Cloud Platform 上の絶対パスです。

1. **アカウントタイプ**を入力します。これは Google Cloud Storage へのアクセスに使用されるアカウント タイプです。デフォルトのアカウントタイプとして、service_account を使用します。
2. Google アカウントの **秘密キー** を入力して Google Cloud Storage にアクセスし、保存データを保存します。
3. Google Cloud Storage へのアクセスに使用する Google Cloud Platform クライアントアカウントの **クライアントメール** を入力します。
4. アプリケーションがアーカイブデータを保存する Google Cloud Storage の **アーカイブパス** を入力します。
5. [**保存**] をクリックします。

メモ: /、¥、:、*、?、<、>、|などの特殊文字をファイル名の一部に使用しないでください。

データ抽出の編集

1. データ抽出を選択し、[**アクション**] の下の [**編集**] をクリックします。
2. パラメータを更新して [**保存**] をクリックします。
3. **アクティベート** スイッチを有効にしてデータ抽出プロセスを有効にします。

データ抽出の削除

1. データ抽出を選択し、[アクション] の下の **削除**をクリックします。
2. 確認のポップアップが表示されたら、[OK] [OK] をクリックします。

フィールド

フィールド	説明
名前	データ抽出構成の名前です。
説明	データ抽出構成の説明。
ファイル名	ファイル 抽出データの保存先の名前。
ジョブ履歴	データ抽出構成のジョブ履歴。 ジョブ履歴の詳細にアクセスするには、隣のボタンをクリックしてドロップダウン履歴の詳細を展開します。
マスタータイプ	ソースのタイプです。 これにより、マスター データ ソースからデータ フィールドが抽出されます。
トランザクション	ソースのタイプです。 トランザクション データ ソースからデータ フィールドを抽出します。 メモ: トランザクションを選択した場合のみ、[キャンペーングループ] / [キャンペーン] または両方を引き続き選択してください。
キャンペーン グループ	選択したデータソースに基づくキャンペーングループのリストです。
キャンペーン	選択したデータソースに基づくキャンペーンのリストです。
データ ソース	データソースのリスト。 システムで利用できる標準のデータソースがあります。
定期的な間隔の実行タイプ	定期的な構成された間隔でデータ抽出を実行します。 数字パネルを使用するか、を入力して、時間間隔 (分) フィールドに入力します。 30 分間隔を選択することができます。 データ抽出はここで設定した間隔で定期的に生成されます。
スケジュール済み時間の実行タイプ	毎日特定の時刻にデータ抽出の生成をスケジュールします。
オンデマンド実行タイプ	オンデマンドでデータ抽出を生成します。
実行日数	データ抽出の開始日。
IP/主催者名	アーカイブデータが保存されている端末の IP アドレスまたはホスト名が表示されます。



ユーザー ID	データを保存するために上記ドライブにアクセスするユーザーのユーザー ID を表示します。これはドメインとユーザー名の組み合わせでなければなりません。例: <ドメイン>¥ユーザー ID
パスワード	上記のユーザーが共有ドライブにアクセスするためのパスワードを表示します。
抽出パス	データが抽出される共有ドライブ上のパスを表示します。

アーカイブパス	データがアーカイブされる共有ドライブ上のパスを表示します。
S3 パス	抽出データを保存する S3 パス。これは、抽出データを保存する Amazon S3 バケツの絶対パスです。
ロールベース認証ですか	ロールベースの認証を許可する
AWS リージョンエンドポイント	これは、お客様の AWS S3 バケツが配置されている地域です。
AWS アクセスキー	AWS S3 バケツにアクセスするためのキー。アクセスキーは、Amazon S3 に送信するリクエストに署名するために使用されます。AWS はこのキーを検証し、アクセスを許可します。アクセスキーを使用して、AWS に対して行う API リクエストに署名します。
KMS 暗号化	AWS の KMS 暗号化により、データを暗号化することができます
AWS 秘密鍵	これは入力した AWS アクセスキーのシークレットキー（パスワードなど）です。認証にはアクセスキー ID とシークレットアクセスキーの組み合わせが必要です。
サーバ側の暗号化	これは暗号化または復号キーで、消去されたデータが AWS Key Management System (KMS) 暗号化を使用して暗号化されることを定義します。
[KMS キー (WEP Key)]	これは S3 バケツのデータを解読するためのキーです。
アーカイブパス	アーカイブデータを保存するパスです。
アカウントタイプ	これは Google Cloud Storage へのアクセスに使用されるアカウントタイプです。デフォルトのアカウントタイプとして service_account を使用します。
プライベートキー	これは、Google Cloud Storage にアクセスしてアーカイブデータを配置するための Google アカウントの秘密鍵です。
クライアントメール	これは Google Cloud Storage へのアクセスに使用される Google Cloud Platform クライアント アカウントのメール アドレスです。
アーカイブパス	これは、アプリケーションがアーカイブデータを保存する先の Google Cloud Storage 上のパスです。

注意事項

- レポートは 1 日の開始日から設定したスケジュール時刻までに抽出され、ファイルは設定したストレージの場所に置かれます。
- このレポートを 2 回抽出すると、最初のデータ抽出が構成されたアーカイブパスに移動されます。最新の展開は、構成されたストレージの場所に配置されます。
- このレポートを 3 回抽出すると、2 回目の反復を含むファイルが、構成されたアーカイブパスに移動され、最初の反復ファイルは削除されます。3 回目の反復データは、構成されたストレージの場所に配置されます。



- 上記の 3 つの条件はすべて、[キャンペーン固有のファイル作成] および [日時の追加] のスイッチがオフの場合にのみ適用されます。
- 呼び出しトレース

トランザクションフィールドの詳細

以下の表は、抽出されたフィールドとその詳細の一覧です。

- ・ 通話アクティビティ
- ・ エージェントの活動
- ・ グローバルアップロード
- ・ リストのアップロード
- ・ スクラブリスト情報
- ・ 監査ログ
- ・ 監査証跡
- ・ 匿名インバウンド SMS
- ・ SMS インバウンド セッション
- ・ SMS アウトバウンドセッション
- ・ SMS 配信状況
- ・ アップロードエラー
- ・ グローバルアップロードエラー
- ・ API アップロード エラー
- ・ 非通話アクティビティ
- ・ ビジネスデータへの連絡
- ・ リスト情報
- ・ アップロード履歴
- ・ 呼び出しトレース

通話アクティビティ

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_CallActivity	連絡先 ID	連絡先 ID	整数	キャンペーンの連絡先の一意の識別子



RPT_CallActivity	発信 ID	CALL ID	定期	コール ID は、トレース アクティビティの内部連絡先参照に適用できます。
------------------	-------	---------	----	---------------------------------------

				例として、連絡先の選択からリスケジュール/レポートまでのトラバーサルをトラッキングします。
RPT_CallActivity	キャンペーングループ	キャンペーングループ	定期	これは、キャンペーンがマッピングされるキャンペーングループです。
RPT_CallActivity	キャンペーンの内容	キャンペーン ID	定期	キャンペーン名です。たとえば、コレクションです。
RPT_CallActivity	グローバルリスト ID	グローバルリスト ID	整数	これは、システムにアップロードされた各グローバルリストの実行シリアル番号です。
OBD_GUActivity	G グローバルファイル名	グローバルファイル名	varchar	グローバルアップロードのコンタクトファイル名です。
RPT_CallActivity	リスト ID	LIST ID	整数	これは連絡先をキャンペーンにアップロードする際に生成されるシリアル番号です。
OBD_ListInfo	一覧表示	状況の一覧表示	整数	この列には、リストの状況を表す整数値が含まれます（アクティブ -0 または停止 -1）。
OBD_ListInfo	作成済み時間	作成日時の一覧表示	日時	アップロードのために連絡先リストファイルが配置された日時。
OBD_HD_アップロード履歴	アップロード時間	アップロード時刻	日時	リストのアップロードが完了した日時。
RPT_CallActivity	コールストラテジー	攻撃戦略	定期	現在の試行に適用されたコンタクトのストラテジー。



RPT_CallActivity	状態 ID	CSS 条件	整数	連絡先の選択時に使用される CSS 条件の内部 ID です。
OBD_CustomFilterGroup	カスタムフィルタグループ	カスタムフィルタグループ	整数	これは、現在

				used CSS 条件がマッピングされています。
OBD_Cus-to mFilters	状態文字列	コンディション ST RING	定期	これは、現在使用されている CSS 条件がマッピングされる CSS 条件グループ ID です。
RPT_CallActivity	お問い合わせ番号	連絡先番号	整数	ダイヤルアウトする連絡先の番号です。これは、デジタルチャネルの場合はメールアドレスでもかまいません。
RPT_CallActivity	作成日時	作成日時	日時	このレコードがレポートリングデータベースに挿入された日時です。
RPT_CallActivity	ENDTIME	ENDTIME	日時	これは、LCMContactRescheduler サービスにより通話が再スケジュールされた時刻です。 この時刻は CallActivity テーブルに挿入されます。
RPT_CallActivity	CALLDURATION	発信時間	整数	CPA が有効な場合、エージェントにパッチが適用されてから通話が完了するまでの通話時間が計算されます。Cisco の実装では、通話時間は、通話の開始から完了までの間で計算されます。
RPT_CallActivity	コールモード	発信モード	定期	これは連絡先のコンタクトモード ID です。



OBD_モード	モード名	モード名	定期	モード名です。たとえば、ホーム、モバイルなどです。
---------	------	------	----	---------------------------

				連絡先はダイヤルアウトされています。
RPT_CallActivity	コールアウトカム	通話の発信	定期	ダイヤラーまたはエージェントがコンタクトに設定した通話結果。 [テレフォニー] または [ビジネス] のどちらかになります。
RPT_CallActivity	連絡先 Nature	連絡先 Nature	定期	試行のコンタクト ネイチャーです。 可能な値は、フレッシュ、再スケジュール済み、通常のコールバック、パーソナルコールバック、AEM-フレッシュ、AEM-再スケジュール済み、AEM-コールバック、Fresh-Moment、または AEM-Fresh-Moment
OBD_ビジネス・アウトカム・ペアレント	結果グループ	結果グループ	整数	これは業務の結果グループ ID です にマッピングされます。
OBD_ビジネス・アウトカム・ペアレント	PARENTNAME	次の親名	定期	親結果の名前です。
OBD_Outcome	ディスプレイ名	結果の説明	定期	電話回線の詳細または業務この試行の結果を設定します。
OBD_Outcome	RPCTYPE	RPCTYPE	定期	これは、この試行に設定された性質が RPC (当事者接続) または非 RPC のいずれとしてタグ付けされているかを示す



				めの分類です。
OBD_Outcome	IS ライブコールアウトカム	ライブコールアウトカム	ビット	「LiveCall」のタグが付けられたこの通話に対して設定された結果かどうかを示します。通話放棄の割合を求めるのに役立ちます。
RPT_CallActivity	CALLSTARTTIME	CALLSTARTTIME	日	通話接続です

			e 時間	時間 (CPA が有効な場合); CPA が無効になっている場合、コールがエージェントにパッチされた時間です。
RPT_CallActivity	ターゲット キャンペーン ID	ターゲットの連絡先 ID	定期	これは、現在の連絡先が別のキャンペーンに連結されている場合のターゲット キャンペーン ID を示します。
RPT_CallActivity	TARGETCONTACTID	TARGETCONTACTID		現在の連絡先が別のキャンペーンに連結されている場合、これはターゲットキャンペーンのターゲット連絡先 ID を示します。
RPT_CallActivity	エージェント周辺機器-R	エージェント ID	定期	これは、この発信を処理したエージェント ID を示します。
RPT_CallActivity	エージェント名	エージェント名	定期	この発信を処理したエージェントの名前です。
RPT_CallActivity	リカバリキー	回復キー	フロー ト	ダイヤラーからの呼び出し結果を取得するためのダイヤラー上の識別子を示す実行番号。
RPT_CallActivity	ターゲット数	目標金額	フロー ト	これは、この試みで特定のビジネス結果の達成目標として設定された値です。
RPT_CallActivity	エージェントのコメント	エージェントのコメント	定期	このコールはコンタクトに対してエージェントが入力したコメントです。

RPT_CallActivity	CHANNELTYPE	チャンネルタイプ	整数	チャンネルタイプ です。 1 は SMS、2 は VOICE、 3 はメール、4 は CPAAS、0 は IVR です。
OBD_チャンネルタイプ	チャンネルの説明	チャンネルの説明	定期	チャンネルの説明。 例、音声、SMS、メール

				1 は SMS、2 は VOICE、 3 はメール、4 は CPAAS、0 は IVR です。
RPT_CallActivity	子どもリスト ID	子供のリスト ID	整数	これは、アップロード済みのリストに連絡先を追加する際に割り当てられる ID です。
RPT_CallActivity	DELIVEREDTYPE	配信タイプ	定期	これはダイヤラーへの連絡先配信タイプの性質を表します。可能な値は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期 ・ PEWC 以外の通常 ・ 通知 ・ AEM
RPT_CallActivity	ターゲットキャンペーングループ	ターゲット キャンペーン グループ	定期	共有リストにのみ適用できます。共有リスト キャンペーンから連絡先が配信されるキャンペーン グループを示します。
RPT_CallActivity	CALLTYPE	CALLTYPE	tinyint	コール タイプを示します。可能な値は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 0 - 通常の呼び出し ・ 1 - コールバックコール ・ 2- AEM 通話
RPT_CallActivity	エージェント ID の呼び出し	コールバックエージェント ID	整数	コールバックのリクエストに対応するエージェントの ID で



				す。
RPT_CallActivity	エージェント名をコールバック	エージェント名にコールバック	定期	コールバックの要求を処理するエージェントの名前です。
RPT_CallActivity	ACCOUNTNUMBER	ACCOUNTNUMBER	定期	アカウント番号は、次の場所で作成された固有の番号です。

				<p>ダイヤラーに連絡が配信された時刻。 パイプ区切り記号でキャンペーン ID、連絡先 ID などを示す 7 つの一意の ID 値が含まれます。</p>
RPT_CallActivity	連絡先	連絡先	tinyint	<p>現在のリトライ回数は、これまでに連絡先に対して行われたダイヤルの試行です。</p>
RPT_CallActivity	連絡先状況	連絡状況	整数	<p>連絡先の通話状況です。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1- 営業終了 2- 一時的にロックされています 3- アップロード中 4- 電話通話に配信済み 5- 上書き 6- リストが停止されました 7- 管理された連絡先またはフラッシュによりクローズ済み 8- コンタクトが停止され、クローズされました 9- 連絡先が細かくなりました 10- [連絡先] を他のキャンペーンに移動しました

				<p>11 - 一時的に停止されました</p> <p>20 - 提供済みのコンタクトが停止しました</p> <p>21 - PCB 配信のためロックされています</p>
--	--	--	--	--

			<p>22 - CSSCONTAC TS 配信のためロックされています</p> <p>23 - AEM 配信のためロックされています</p> <p>24 - スケジュールによりロックされています。連絡先をスケジュールしてください</p> <p>25 - スケジュールにより、連絡先を閉じることがロックされています</p> <p>30 - 連絡先は DNC によりブロックされています</p> <p>31 - NDNC により連絡がブロックされています</p> <p>32 - 連絡先が DNCSCRUB によりブロックされました</p> <p>33 - 訴訟により連絡先がブロックされています</p> <p>34 - 期限切れ</p> <p>35 - キャンペーンが停止さ</p>
--	--	--	--

				れました
OBD_ContactStatusReasons	連絡先状況理由	連絡先の状況理由	定期	これが、コンタクト状況の変更の理由です。例えば、連絡先の状況をロックすることができます。アプリケーションは、PCB、CSS、または AEM 呼び出しを行うために、この連絡先をロックして配信していました。
RPT_CallActivity	CALLBackDATETIME	コールバック日時指定	日時	エージェントがコンタクトに設定したコールバックの日時です。



RPT_CallActivity	DE ライブレッドタイム	DE ライブレッドタイム	日時	コンタクトが配信される時刻です
------------------	--------------	--------------	----	-----------------

				ダイヤルします。
RPT_CallActivity	スケジュール済み配信時間	スケジュール済みの配信- rytime	日時	コンタクト配信の再スケジュールされた時刻です。
RPT_CallActivity	ワイヤレス	ワイヤレス	ビット	現在の試行がワイヤレス（モバイル）番号に対して行われたかどうかを示します。 True を指定するとワイヤレス。固定回線の場合は False。利用可能な場合、コンプライアンス DB から値を取得します。 そうでない場合、デフォルト値は True です。
RPT_CallActivity	周辺機器のコールキー	周辺機器のコールキー	整数	これは、一意の周辺機器コール ID を示します（転送されたコールと同じ）。

RPT_CallActivity	電話会議- オンの予約	予約コール継続時間	整数	<p>エージェントが予約された通話時間（ミリ秒単位）。プレビューモードでは、最後のプレビューの時間、ダイヤル時間、CPA の実行時間、顧客通話のエージェントへの転送時間が含まれます。予測モードで、予約済みのエージェントが顧客に接続する前に切断された場合、この値は NULL になります。エージェントはまだ顧客に関連付けられていないためです。このような場合、対応する端末コール詳細レコードの HoldTime は、エージェントの予約時間を参照します。</p>
RPT_CallActivity	プレビュー時間	プレビュー時刻	日	が

			e 時間	エージェントはダイヤラーにより、コンタクトにプレビューを提供しました。
RPT_CallActivity	SFUID	SFUID	定期	これは連絡先のインポートに使用される Service Cloud Voice CRM ユーザ ID です。
RPT_CallActivity	連絡先	連絡先の詳細	定期	この列には、ダイヤラーに送信される XML データ形式としての連絡先情報が含まれています。たとえば、名、姓、連絡先番号などです。
RPT_CallActivity	フラッシュ	Salesforce キャンペーン リード ID	定期	これは Service Cloud Voice で生成される固有の ID です。
RPT_CallActivity	SFCONTACTID	Salesforce キャンペーンの連絡先 ID	定期	これはキャンペーンの Service Cloud Voice 連絡先 ID です。
RPT_CallActivity	SFCAMPAIGNID	Salesforce キャンペーン ID	定期	連絡先をインポートする際に経由する Service Cloud Voice CRM キャンペーン ID です。
RPT_CallActivity	CALLBackreQUESTEDBY	がコールバックを要求しました。	定期	コールバック要求を登録したエージェントのエージェント ID です。

RPT_CallActivity	登録済みのコールバック	コールバック登録タイプ	整数	<p>エージェントによるコールバック登録時のコールバックの種類。値は次のいずれかになります。</p> <p>0 - 通常の通話</p> <p>1 - PCB (パーソナルコールバック)</p> <p>2 - NCB (通常のコールバック)</p>
RPT_CallActivity	CALLBackATtempTTYPER	コールバックの試行タイプ	定期	<p>ダイヤル試行時のコールタイプです。可能な</p>

				値は NCB および PCB です。
RPT_CallActivity	現行サイクル	現在のサイクル	整数	サイクル戦略が使用されるとき、このフィールドには現在のサイクル番号が含まれます。例えば、接触反復サイクルが 2 番目のサイクルである場合、このフィールドには 2 が含まれます。
RPT_CallActivity	ISCURRENTCYCLECOMPLETED	現在のサイクルが完了しました	ビット	現在のサイクルが完了、つまりすべてのモードがダイヤルアウトになったことを示すフラグ。
RPT_CallActivity	前のリードスコア	前回のリード得点	整数	アップロード時に割り当てられたリードスコア値です。
RPT_CallActivity	CURRENTLEADSCORE	現在のリード得点	整数	エージェントによって割り当てられたリードスコア値。
RPT_CallActivity	実際の値	電話番号	定期	これは、リードリストからアップロードされた電話番号です。
RPT_CallActivity	州法グループ名	州法グループ名	定期	この試行中に使用された州の法律グループ名を示します。
[OBD_Campaign_] カテゴリ	キャンペーンカテゴリ NA - ME	キャンペーンのカテゴリ名	定期	キャンペーンのカテゴリ名です。
RPT_CallActivity	DNCCAMPAIGN カテゴリ - NAME	DNC キャンペーンのカテゴリ名	定期	これは DNC キャンペーンのカテゴリ名です。
RPT_CallActivity	ISIN バウンド	インバウンド コール	ビット	現在の試行エントリが着信コールから作成されたものである場合、値は 1 に設定されます。そうでな

				い場合、値は 0 に設定されます。
RPT_CallActivity	DIALLERREFERENCEID	ダイヤラー参照 ID	定期	<p>これはダイヤラープラットフォームによって生成された連絡先 ID または通話 ID です。ダイヤラー固有のフィールドは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Webex Contact Center: 連絡先の SID フィールド

				tact セッション記録 (CSRS API メソッドから受け取った応答)。 .
OBD_CallActivity	連絡先 Nature	Contact_Nature	定期	試行のコンタクト ネイチャーです。可能な値は、フレッシュ、再スケジュール済み、通常のコールバック、パーソナルコールバック、AEM-フレッシュ、AEM-再スケジュール済み、AEM-コールバック、Fresh-Moment、または AEM-Fresh-Moment
RPT_CallActivity	次のユーザにより状況が変更されました	状況が次により変更されました:	定期	連絡先の状況を変更したエンティティのユーザ ID。
RPT_CallActivity	状況が変更されました	状況が変更されました:	日時	コンタクトの状況が変更される日時です。
RPT_CallActivity	デバイス ID	デバイス ID	定期	番号またはビジネス フィールドによって、連絡先が DNC としてブロックされるかどうかを定義します。
RPT_CallActivity	有効期限が切れています。N	PEWC 検証のオーバーライド	ビット	対話中に、顧客が特定の連絡先を非 PEWC コールとしてマークし、自動ダイヤルを許可することを許可した場合、エージェントはチェックボックスを選択して、この連絡先の PEWC 検

				証を上書きします。
RPT_CallActivity	ダイヤル発信機のコールバック	ダイヤラエージェントがコールバックする	ビット	この値は、結果が通常のエージェントまたはクリッカー エージェントによってコールバックとして設定されるかどうかを決定します。 値 0 は

				これは通常のエージェントによって設定されます。1 は、これがクリッカーエージェントによって設定されたことを示します。
RPT_CallActivity	DNCSTARTDATE	DNC 開始日	日時	時間指定 DNC が登録されている場合、開始日は登録時に提供されます。
RPT_CallActivity	DNCENDDATE	DNC 終了日	日時	時間指定 DNC が登録されている場合、終了日は登録時に提供されます。
RPT_CallActivity	DNCTYPE	DNC タイプ	定期	コンタクトに適用される DNC のタイプは、特定のキャンペーンまたはすべてのキャンペーンに適用されます。
RPT_CallActivity	IDENTITYAUTHENTICATION-無効です	ID 認証が有効になりました	ビット	これは、IdentityAuthenticationEnabled フィールドが有効または無効にします。
RPT_CallActivity	IDENTITYAUTHENTICATION-SUCCESS	ID 認証の成功	ビット	これは ID 認証が成功するかどうかを定義します。
RPT_CallActivity	SMSTRANSACTIONCOUNT	SMS トランザクション数	整数	カウントはユーザと SMS サービス間の SMS トランザクションの数です。双方向 SMS が使用されている場合に適用されます。

RPT_CallActivity	プレビュー DURATION	プレビュー時間	整数	エージェントが通話をプレビューし、コンタクトを承諾、スキップ、または拒否（クローズ）するのにかかった時間。
RPT_CallActivity	次のスケジュール時刻	次のスケジュール日時	日時	これは、スケジュールされたコールバックの次にスケジュールされている日時を示します。
RPT_CallActivity	次のスケジュールモード	次のスケジュールモード	定期	これはスケジュールされた通話のモードを示します-

				戻ってください。
RPT_CallActivity	TotalPRIMaryAUTH	プライマリ認証の合計	整数	単一連絡先のダイヤラーに配信される前に、顧客から コール前認証を取得するために ID 認証サービスに送信された要求の総数。 要求がシステム（フィードエンジン）から開始されました。
RPT_CallActivity	主認証が確認されました	プライマリ認証が確認されました	整数	呼び出し認証（呼び出し前認証）のために送信された要求に対するアイデンティティ認証サービスからの顧客の応答の合計数。 要求がシステム（フィードエンジン）から開始されました。
RPT_CallActivity	秒秒数	合計セカンダリ認証	整数	通話中、顧客から各 ID の認証を得るために ID 認証サービスに送信された要求の合計数です（オンコール認証）。 リクエストはエージェントから開始されます。
RPT_CallActivity	認証済み	検証済みの 2 次認証	整数	通話（オンコール認証）中の、各アイデンティティに対して送信された各要求に対する、「アイデンティティ認証サービス」からの顧客の応答の合計数。 要求はエージェントから開始されま



				す。
--	--	--	--	----

RPT_CallActivity	COMPUTEDDURATIONINM- S	計算された DURATI ONINMS	整数	設定された脈拍数に基づき、通話継続時間（ミリ秒単位）の値を切り上げました。課金計算で使用されます。
------------------	------------------------	------------------------	----	---

匿名インバウンド SMS

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_ITR_IncomingMessageLog	ID	ID	整数	自動生成された受信メッセージの一意の識別子です。
RPT_ITR_IncomingMessageLog	ソース (Source)	ソース (Source)	変数文字	SMS メッセージの送信元端末（連絡先番号）です。
RPT_ITR_IncomingMessageLog	Destination	Destination	変数文字	SMS メッセージの宛先の端末（連絡先番号）です。
RPT_ITR_IncomingMessageLog	メッセージ	メッセージ	変数文字	メッセージ SMS のコンテンツです。
RPT_ITR_IncomingMessageLog	参加時刻	参加時刻	datetime	アプリケーションがこのログエントリを作成した日時。
RPT_ITR_IncomingMessageLog	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。



RPT_ITR_IncomingMessageLog	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
----------------------------	-----------	-----------	----	--

API アップロード エラー

ソース表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_AddContact_エラー	エラー ID	エラー ID	整数	このエラーに対して自動生成されたエラー ID です。
RPT_AddContact_エラー	メソッド名	メソッド名	変数文字	API メソッドがこのエラーの原因です。
RPT_AddContact_エラー	結果	結果	変数文字	API 応答 (失敗または成功)の結果。
RPT_AddContact_エラー	結果説明	結果説明	変数文字	API 応答の説明。
RPT_AddContact_エラー	ログイン日	ログイン日	datetime	エラーレコードがログに書き込まれた日時。
RPT_AddContact_エラー	キャンペーン ID	キャンペーン ID	変数文字	このエラーを報告したキャンペーン ID。
RPT_AddContact_エラー	コールタイプ	コールタイプ	varchar	コール タイプを示します。 値は次のいずれかになります。 0 - 通常の通話 1 - コールバック通話 2- AEM 通話
RPT_AddContact_エラー	CallStartDateTime	CallStartDateTime	変数文字	アップロード時に定義された連絡先の [コール開始時刻]。



RPT_AddContact_ エラー	CallEndTime	CallEndTime	変数文字	通話が終了する日時です。
RPT_AddContact_ エラー	BusinessFieldXML	BusinessFieldXML	変数文字	パラメータ内の XML データ。これにはビジネスフィールドが含まれます。

RPT_AddContact_エラー	Priority	Priority	varchar	ダイヤラーに配信するための連絡先の優先順位です
RPT_AddContact_エラー	ModeXML	ModeXML	変数文字	XML データ。これには、モバイル、自宅の電話、職場の電話などの発信モードが含まれます。
RPT_AddContact_エラー	ユーザー ID	ユーザー ID	変数文字	API を使用するエンティティのユーザ ID です。
RPT_AddContact_エラー	SMS データ	SMS データ	変数文字	SMS で送信されるメッセージ テキストです。
RPT_AddContact_エラー	メールの件名	メールの件名	変数文字	メールキャンペーンの一部としてメッセージが送信される際のメールの件名です。
RPT_AddContact_エラー	メールメッセージ	メールメッセージ	変数文字	メールメッセージの内容です。
RPT_AddContact_エラー	メール添付	メール添付	変数文字	メールメッセージの添付ファイル (filename) です。
RPT_AddContact_エラー	郵便番号	郵便番号	変数文字	連絡先の郵便番号です。



RPT_AddContact_ エラー	連絡先の詳細	連絡先の詳細	変数文字	この列には連絡先情報が XML データ形式として含まれ、ダイヤラーに送信されます。 例: 名、姓、連絡先
------------------------	--------	--------	------	---

				番号などです。
RPT_AddContact_エラー	リスト ID	リスト ID	変数文字	連絡先が属するリスト ID です。
RPT_AddContact_エラー	連絡先をロック	連絡先をロック	ビット	これは、コンタクトへの配信をロックする必要があるかどうかを示します。連絡先がロックされている場合、これは 1 です。ロックされていない場合は 0。
RPT_AddContact_エラー	重複排除バス Fld	重複排除バス Fld	変数文字	重複排除ビジネスフィールド
RPT_AddContact_エラー	連絡先閉じるを無視	連絡先閉じるを無視	ビット	アプリケーションが閉じた連絡先を無視する必要があるかどうか。
RPT_AddContact_エラー	エラーの説明	エラーの説明	varchar	API 応答エラーの説明。
RPT_AddContact_エラー	連絡先 ID	連絡先 ID	変数文字	この連絡先用に生成された連絡先 ID です。
RPT_AddContact_エラー	ErrorXML	ErrorXML	変数文字	エラーの詳細を含む XML のファイル名です。
RPT_AddContact_エラー	リード スコア	リード スコア	変数文字	この連絡先のリードスコア。

RPT_AddContact_ エラー	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AddContact_ エラー	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。

監査ログ

ソース表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_監査ログ	ID	ID	整数	ログエントリの自動生成された一意の識別子。
RPT_Users	ユーザー ID	ユーザー ID	変数文字	アクティビティを実行したユーザー ID (ユーザー名) です。
RPT_監査ログ	モジュール	モジュール	変数文字	このアクティビティが実行されるアプリケーションモジュールまたはコンポーネントです。たとえば、キャンペーン、グローバルアップローダなどです。
RPT_監査ログ	操作	操作	変数文字	ユーザの操作です。たとえば、作成、更新、削除などです。
RPT_監査ログ	データ	データ	変数文字	開始されたアクティビティのためにユーザが要求したデータ。
RPT_監査ログ	作成日	作成日	datetime	アプリケーションがこのログエントリを作成した日時。



RPT_監査ログ	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_監査ログ	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は、

				新しいテナントが作成されたときにアプリケーションに表示されます。
--	--	--	--	----------------------------------

監査証跡

ソース表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_監査証跡	ID	ID	整数	ログエントリの自動生成された一意の識別子。
RPT_Users	ユーザー ID	ユーザー ID	変数文字	アクティビティを実行したユーザー ID (ユーザー名) です。
RPT_監査証跡	操作	操作	変数文字	ユーザの操作です。たとえば、作成、更新、削除などです。
RPT_監査証跡	データ	データ	varbinary	開始されたアクティビティのためにユーザが要求したデータ。
RPT_監査証跡	作成日	作成日	datetime	アプリケーションがこのログエントリを作成した日時。
RPT_監査証跡	ページ名	ページ名	varchar	このアクティビティが実行されるアプリケーションページまたはコンポーネントです。たとえば、キャン



				ペーン、グローバルアップローダなどです。
RPT_監査証跡	エンタープライズ ID	エンタープライズ ID	整数	エンタープライズの一意的識別子です。

RPT_監査証跡	アクティブです	アクティブです	ビット	
RPT_監査証跡	削除済み	削除済み	ビット	
RPT_監査証跡	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_監査証跡	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。

SMS 配信状況

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_ITR_配信状況	ソース (Source)	ソース (Source)	変数文字	ソース SMS のデバイス番号 (連絡先番号) です。
RPT_ITR_配信状況	Destination	Destination	変数文字	移動先 SMS のデバイス番号 (連絡先番号) です。
RPT_ITR_配信状況	メッセージ	メッセージ	変数文字	テキストメッセージのコンテンツは SMS です。



RPT_ITR_ 配信状況	配信状況	配信状況	変数文字	SMS メッセージの配信ステータスです。成功、失敗などです。
RPT_ITR_ 配信	GatewayMsgID	GatewayMsgID	変数文字	

erStatus				
RPT_ITR_配信状況	実際の応答	実際の応答	変数文字	
RPT_ITR_配信状況	開始日時	開始日時	datetime	レコードが表中に作成された日時です。
RPT_ITR_配信状況	キャンペーン ID	キャンペーン ID	変数文字	SMS が送信されるキャンペーン ID です。
RPT_ITR_配信状況	連絡先 ID	連絡先 ID	整数	SMS が送信される一意の連絡先 ID です。
RPT_ITR_配信状況	ProviderType	ProviderType	変数文字	SMS は SMPP などのタイプを提供します。
RPT_ITR_配信状況	DeliveryStatusUpdatedDate Time	DeliveryStatusUpdatedDate Time	datetime	このレコードの配信状況が更新された日時です。
RPT_ITR_配信状況	[ErrorCode]	[ErrorCode]	変数文字	
RPT_ITR_配信状況	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。



RPT_ITR_ 配信状況	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナン ト ID は、 新しいテナ ントが
------------------	-----------	-----------	----	----------------------------------

				が作成されました。
--	--	--	--	-----------

SMS インバウンドセッション

ソース表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_ITR_SessionDetail	ID	ID	整数	受信メッセージの自動生成された一意の識別子。
RPT_ITR_SessionDetail	テキスト	テキスト	変数文字	SMS 経由で送信されたメッセージのテキスト。
RPT_ITR_SessionDetail	送信済み	送信済み	ビット	これは、メッセージがコンタクトに送信されるかどうかを示します。
RPT_ITR_SessionDetail	日付 (Date)	日付 (Date)	datetime	SMS メッセージが送信された日付です。
RPT_ITR_SessionDetail	[役職 (Title)]	[役職 (Title)]	varchar	SMS メッセージの件名
RPT_ITR_SessionDetail	応答	応答	変数文字	メッセージの受信者から受け取った応答です。
RPT_ITR_SessionDetail	シーケンス ID	シーケンス ID	整数	アプリケーションが受信したメッセージの自動生成 ID です。
RPT_ITR_SessionDetail	GatewayMsgID	GatewayMsgID	変数文字	このメッセージ用に SMS ゲートウェイによって生成さ



				れた ID
RPT_ITR_SessionDetail	AccountNumber	AccountNumber	変数文字	アカウント番号 (LCMKey / CAID) を選択します。
RPT_ITR_Ses-	キャンペーン ID	キャンペーン ID	変数文字	キャンペーン ID

詳細				インバウンド SMS が受信される先です。
RPT_ITR_SessionDetail	Ref GatewayMsgID	Ref GatewayMsgID	変数文字	SMS ゲートウェイによって生成されたメッセージ ID です。
RPT_ITR_SessionDetail	連絡先 ID	連絡先 ID	整数	インバウンドメッセージが受信される一意のコンタクト ID です。
RPT_ITR_SessionDetail	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_ITR_SessionDetail	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。

SMS アウトバウンドセッション

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_ITR_Session	ソース (Source)	ソース (Source)	変数文字	発信する SMS メッセージのソース連絡先 (ショートコード) です。



RPT_ITR_Session	Destination	Destination	変数文字	SMS メッセージの送信先となる連絡先番号です。
RPT_ITR_Session	結果	結果	変数文字	SMS 連絡先の結果セット。結果はスクリプトで設定することができます。

				これは、SMS サービス プロバイダの配信状況を知るか、または受信者からの返信を待つことで表示できます。
RPT_ITR_Session	タイムアウトになりました	タイムアウトになりました	ビット	これは、メッセージ SMS が送信前にタイムアウトになったか、または正常に送信されたかを示します。
RPT_ITR_Session	日付 (Date)	日付 (Date)	datetime	メッセージが送信された日時です。
RPT_ITR_Session	ID	ID	変数文字	送信メッセージに対して自動生成される一意の識別子です。
RPT_ITR_Session	AccountNumber	AccountNumber	変数文字	アカウント番号 (LCMKey / CAID) を選択します。
RPT_ITR_Session	エラー (Error)	エラー (Error)	varchar	これは、アプリケーションの [スクリプト デザイナーを介したガイドの呼び出し] 機能に関連しています。
RPT_ITR_Session	フォーム ID	フォーム ID	整数	アウトバウンド SMS メッセージが送信されたフォーム ID。



RPT_ITR_Session	結果タイプ	結果タイプ	varchar	結果の種類です。結果セットが設定により [成功] または [失敗] のどちらに属するか。
RPT_ITR_Session	更新日	更新日	datetime	日付と

				このエントリが最後に更新された日時。
RPT_ITR_Session	エージェント ID	エージェント ID	変数文字	この対話を処理するエージェントの エージェント ID です。
RPT_ITR_Session	状況	状況	変数文字	送信済み、処理中、失敗など、発信 SMS メッセージの状況。
RPT_ITR_Session	コミット者	コミット者	変数文字	これをデータベースに commit したユーザの詳細です。
RPT_ITR_Session	キャンペーン ID	キャンペーン ID	変数文字	インバウンド SMS が受信されるキャンペーン ID です。
RPT_ITR_Session	連絡先 ID	連絡先 ID	整数	インバウンドメッセージが受信される一意のコンタクト ID です。
RPT_ITR_Session	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_ITR_Session	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されると アプリケーションにより自動生成されま



				す。
--	--	--	--	----

アップロードエラー

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT エラー	エラー ID が間違っています	エラー ID が間違っています	整数	このエラーに対して自動生成されたエラー ID です。
RPT エラー	エラータイプ	エラータイプ	変数文字	アプリケーションによりスローされるエラーのタイプです。
RPT エラー	説明	説明	変数文字	エラーの説明。
RPT エラー	エラー時間	エラー時間	datetime	アプリケーションによりエラーが報告された日時。
RPT エラー	エラーレコード	エラーレコード	text	エラーレコード - ログと同様のエラーの詳細です。
RPT エラー	UPLOADERTYPE	UPLOADERTYPE	文字	このエラーを報告したアップローダの種類には、コンタクト、グローバル、スクラブ、コンプライアンスなどがあります。
RPT エラー	キャンペーンの内容	キャンペーンの内容	変数文字	このエラーを報告したキャンペーン ID。
RPT エラー	リスト ID	リスト ID	整数	エラーが発生したリストの ID です。

RPT エラー	ファイル ID	ファイル ID	整数	このエラーに関連するファイル ID (ファイル経由でアップロードする場合) です。
RPT エラー	ファイル名	ファイル名	変数文字	元のアップロード ファイルの名前

				このエラーです。
RPT エラー	予約フィールド 1	予約フィールド 1	変数文字	今後の使用のために。
RPT エラー	予約フィールド 2	予約フィールド 2	変数文字	今後の使用のために。
RPT エラー	予約フィールド 3	予約フィールド 3	変数文字	今後の使用のために。
RPT エラー	予約フィールド 4	予約フィールド 4	変数文字	今後の使用のために。
RPT エラー	予約フィールド 5	予約フィールド 5	変数文字	今後の使用のために。
RPT エラー	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT エラー	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されると アプリケーションにより自動生成されます。

アップロード履歴

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_Campaign_Group	キャンペーン グループ	キャンペーン グループ	変数文字	連絡先がアップロードされているキャンペーングループ名です。



RPT_AE_Campaign	キャンペーンの内容	キャンペーンの内容	整数	アップロードされた 連絡先のキャンペーン ID です。
RPT_AE_ListInfo	ListStartDate	ListStartDate	日時	リストの開始日
OBD_HD_アップロード履歴	子リスト ID	子リスト ID	整数	アップロード時にアプリケーションによって生成された子供のリスト ID です。

OBD_HD_アップロード履歴	コンタクトがアップロードに失敗しました	コンタクトがアップロードに失敗しました	整数	アップロードに失敗した連絡先の数。
OBD_HD_アップロード履歴	連絡先- s ブロック中 CorporateDNC	連絡先- s ブロック中 CorporateDNC	整数	企業 DNC のアカウントによりブロックされた連絡先の数。
OBD_HD_アップロード履歴	ContactsBlockedINNDNC	ContactsBlockedINNDNC	整数	企業 NDNC のアカウントによりブロックされた連絡先の数。
OBD_HD_アップロード履歴	連絡先アップロード済み	連絡先アップロード済み	整数	アップロードされた連絡先の数。
OBD_HD_アップロード履歴	連絡先の重複	連絡先の重複	整数	重複する連絡先の数です。
OBD_HD_アップロード履歴	リスト	リスト	整数	アプリケーションによって生成されたリスト ID です。
OBD_HD_アップロード履歴	ModeFailedToUpload	ModeFailedToUpload	整数	モードエラーのため、アップロードに失敗した連絡先の数です。
OBD_HD_アップロード履歴	モード B ロック中 DNC	モード B ロック中 DNC	変数文字	企業 DNC のアカウントによりブロックされた連絡先の数。



OBD_HD_ アップロー ド履歴	モードブロック中 INNDNC	モードブロック中 INNDNC	変数文字	次のアカウントでブロックされた連絡先の数:
-------------------------	-----------------	-----------------	------	-----------------------

				DNC をご利用いただけます。
OBD_HD_アップロード履歴	ReportTime	ReportTime	datetime	レポートが生成された日時です。
OBD_HD_アップロード履歴	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新しいテナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
OBD_HD_アップロード履歴	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
OBD_HD_アップロード履歴	処理された連絡先の合計	処理された連絡先の合計	整数	ファイルのアップロードで処理されたコンタクトの合計数
OBD_HD_アップロード履歴	アップロード、サブタイプ	アップロード、サブタイプ	整数	アップロードのサブタイプです。新規ファイルの場合は N、利用可能なファイルの更新の場合は U、別のファイル

				のコピーの場合は C です。
OBD_HD_アップロード履歴	アップロード時刻	アップロード時刻	datetime	アップロードの日時です。
OBD_HD_アップロード履歴	UploadType	UploadType	変数文字	アップロードタイプ (JSON、API、などがあります。

スクラブリスト情報

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_SCrubListInfo	ScrubListId	ScrubListId	整数	アップロード用にリストが配置されたときに、アプリケーションによって自動生成されるスクラブリスト ID です。
RPT_AE_SCrubListInfo	キャンペーン ID	キャンペーン名	変数文字	このリストがアップロードされるキャンペーン名です。
RPT_AE_SCrubListInfo	ソースの詳細	ソースの詳細	変数文字	アップロードファイル名と拡張子。
RPT_AE_SCrubListInfo	ソースタイプ	ソースタイプ	変数文字	ファイルソースの種類です。値としては、W がウェブ、M がメディア、F がファイル、L がリストです。
RPT_AE_SCrubListInfo	処理時間	処理時間	datetime	コンタクトファイルの処理が開始された日時。
RPT_AE_SCrubListInfo	スクラブ詳細	スクラブ詳細	変数文字	アップロードスクラブファイル名 + 拡張子
RPT_AE_SCrubListInfo	ScrubStatus	ScrubStatus	変数文字	スクラブの状況 (成功、失敗、処理中など)。

RPT_AE_SCrubListInfo	テナント ID	テナント ID	変数文字	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_SCrubListInfo	サブテナント ID	サブテナント ID	変数文字	サブ テナント

				新しいテナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成される ID。
--	--	--	--	--------------------------------------

非通話アクティビティ

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_NonCallActivity	ID	ID	整数	このテーブルの各エントリに対して自動生成された ID。
RPT_NonCallActivity	キャンペーン ID	キャンペーン ID	変数文字	この通話以外のアクティビティのキャンペーン ID です。
RPT_NonCallActivity	連絡先 ID	連絡先 ID	整数	このノンコールアクティビティの連絡先 ID です。
RPT_NonCallActivity	モード ID	モード ID	整数	この通話以外のアクティビティが発生したモード ID。
RPT_AE_Modes	モード名	モード名	変数文字	この通話以外のアクティビティのモード名です。
RPT_NonCallActivity	ListId	ListId	整数	連絡先が属するリスト ID です。
RPT_NonCallActivity	連絡先バージョン	連絡先バージョン	整数	通話以外のアクティビティ時のこの連絡先の連絡先バージョン。これは、コンタクト状況が修正された回数を示します。
RPT_NonCallActivity	Bussfld26	Bussfld26	変数文字	ビジネスフィールド 26 の説明 - 固有のビジネスフィールドです。



RPT_NonCallActivity	Bussfld27	Bussfld27	変数文字	ビジネスフィールド 27 - 追加のビジネスフィールドの説明。
RPT_NonCallActivity	Bussfld28	Bussfld28	変数文字	ビジネスフィールドの説明 28 -

				追加する必要があります。
RPT_NonCallActivity	Bussfld29	Bussfld29	変数文字	ビジネスフィールド 29 - 追加のビジネスフィールドの説明。
RPT_NonCallActivity	Bussfld30	Bussfld30	変数文字	ビジネスフィールド 30 - 追加のビジネスフィールドの説明。
RPT_NonCallActivity	Status (ステータス)	Status (ステータス)	varchar	すべての変更の各連絡先の連絡先状況。
RPT_NonCallActivity	StatusReasonId	StatusReasonId	整数	コンタクト状況の変更に対して自動生成された ID。
RPT_AE_ 連絡先の状況と理由	状況理由	状況理由	変数文字	これが連絡先状況の変更の理由です。例えば、連絡先の状況をロックすることができます。アプリケーションが、PCB、CSS、または AEM を作成するために、この連絡先を配送のためにロックしている可能性があります。呼び出します。
RPT_NonCallActivity	有効モード	有効モード	変数文字	この通話以外のアクティビティの有効なモードです。
RPT_NonCallActivity	作成日時日時	作成日時日時	datetime	このエントリがテーブル内で作成された日付と時刻。

RPT_NonCallActivity	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
RPT_NonCallActivity	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	新しいテナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されるサブテナント ID です。

RPT_NonCallActivity	ルール名	ルール名	変数文字	コンタクトの配信がブロックされたコンプライアンスグループ内のルール名。
RPT_NonCallActivity	コンプライアンスグループ	コンプライアンスグループ	変数文字	コンタクトの配信がブロックされたコンプライアンスグループの名前です。
RPT_NonCallActivity	説明	説明	変数文字	<p>コンタクトをブロックするエラー、失敗のメッセージ、または理由を定義します。 エラーまたは失敗のメッセージ は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • StateLaw Mode レベルの タイミング チェックに 失敗しました。 ルール名を取得できません。 • 州法モードが無効になっています。 ルール名を取得できません。 • CPT DayOfWeek の失敗 - 再スケジュール。 ルール名を取得できません。

				<ul style="list-style-type: none">• CPT 時間の失敗 - 再スケジュール。ルール名を取得できません。• Enhanced
--	--	--	--	--

				<p>グリーンゾーン タイムゾーン ランタイム検証に失敗しました。ルール名を取得できません。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 拡張グリーンゾーンのタイムゾーン検証に失敗しました。ルール名を取得できません。・ エンハンスドグリーンゾーン州の休日不法ルール名を取得できません。・ エンハンスドグリーンゾーン州法時間検証に失敗しました。ルール名を取得できません。・ ルールに失敗しました - コンタクトを閉じています。ルール名をキャプチャできる。
--	--	--	--	---

				<ul style="list-style-type: none">・ ルール失敗 - 再スケジュール ルール名をキャプチャすることができません。・ ルール失敗 - 自動再スケジュール。 ルール
--	--	--	--	--

				<p>名前をキャプチャできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 録画はすでに配信され、結果を待っています。ルール名をキャプチャできる。
--	--	--	--	--

ビジネスデータへの連絡

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_Contact_BusinessData	ID	ID	整数	このテーブルのエントリに自動生成された ID です。
RPT_Contact_BusinessData	キャンペーン ID	キャンペーン ID	変数文字	この通話以外のアクティビティのキャンペーン ID。
RPT_Contact_BusinessData	連絡先 ID	連絡先 ID	整数	このノンコール アクティビティの連絡先 ID です。
RPT_Contact_BusinessData	ListId	ListId	整数	連絡先が属するリスト ID です。
RPT_Contact_BusinessData	連絡先バージョン	連絡先バージョン	整数	ノンコールアクティビティ時のこの連絡先の連絡先バージョンです。連絡先状況が改訂された回数を示します。



RPT_Contact_BusinessData	Bussfld1	Bussfld1	変数文字	ビジネス フィールド 1 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld2	Bussfld2	変数文字	ビジネス フィールド 2 の説明。

RPT_Contact_BusinessData	Bussfld3	Bussfld3	変数文字	ビジネス フィールド 3 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld4	Bussfld4	変数文字	ビジネス フィールド 4 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld5	Bussfld5	変数文字	ビジネス フィールド 5 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld6	Bussfld6	変数文字	ビジネス フィールド 6 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld7	Bussfld7	変数文字	ビジネス フィールド 7 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld8	Bussfld8	変数文字	Business フィールド 8 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld9	Bussfld9	変数文字	ビジネス フィールド 9 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld10	Bussfld10	変数文字	ビジネス フィールド 10 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld11	Bussfld11	変数文字	ビジネス フィールド 11 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld12	Bussfld12	変数文字	ビジネス フィールド 12 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld13	Bussfld13	変数文字	ビジネス フィールド 13 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld14	Bussfld14	変数文字	ビジネス フィールド 14 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld15	Bussfld15	変数文字	ビジネス フィールド 15 の説明。



RPT_Contact_Busines sData	Bussfld16	Bussfld16	変数文字	ビジネスの説 明
------------------------------	-----------	-----------	------	-------------

				フィールド 16。
RPT_Contact_BusinessData	通信障害 17	通信障害 17	変数文字	ビジネス フィールド 17 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	通信障害 18	通信障害 18	変数文字	ビジネス フィールド 18 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	通信障害 19	通信障害 19	変数文字	ビジネス フィールド 19 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld20	Bussfld20	変数文字	ビジネス フィールド 20 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld21	Bussfld21	変数文字	ビジネス フィールド 21 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld22	Bussfld22	変数文字	ビジネス フィールド 22 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld23	Bussfld23	変数文字	ビジネス フィールド 23 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld24	Bussfld24	変数文字	ビジネス フィールド 24 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld25	Bussfld25	変数文字	ビジネス フィールド 25 の説明。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld26	Bussfld26	変数文字	ビジネスフィールド 26 の説明 - 固有のビジネスフィールドです。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld27	Bussfld27	変数文字	ビジネスフィールド 27 - 追加のビジネス フィールドの説明。



RPT_Contact_BusinessData	Bussfld28	Bussfld28	変数文字	ビジネスワールド 28 - 追加の説明
--------------------------	-----------	-----------	------	---------------------

				必要に応じて調整してください。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld29	Bussfld29	変数文字	事業分野 29 の説明 - 追加事業分野。
RPT_Contact_BusinessData	Bussfld30	Bussfld30	変数文字	Business フィールド 30 - 追加のビジネス フィールドの説明。
RPT_Contact_BusinessData	連絡先の詳細	連絡先の詳細	変数文字	この列には連絡先情報が XML データ形式として含まれ、ダイヤラーに送信されます。たとえば、名、姓、連絡先番号などです。
RPT_Contact_BusinessData	変更日時	変更日時	変数文字	このエントリを最後に更新したエンティティのユーザ ID。
RPT_Contact_BusinessData	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_Contact_BusinessData	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されると アプリケーションにより自動生成されま



				す。
--	--	--	--	----

リストのアップロード

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_ListInfo	キャンペーンの内容	キャンペーン名	変数	このリストがアップロードされるキャンペーン名です。
RPT_AE_ListInfo	リストタイプ	リストタイプ	変数	リストの種類です。API でアップロードするか、ファイルでアップロードするかを定義します。
RPT_AE_ListInfo	リスト ID	リスト ID	整数	このリスト用のアプリケーションによって自動生成されるリスト ID。
RPT_AE_ListInfo	STARTTIME	STARTTIME	日時	リストのアップロードが開始された日時。
RPT_AE_ListInfo	ENDTIME	ENDTIME	日時	リストのアップロードが完了した日時。
RPT_AE_ListInfo	録画が挿入されました	録画が挿入されました	整数	このリストからアップロードされたレコードの数。

RPT_AE_ListInfo	記録に失敗しました	記録に失敗しました	整数	このリストからのアップロードに失敗したレコードの数。
RPT_AE_ListInfo	記録 SDNC	記録 SDNC	整数	ここから、DNC レコードの数が表示されます。

				します。
RPT_AE_ListInfo	重複したレコード数	重複したレコード数	整数	このリストの重複レコードの数。
RPT_AE_ListInfo	録画済み	録画済み	整数	このリストから削除された連絡先の数です
RPT_AE_ListInfo	SOURCENAME	ソースの詳細	変数	拡張子付きのアップロードファイル名です。
RPT_AE_ListInfo	ソースタイプ	ソースタイプ	変数	ファイルソースの種類です。値は例えば W がウェブ、M がメディア、F がファイル、L がリストです。
RPT_AE_ListInfo	ユーザ ID	ユーザ ID	変数	連絡先をアップロードしたユーザの名前です。
RPT_AE_ListInfo	ロケーション	ロケーション	変数	処理対象のファイルが配置されている場所です。
RPT_AE_ListInfo	録画が移動されました	録画が移動されました	整数	このリストから移動されたレコードの数。

RPT_AE_ ListInfo	録画済み	録画済み	整数	他のターゲット キャンペーンにチェーンされているレコードの数
---------------------	------	------	----	--------------------------------

				選択することができません。
RPT_AE_ListInfo	停止フラグの一覧表示	停止フラグの一覧表示	ブール値	リストが停止状態かどうかを示すフラグです。
RPT_AE_ListInfo	ListStartDate	ListStartDate	日時	このリストからコンタクトがとられたキャンペーンへのアップロードが開始された日時。
RPT_AE_ListInfo	リスト停止日	リスト停止日	日時	リストが停止された日時。
RPT_AE_ListInfo	GlobalListID	GlobalListID	整数	生成されたリスト ID これは、グローバルアップロード用に配置された各リストのアプリケーション別です。
RPT_AE_ListInfo	状況の一覧表示	状況の一覧表示	変数	成功、失敗、エラーなどのリストの状況。



RPT_AE_ ListInfo	ListProcessingDate	ListProcessingDate	日時	コンタクト ファイルの 処理が開始 された日 時。
RPT_AE_ ListInfo	ListTimeToLive	ListTimeToLive	整数	の日数で す。

				リストはライブ状態の前に連絡先をこのリストからアップロードできなくなります。
RPT_AE_ListInfo	TTLBusinessDays	TTLBusinessDays	ブール値	このリストの有効期間が営業日によって計算されているかどうかを示すフラグ。
RPT_AE_ListInfo	合計レコード数処理済み	合計レコード数処理済み	整数	アップロードのために処理されたレコードの合計数です。
RPT_AE_ListInfo	UniqueTimeZone	UniqueTimeZone	変数	これは、固有のタイムゾーンでリストをアップロードするかどうかを定義します。コンタクトは、コンタクトのタイムゾーンごとに処理されます。

RPT_AE_ListInfo	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されるときに、アプリケーションによって自動生成されません。
RPT_AE_ListInfo	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID 自動生成 アプリケーション別

				新しいテナントが作成された際に表示されます。
RPT_AE_ アップロード履歴	UploadType	UploadType	変数	アップロードタイプ (JSON、API、などがあります。
RPT_AE_ アップロード履歴	アップロード、サブタイプ	アップロード、サブタイプ	変数	アップロードのサブタイプです。新規ファイルの場合は N、すでに利用可能なファイルの更新の場合は U、別のファイルのコピーの場合は C です。
RPT_AE_ アップロード履歴	前回のアクセス	前回のアクセス	日時	表が最後に変更された日時です。
RPT_AE_ アップロード履歴	子リスト ID	子リスト ID	整数	子リストの ID は、アプリケーションによって自動生成されたリストです。
RPT_AE_ アップロード履歴	Mode B-lockedInComplianceDNC	Mode B-lockedInComplianceDNC	変数	DNC 要件によりブロックされているモード。

RPT_AE_ アップロード履歴	連絡先 B-lockedInCompliance DNC	連絡先 B-lockedInCompliance DNC	変数	NDNC によってブロックされるモード要件を満たします。
RPT_AE_ アップロードの履歴-	Mode B-lockedInComplianceLi tigation	Mode B-lockedInComplianceLi tigation	変数	モードは、

トリー				訴訟要件によりブロックされています。
RPT_AE_アップロード履歴	連絡先 B- ロックインコンプライアンス訴訟	連絡先 B- ロックインコンプライアンス訴訟	整数	訴訟の要件によってブロックされている連絡先の数です。
RPT_AE_アップロード履歴	ソースの詳細	ソースの詳細	変数	拡張子付きのアップロードファイル名です。
RPT_AE_アップロード履歴	プロファイル名	プロファイル名	変数	連絡先がアップロードされた際に使用したプロファイル。
RPT_AE_アップロード履歴	更新されたリスト ID	更新されたリスト ID	変数	アプリケーションによって生成された更新されたリスト ID です。
RPT_AE_アップロード履歴	UploadedDuration (アップロード時間)	UploadedDuration (アップロード時間)	整数	アプリケーションがリストのアップロードを完了するまでにかかった時間。

リスト情報



ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_Campaign	キャンペーンの内容	キャンペーン名	変数文字	このリストがアップロードされるキャンペーン名です。
RPT_AE_	リスト ID	リスト ID	整数	リスト ID は自動的に

ListInfo				このリスト用にアプリケーションが生成します。
RPT_AE_ListInfo	ListStartDate	ListStartDate	datetime	このリストの連絡先の日時が、キャンペーンへのアップロードを開始したものです。
RPT_AE_ListInfo	状況の一覧表示	状況の一覧表示	変数文字	成功、失敗、エラーなどのリストの状況。
RPT_AE_ListInfo	GID	GID	整数	グローバルアップロード用に配置された各リストに対して、アプリケーションにより生成されるリスト ID です。
RPT_AE_ListInfo	挿入日時	挿入日時	datetime	レコードが挿入された日時
RPT_AE_ListInfo	SOURCENAME	SOURCENAME	変数文字	アップロードファイル名と拡張子
RPT_AE_ListInfo	ListStartDateTime	ListStartDateTime	datetime	このリスト中の連絡先が、キャンペーンへのアップロードの処理を開始した特定の日時

RPT_AE_ListInfo	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_ListInfo	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は、

				新しいテナントが作成されたときにアプリケーションに表示されます。
--	--	--	--	----------------------------------

グローバルアップロード

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_GU アクティビティ	GlobalListID	GlobalListID	整数	生成されたリストID これは、グローバルアップロード用に配置された各リストのアプリケーション別です。
RPT_AE_GU アクティビティ	グローバルファイル名	グローバルファイル名	変数	アップロード用に配置されたファイル連絡先の名前です。
RPT_AE_GU アクティビティ	Status (ステータス)	Status (ステータス)	変数	ファイルのアップロード状況 (成功、エラーなど)
RPT_AE_GU アクティビティ	処理時間	処理時間	日時	コンタクトファイルの処理が開始された日時



RPT_AE_ GU アクティ ビティ	エラーの説明	エラーの説明	変数	エラーの詳細 (アップロードされていないコンタクトの場合)。たとえば、失敗です。
---------------------------	--------	--------	----	--

RPT_AE_ GU アクティ ビティ	合計レコード数	合計レコード数	整数	連絡先リストからアップロードされたレコードの合計数。
RPT_AE_ GU アクティ ビティ	不良レコード	不良レコード	整数	連絡先リストの不良レコード（アップロードできなかったレコード）の数。
RPT_AE_ GU アクティ ビティ	不一致レコード	不一致レコード	整数	どのキャンペーンにもアップロードできなかったレコードの合計数がです。
RPT_AE_ GU アクティ ビティ	キャンペーンレベルのレコード数	キャンペーンレベルのレコード数	整数	このアップロードにより各キャンペーンにアップロードされた記録の合計数。
RPT_AE_ GU アクティ ビティ	アップロードされたファイル名	アップロードされたファイル名	変数	アップロードのために配置されたファイルの名前です。
RPT_AE_ GU アクティ ビティ	状況の一覧表示	状況の一覧表示	変数	リストの状況、成功、失敗、エラーなど。



RPT_AE_ GU アクティ ビティ	テナント ID	テナント ID	整数	テナント I D は、
---------------------------	---------	---------	----	----------------

				新しいテナントが作成されたときのアプリケーションです。
RPT_AE_GU アクティビティ	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID 自動生成アプリケーションによって新しいテナントが作成されます。
RPT_AE_アップロード履歴	アップロード時刻	アップロード時刻	日時	コンタクトがアップロードされた日時。
RPT_AE_アップロード履歴	処理された連絡先の合計	処理された連絡先の合計	整数	アップロードのために処理された連絡先の合計数です。
RPT_AE_アップロード履歴	連絡先アップロード済み	連絡先アップロード済み	整数	各種キャンペーンにアップロードされた連絡先の合計数。
RPT_AE_アップロード履歴	コンタクトがアップロードに失敗しました	コンタクトがアップロードに失敗しました	整数	失敗し、どのキャンペーンにもアップロードされなかったコンタクトの合計数。



RPT_AE_ アップロー ド履歴	連絡先の重複	連絡先の重複	整数	重複する連 絡先の合計 数です。
RPT_AE_ アップロー ド履歴	NDNC で連絡先がブロック済み	NDNC で連絡先がブロック済み	整数	の合計数

				国内の [連絡拒否] 設定によりブロックされた連絡先。
RPT_AE_アップロード履歴	連絡先 - sBlockedInCorporateDNC	連絡先 - sBlockedInCorporateDNC	整数	この企業が [連絡不可] 設定でブロックした連絡先の合計数。
RPT_AE_アップロード履歴	モードが NDNC でブロック済み	モードが NDNC でブロック済み	整数	[発信不可] 設定のため、連絡先のアップロードでモードがブロックされました。
RPT_AE_アップロード履歴	モード BlockedInCorporateDNC	モード BlockedInCorporateDNC	変数	通話拒否設定が原因で、会社が連絡先のアップロードのモードをブロックしています。
RPT_AE_アップロード履歴	ModeFailedToUpload	ModeFailedToUpload	変数	失敗したモードのためにアップロードできなかったコンタクト - たとえば、そのキャンペーンにモ



				ードが存在 しません。
RPT_AE_ アップロー ド履歴	更新された連絡先	更新された連絡先	整数	削除された 連絡先の数

				アップロード機能を使って更新されました。
RPT_AE_ アップロード履歴	UploadType	UploadType	変数	アップロードタイプ (JSON、API、などがあります。
RPT_AE_ アップロード履歴	アップロード、サブタイプ	アップロード、サブタイプ	変数	アップロードのサブタイプです。値は新規ファイルの場合は <i>N</i> 、既存のファイルの場合は <i>U</i> 、そして <u>別のファイルのコピーの場合。</u>
RPT_AE_ アップロード履歴	前回のアクセス	前回のアクセス	日時	表が最後に変更された日時です。
RPT_AE_ アップロード履歴	子リスト ID	子リスト ID	整数	子リストの ID は、アプリケーションによって自動生成されたリストです。
RPT_AE_ アップロード履歴	Mode B-lockedInComplianceDNC	Mode B-lockedInComplianceDNC	変数	DNC 要件によりブロックされているモード。

RPT_AE_ アップロード履歴	連絡先 B-lockedInCompliance DNC	連絡先 B-lockedInCompliance DNC	変数	NDNC によってブロックされるモード要件を満たします。
RPT_AE_ アップロードの履歴-	Mode B-lockedInComplianceLi tigation	Mode B-lockedInComplianceLi tigation	変数	モードは、

トリー				訴訟要件によりブロックされています。
RPT_AE_アップロード履歴	連絡先 B- ロックインコンプライアンス訴訟	連絡先 B- ロックインコンプライアンス訴訟	整数	訴訟の要件によってブロックされている連絡先の数です。
RPT_AE_アップロード履歴	ソースの詳細	ソースの詳細	変数	拡張子付きのアップロードファイル名です。
RPT_AE_アップロード履歴	プロファイル名	プロファイル名	変数	連絡先がアップロードされた際に使用したプロファイル。
RPT_AE_アップロード履歴	更新されたリスト ID	更新されたリスト ID	変数	アプリケーションによって生成された更新されたリスト ID です。
RPT_AE_アップロード履歴	UploadedDuration (アップロード時間)	UploadedDuration (アップロード時間)	整数	アプリケーションがリストのアップロードを完了するまでにかかった時間。

グローバルアップロードエラー



ソース表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_GU_Error	エラー ID が間違っています	エラー ID が間違っています	整数	このエラーに対して自動生成されたエラー ID です。
RPT_GU_Error	エラータイプ	エラータイプ	変数文字	エラーの種類:

				アプリケーションによってスローされます。
RPT_GU_Error	説明	説明	変数文字	エラーの説明。
RPT_GU_Error	エラー時間	エラー時間	datetime	アプリケーションによりエラーが報告された日時。
RPT_GU_Error	エラーレコード	エラーレコード	text	エラーレコード。ログとしてのエラーの詳細です。
RPT_GU_Error	UPLOADERTYPE	UPLOADERTYPE	文字	このエラーを報告したアップローダの種類には、コンタクト、グローバル、スクラブ、コンプライアンスなどがあります。
RPT_GU_Error	キャンペーンの内容	キャンペーンの内容	変数文字	このエラーを報告したキャンペーン ID。
RPT_GU_Error	リスト ID	リスト ID	整数	エラーが発生したリストの ID です。
RPT_GU_Error	ファイル ID	ファイル ID	整数	このエラーに関連するファイル ID (ファイル経由でアップロードする場合) です。
RPT_GU_Error	ファイル名	ファイル名	変数文字	このエラーの原因となったアップロードファイルの名

				前です。
RPT_GU_Error	予約フィールド 1	予約フィールド 1	変数文字	今後の使用のために。
RPT_GU_Error	予約フィールド 2	予約フィールド 2	変数文字	今後の使用のために。
RPT_GU_Error	予約フィールド 3	予約フィールド 3	変数文字	今後の使用のために。
RPT_GU_Error	予約フィールド 4	予約フィールド 4	変数文字	今後の使用のために。
RPT_GU_Error	予約フィールド 5	予約フィールド 5	変数文字	今後の使用のために。

RPT_GU_Error	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_GU_Error	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。

マスターフィールドの詳細

エージェント

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
OBD_BSFTAgentList	ID	ID	整数	各レコードに固有の ID 列。
OBD_BSFTAgentList	AgentID	AgentID		同期時にダイヤラーから取得されるエージェントの一意的 ID。
OBD_BSFTAgentList	エージェント名	エージェント名	変数文字	ログインしているエージェントの名前です。

OBD_BSFTAgentList	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
OBD_BSFTAgentList	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
OBD_BSFTAgentList*	チーム ID	チーム ID	整数	の一意の ID

				同期時にダイヤラーからチームを取得しました。 メモ: Webex Contact Center 1.0 では、Team と Team I は異なる値になっていました。しかし、2.0 では両方のフィールドで同じ値を取得します。
OBD_BSFTAgentList*	チーム名	チーム名	変数文字	チーム名です。
OBD_BSFTAgentList*	チーム (Team)	チーム (Team)	変数文字	ダイヤラーで受信したチームの一意の ID。

*OBD_BSFTTeamList テーブルのすべてのフィールドは、チームの 1 列に XML 値として入力されます。

キャンペーン

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_CAMPaign	キャンペーングループ	キャンペーングループ	変数文字	このキャンペーンにマッピングされたキャンペーングループの名前です。
RPT_AE_CAMPaign	キャンペーンの内容	キャンペーンの内容	整数	作成時に自動生成されるキャンペーン ID
RPT_AE_CAMPaign	説明	説明	変数文字	キャンペーンの説明。



RPT_AE_CAMP IGN	キャンペーンタイプ	キャンペーンタイプ	変数文字	キャン ペー ン タイプ - 音声または 音声以外。
RPT_AE_CAMP IGN	CALLClassIFY	CALLClassIFY		使用されてい ません。

RPT_AE_CAMPAIN	ハングアップ	ハングアップ		使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN	アプリ名	アプリ名		使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN	最大連絡先	最大連絡先	整数	連絡先の最大数です。
RPT_AE_CAMPAIN	NUISANCE タイムアウト	NUISANCE タイムアウト	整数	使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN	キャンペーン状況	キャンペーン状況	変数文字	作成済み、実行中、停止、一時停止時間などのキャンペーン状況。
RPT_AE_CAMPAIN	ゾーン名	ゾーン名	変数文字	キャンペーンのタイムゾーンです。
RPT_AE_CAMPAIN	結果グループ	結果グループ	変数文字	このキャンペーンにマッピングされた結果グループです。
RPT_AE_CAMPAIN	補助グループ	補助グループ	変数文字	使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN	ログアウトグループ	ログアウトグループ	変数文字	使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN	STARTDATE	STARTDATE	datetime	キャンペーンの開始日です。
RPT_AE_CAMPAIN	ENDDATE	ENDDATE	datetime	キャンペーンの終了日です。
RPT_AE_CAMPAIN	STARTTIME	STARTTIME	datetime	キャンペーンの開始時刻で

				す。
RPT_AE_ CAMPAI GN	ENDTIME	ENDTIME	datetime	キャンペーン の終了時刻で す。
RPT_AE_ CAMPAI GN	ユーザの作成	ユーザの作成	変数文字	このキャン ペーンを作 成したユー ザの名前で す。

RPT_AE_ CAMPAIGN	作成日時	作成日時	datetime	このキャンペーンが作成された日時です。
RPT_AE_ CAMPAIGN	コンタクトのタイムアウト	コンタクトのタイムアウト		使用されていません。
RPT_AE_ CAMPAIGN	自動停止日	自動停止日	変数文字	キャンペーンが自動的に停止される曜日です。例えば、土曜日と日曜日です。
RPT_AE_ CAMPAIGN	重複フィルタ	重複フィルタ	整数	複製フィルタを使用して、重複するコンタクトをチェックします。0 の場合は無効です。有効な場合は 1 (デフォルト)。
RPT_AE_ CAMPAIGN	I 転送	I 転送		使用されていません。
RPT_AE_ CAMPAIGN	0 転送	0 転送		使用されていません。
RPT_AE_ CAMPAIGN	ルートポイント	ルートポイント		使用されていません。
RPT_AE_ CAMPAIGN	ODN	ODN		使用されていません。

RPT_AE_ CAMPAIN	応答タイムアウト	応答タイムアウト	整数	アカウントなしのリスケジュールに連絡先を移動する前に、アプリケーションが待機する時間（秒）です。
RPT_AE_ CAMPAIN	DPTYPE	DPTYPE		ダイヤルプランタイプです。

RPT_AE_CAMPAIN	DIALPLANNAME	DIALPLANNAME	変数文字	このキャンペーンに割り当てられたダイヤルプラン。
RPT_AE_CAMPAIN	DP レット	DP レット	整数	構成された再試行の回数。
RPT_AE_CAMPAIN	Windows を閉じる	Windows を閉じる	整数	コンタクトを閉じるまでの再試行の回数です。
RPT_AE_CAMPAIN	DNCF フィルタ	DNCF フィルタ	変数文字	連絡先を DN C としてマークするために適用されるフィルタ（電話番号またはビジネスフィールド）。
RPT_AE_CAMPAIN	AREA タイムゾーン	AREA タイムゾーン	変数文字	このキャンペーンにマッピングされている地域のタイムゾーンです。
RPT_AE_CAMPAIN	チェーンの有効化	チェーンの有効化	ブール値	チェーンが有効かどうかを示します。
RPT_AE_CAMPAIN	キャンペーン	キャンペーン	整数	固有のキャンペーン キーです。これはレポートのキャンペーン フィルターに

				使用されま す。
RPT_AE_ CAMPAI GN	ファイルパス	ファイルパス	変数文字	アップロ ードファ イルが置 かれる場 所のパス です。
RPT_AE_ CAMPAI GN	最近の連絡先 ID	最近の連絡先 ID	整数	このキャン ペーンで最 後に作成さ れた/最新の コンタクト ID です。

RPT_AE_CAMPAIN	最近使用したリスト ID	最近使用したリスト ID	整数	このキャンペーンで最後にアップロードされた最新のリストです。
RPT_AE_CAMPAIN	DP レットタイプ	DP レットタイプ		使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN	PCB を保持	PCB を保持	ブール値	このフィールドは、コンタクトの PCB を保持する必要があるかどうかを示します。
RPT_AE_CAMPAIN	CycleRetryEnabled	CycleRetryEnabled	ブール値	これは、このキャンペーンでサイクルリトライが有効になっているかどうかを示します。
RPT_AE_CAMPAIN	サイクル オフセット	サイクル オフセット	整数	これは、サイクルオフセットがあるかどうかを示します。つまり、コンタクトが再試行されるまでのサイクル内の日数です。 0 無効の場合。 1 有効になっている場合。

RPT_AE_CAMPAIN	サイクル数	サイクル数	整数	完了したダイヤルサイクルのカウント。すべての構成されたモードが1回ダイヤルされると、サイクルが完了します。
RPT_AE_CAMPAIN	循環再試行閉じる	循環再試行閉じる	ブール値	このフラグは、com-

				サイクルの再試行が一杯です。
RPT_AE_CAMPAIN	StateLawFollowType	StateLawFollowType	変数文字	連絡先に発信する際に従う州法の種類です。
RPT_AE_CAMPAIN	日単位の再試行	日単位の再試行	整数	コンタクトが1日に許可するダイヤル再試行の回数。
RPT_AE_CAMPAIN	ListTimeToLive	ListTimeToLive	整数	生存期間(コンタクトリスト用)。これは日数です。
RPT_AE_CAMPAIN	TimeZoneUseType	TimeZoneUseType	変数文字	このキャンペーンのタイムゾーン使用タイプ。オプションは、 なし - システムで設定されたタイムゾーンを使用 継承 - グループで選択されたタイムゾーン。 時間の経過とともに表示されます。
RPT_AE_CAMPAIN	Prefix	Prefix	変数文字	アップロードされた連絡先の前に指定す



				る文字列で す。
--	--	--	--	-------------

				れます。
RPT_AE_CAMPAIN	サフィックス	サフィックス	変数文字	配信時にアップロードされた連絡先に付加されている文字列です。
RPT_AE_CAMPAIN	ある UL キャンペーン	ある UL キャンペーン	ブール値	これにより、キャンペーンが共有リスト キャンペーンかどうかを判断します。
RPT_AE_CAMPAIN	作成日時日時	作成日時日時	変数文字	キャンペーンが作成された日時です。
RPT_AE_CAMPAIN	ModifyDateTime	ModifyDateTime	datetime	キャンペーンが最後に更新された日時。
RPT_AE_CAMPAIN	ICMID	ICMID	datetime	ICM ID 呼び出しに使用されます。
RPT_AE_CAMPAIN	EmailThreshold	EmailThreshold	整数	このキャンペーンで日またはグローバル制限ごとに配信できるメール数です。
RPT_AE_CAMPAIN	IsPostCallScript	IsPostCallScript	ブール値	このフラグは、通話後に実行する必要がある通話後スクリプトがあ

				るかどうかを示します。
RPT_AE_CAMPAIN	WindowRetry	WindowRetry	ブール値	このフラグにより、キャンペーンが構成されているかどうかが決まります。

				を再試行してください。
RPT_AE_CAMPAIN	ウィンドウ試行	ウィンドウ試行	整数	特定の通話ウィンドウに対して設定された 発信試行回数。
RPT_AE_CAMPAIN	WindowDuration	WindowDuration	整数	int 呼び出しウィンドウの継続時間（日数）です。
RPT_AE_CAMPAIN	複数郵便番号	複数郵便番号	ブール値	キャンペーンでダイヤル用に複数の郵便番号を扱えるかどうかを指定します。
RPT_AE_CAMPAIN	予測結果	予測結果	datetime	このキャンペーンの結果を取得するための予測時間です。
RPT_AE_CAMPAIN	予測レコードオープンレコード数	予測レコードオープンレコード数	整数	予測時間内に返されたレコード数。
RPT_AE_CAMPAIN	TTLBusinessDays	TTLBusinessDays	整数	Time to Live Time が 営業日として設定されている場合、営業日数。
RPT_AE_CAMPAIN	P2P	P2P	ブール値	支払い傾向が有効かどうかを判断するためのフラグです。



RPT_AE_ CAMPAI GN	BTTC	BTTC	ブール値	フラグを立てて、Best Time Toかどうかを判断します。
----------------------	------	------	------	---------------------------------

				発信が有効になっています。
RPT_AE_CAMPAIN	IsAllowInvalidDeviceId	IsAllowInvalidDeviceId	ブール値	フラグを立てて、無効なデバイス ID によるアクセスを提供できるかどうかを判断します。
RPT_AE_CAMPAIN	ID 認証	ID 認証	変数文字	SSN、税番号など、認証する ID です。
RPT_AE_CAMPAIN	IsIdentityAuthentication	IsIdentityAuthentication	ブール値	識別認証機能が有効かどうかを判断するためのフラグ。
RPT_AE_CAMPAIN	AlwaysToClicker を使用する	AlwaysToClicker を使用する	ブール値	ダイヤルする前に、常に連絡先をクリックャーエージェントに送信する必要があるかどうかを指定するフラグを立てます。
RPT_AE_CAMPAIN	isIVRTemplateEnable	isIVRTemplateEnable	ブール値	このフラグを立てて、IVR テンプレートが有効かどうかを判断します。

RPT_AE_ CAMPAIGN	IVRTemplateID	IVRTemplateID	整数	この IVR テンプレート用に IVR テンプレートが生成されました。
RPT_AE_ CAMPAIGN	IVRTemplateName	IVRTemplateName	変数文字	テンプレート名は IVR です。
RPT_AE_ CAMPAIGN	StateLawGroup	StateLawGroup	変数文字	州法グループ名です。
RPT_AE_	チャットボットアカウント	チャットボットアカウント		

キャンペーン				
RPT_AE_CAMPAIN	[キャンペーン カテゴリ ID]	[キャンペーン カテゴリ ID]	整数	キャンペーン カテゴリ用に自動生成された ID です。
RPT_AE_CAMPAIN	テナント ID	テナント ID	テナント ID	テナント ID
RPT_AE_CAMPAIN	サブテナント ID	サブテナント ID	サブテナント ID	サブテナント ID
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	キャンペーンの内容	キャンペーンの内容	整数	作成時に自動生成されるキャンペーン ID です。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	連絡先優先順位	連絡先優先順位		使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	パムドスクリプト	パムドスクリプト		使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	認証コード	認証コード		使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	平日休日	平日休日	変数文字	キャンペーンが実行されない曜日です。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	コールガイド	コールガイド	変数文字	エージェントが従うための、このキャンペーン用に設定された通話ガイド。



RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	エージェントがクラシック	エージェントがクラシック	ビット	着信を以前の通話と分類/照合する必要があるかどうか。0 は分類です
-----------------------	--------------	--------------	-----	-----------------------------------

				可能; 1 件が有効になりました。 NULL も有効です。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	エージェントがタイムアウトになりました	エージェントがタイムアウトになりました	整数	エージェントが呼び出しに回答しない場合のタイムアウト (秒)。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	住所から	住所から	変数文字	キャンペーンからメールが送信されるときに、[差出人] フィールドを入力するメールアドレスです。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	アドレスにリプライ	アドレスにリプライ	変数文字	メールアドレスは顧客に送信されたキャンペーンメールへの返信。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	バルクメール	バルクメール	整数	設定済みのメールサーバがメールの一括送信をサポートするかどうかを指定します。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	NOOF メール連絡先	NOOF メール連絡先		このメールキャンペーンのメール受信者数です。

RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	ブレンディングを有効にする	ブレンディングを有効にする	ブール値	このフラグは、このキャンペーンでブレンディングが有効かどうかを決定します。
RPT_AE_CAMPAIN_PORT	VDNNUMBER	VDNNUMBER	整数	使用するポート番号

パラメータ				メールサーバを選択します。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	VDN タイムアウト	VDN タイムアウト	整数	ポートが利用できない場合のタイムアウト (秒単位)。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	キューがタイムアウトになりました	キューがタイムアウトになりました	整数	連絡先が放棄されるまでのキューでの滞在時間。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	中止者	中止者	整数	放棄コールの割合。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	しきい値比率	しきい値比率	整数	このキャンペーンでアップロードできるコンタクトの割合 (%)。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	特定のチャンネル	特定のチャンネル		使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	有効永続的	有効永続的		使用されていません。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	事前接続を有効にする	事前接続を有効にする	整数	これは一括メールを送信するための事前接続です。メールがなければ切断します。既定値は -1 で

				す。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	前回の CONTACTID	前回の CONTACTID	整数	最後に更新された連絡先 ID です。
RPT_AE_	予約済み 1	予約済み 1	変数文字	予約済み

CAMPAIGN_PARAM				連絡先の配信時のキャンペーンのフィールドです。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	予約済み 2	予約済み 2	変数文字	コンタクトの配信時のキャンペーン用に予約されているフィールドです。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	予約済み 3	予約済み 3	変数文字	コンタクトの配信時のキャンペーン用に予約されているフィールドです。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	予約済み 4	予約済み 4	変数文字	コンタクトの配信時のキャンペーン用に予約されているフィールドです。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	予約済み 5	予約済み 5	変数文字	コンタクトの配信時のキャンペーン用に予約されているフィールドです。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	Cisco キャンペーン	Cisco キャンペーン	整数	この (キャンペーングループ) のために Cisco が生成したキャンペーン ID です。



RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	Cisco Unified Communications Manager アップロード	Cisco Unified Communications Manager アップロード	変数文字	ダイヤラーに配信されるアップロード連絡先へのパス。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	CISCOAlarmTime	CISCOAlarmTime		使用されていません

RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	CISCOINITIALNOEFCOUNTS	CISCOINITIALNOEFCOUNTS	整数	ダイヤラーに配信される連絡先の数です てください。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	Cisco Cisco Unified Communications Manager	Cisco Cisco Unified Communications Manager	整数	ダイヤル発信が予想されたペースではない場合に、コンタクト配信が減少しなければならない要因。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	Cisco アップロードファイル形式 - T	Cisco アップロードファイル形式 - T	整数	連絡先ファイルのアップロードファイル形式 - txt、csv、JSON など。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	CISCOINCREMENTPERCENT	CISCOINCREMENTPERCENT	整数	ダイヤリングが予想より遅い場合に発生する、コンタクト配信の増加率。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	CISOCODECREMENTPERCENT - T	CISOCODECREMENTPERCENT - T	整数	予想よりもダイヤルが遅い場合に発生する、連絡先配信の削減率。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	Cisco VDN	Cisco VDN	変数文字	連絡先 配信に失敗した場合の代替 Cisco キャンペーン ID。



RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	CISCO 周辺機器 ID	CISCO 周辺機器 ID	整数	Cisco でのスイッチのポート番号です。
----------------------	---------------	---------------	----	-----------------------

RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	しきい値を下げる	しきい値を下げる	整数	ダイヤリングが予想よりも遅い場合に、コンタクトが配信できる上限しきい値。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	CISCOINCREASTHRESHOLD	CISCOINCREASTHRESHOLD	整数	ダイヤルが予想よりも遅い場合に、コンタクトが配信できる上限しきい値。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	ENABLE 州法	ENABLE 州法	ブール値	州法を有効にするかどうかを指定するフラグです。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	キャンペーンパーセンテージ	キャンペーンパーセンテージ	整数	このキャンペーンでダイヤラーに配信する連絡の割合。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	シーケンス ID	シーケンス ID	整数	グループ内のリストまたはキャンペーンを共有する場合の連絡先配信のシーケンス。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	警告しきい値	警告しきい値	整数	ダイヤラーで連絡可能な連絡先が減ったときにアラートが送信されるしきい値。



RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	アラート (Alert)	アラート (Alert)	ビット	これは、警告通知が有効かどうかを示します。
----------------------	--------------	--------------	-----	-----------------------

RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	有効 DNC	有効 DNC	ブール値	フラグを立てて DNC を有効にする必要があるかどうかを判断します。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	GlobalDNC	GlobalDNC	ブール値	フラグを立てて、アプリケーションのすべてのキャンペーンで、1人のコンタクトに対して DNC を有効にする必要があるかどうかを判断します。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	通知	通知	ブール値	連絡先がコールバック連絡先かどうかを判別するためにフラグを立てます。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	PCB 再試行	PCB 再試行	整数	パーソナルコールバックに許可される再試行の回数。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	PCB オフセット	PCB オフセット	整数	個人のコールバックを再試行するまでの日数。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	Callback 戦略	Callback 戦略	変数文字	キャンペーンにマッピングされたコールバック戦略です。

RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	通話前スクリプトを使用する	通話前スクリプトを使用する	ブール値	このキャンペーンがダイヤルする前にプリコールスクリプトを実行する必要があるかどうかを示すフラグです。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	Callback 戦略タイプ	Callback 戦略タイプ	変数文字	ダイヤルに使用されるコールバック戦略タイプ - Simple、Advanced、または Callback。

RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	リセットグローバル再試行	リセットグローバル再試行	ブール値	グローバル再試行カウントをリセットできるかどうかを判断するためのフラグ。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	PEWC	PEWC	ブール値	フラグを立ててこのコンタクトがPEWC コンタクトかどうかを判断します。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	PrecallScriptValue	PrecallScriptValue	変数文字	有効な場合、コンタクトがダイヤルされる前に使用される発信前スクリプト。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	PostcallScriptValue	PostcallScriptValue	変数文字	有効になっている場合、連絡先がダイヤルされた後に使用される発信後スクリプト。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	キャンペーン タイプ	キャンペーン タイプ	変数文字	キャンペーン タイプ - 音声、音声以外など
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	ブロック区郵便番号	ブロック区郵便番号	変数文字	ブロックされている市外局番や郵便番号、連絡先はダイヤルできません。

RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	連絡先警告 - 通知	連絡先警告 - 通知	整数	アラート通知が管理者に送信される際の、ダイヤルアウトする残りの連絡先数の下限。
RPT_AE_	事前に分で通知	事前に分で通知	整数	終了するまでの時間

CAMPAIGN_PARAM				パーソナルコールバックを事前に通知します。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	最小連絡先	最小連絡先	整数	キャンペーンで配信するコンタクトの最小数。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	継続時間 (分)	継続時間 (分)	整数	キャンペーンのコンタクト配信の継続時間です。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	予測 AverageACWTime 予測	予測 AverageACWTime 予測	整数	予測コールにかかる平均通話後作業 (ACW) 時間。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	サンプルへの予測 の NoofCalls	サンプルへの予測 の NoofCalls		この予測キャンペーンのサンプルコール数。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	MaxAbandonRate の予測値	MaxAbandonRate の予測値	整数	予測キャンペーンで許可されている最大放棄率。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	予測通話 ステータスカテゴリ	予測通話 ステータスカテゴリ	変数文字	このキャンペーンの予測コールカテゴリです。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	予測放棄 通話状況	予測放棄 通話状況		予測通話が放棄されたかどうかを判断するためにフラグを立てま

				す。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	予測 AMDCallStatus	予測 AMDCallStatus		予測呼び出しの留守番電話検出ステータス。

RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	予測平均接続時間	予測平均接続時間	整数	予測コールからエージェントへの接続にかかる平均時間。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	は AMD です	は AMD です	ブール値	このフラグにより、応答マシン検出が有効になっているかどうかは決定されません。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	Pre- dictiveMaxConcurrentCalls	Pre- dictiveMaxConcurrentCalls	整数	予測ペースモードでダイヤルアウトできる同時通話の最大数。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	MaxLinesPerAgent 予測	MaxLinesPerAgent 予測	整数	予測キャンペーン用に設定されたエージェントあたりの最大回線数。この値が 3 で、エージェントが 3 人の場合、反復ごとの連絡数は 9 です。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	タスク タイムアウト	タスク タイムアウト	整数	顧客がキューに留まっていた時間、エージェントに接続されずに通話が放棄されるまでの時間。



RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	PreviewAutoAcceptTime	PreviewAutoAcceptTime	整数	自動承認の時間設定です
----------------------	-----------------------	-----------------------	----	-------------

				通話のプレビューを表示しています。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	Reservation タイムアウト	Reservation タイムアウト	整数	エージェントがコール用に予約されている秒数です。これはキャンペーンマネージャでは編集できません。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	自動ラップアップ時間	自動ラップアップ時間	整数	通話をラップアップするための時間
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	EmailChainingInDays	EmailChainingInDays	整数	メール連絡先が別のキャンペーンにチェーンできるまでの日数です。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	EmailChainingInHours	EmailChainingInHours	整数	メール連絡先が別のキャンペーンに連結できるようになるまでの時間数です。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	必須処理	必須処理	整数	このフィールドは、後処理がコールの必須かどうかを決定します。

RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	DNCPeriodType	DNCPeriodType	変数文字	DNC タイプ - [永久] または [有効期間] のいずれかです。
RPT_AE_CAMPAIN_DURATION	DNCDurationInDays	DNCDurationInDays	変数文字	管理者が会議を

パラメータ				tact は DNC としてマークされます。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	DNCEOD	DNCEOD	ブール値	EOD 操作中に連絡先が DNC としてマークする必要があるかどうか。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	IsDNCCustTZEnabled	IsDNCCustTZEnabled	ブール値	このフラグは、顧客のタイムゾーンに基づいて、コンタクトを DNC としてマークできるかどうかを決定します。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	DNC タイプ	DNC タイプ	ビット	この連絡先の DNC タイプです。オプションは、[キャンペーン固有]、[キャンペーンカテゴリ]、[複数カテゴリ]、および [グローバル] です。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	送信 連絡先 配布	送信 連絡先 配布	整数	コールへの同意に割り当てられた連絡先の割合。

RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	不達連絡先の配信	不達連絡先の配信	整数	連絡先のうち、通話に配信された割合。
RPT_AE_CAMPAIN_PARAM	NonConsentTask タイムアウト	NonConsentTask タイムアウト	整数	同意していない コールが待機する時間 (秒)

				破棄される前のキューを表示します。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新しいテナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	プログラム IVR 最大連絡先	プログラム IVR 最大連絡先	整数	設定した繰り返し間隔でダイヤラーに送信してダイヤルすることができる連絡先の最大数。
RPT_AE_CAMPAIGN_PARAM	DialIterationInterval	DialIterationInterval	整数	ダイヤラーに連絡先を配信するためのキャンペーンスレッドを実行する間隔 (秒)。
RPT_AE_CAMPAIGN_BUSINESSFIELDS	キャンペーンの内容	キャンペーンの内容	整数	作成時に自動生成されるキャンペーン ID です。



RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	フィールド名	フィールド名	変数文字	ビジネスフイ ールド名で す。
RPT_AE_ CAMPAI GN_	データタイプ	データタイプ	変数文字	データ型

ビジネス分野				します。たとえば、文字列、数値、日付などです。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	形式	形式	変数文字	ビジネス フィールドの日付形式です。これは、ビジネス フィールドのデータタイプが日付の場合にのみ有効です。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	ビジネスフィールド	ビジネスフィールド	整数	ビジネスフィールドの位置を、25段階中の許容範囲内で指定します。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	SQL 式	SQL 式	変数文字	ビジネスパラメータの論理式値。これはコンタクトの検索に使用されます。また、レポートの目的にも使用されます。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	マッピングされているメール	マッピングされているメール	ブール値	このフラグは、このビジネス フィールドがメールキャンペーン経由で送信されるメールのコンテンツに

				マッピングされているかどうかを示します。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	ImSMS マップされていま す	ImSMS マップされていま す	ブール値	このフラグ は、このビ ジネス フィ ールドが

				SMS キャンペーンを通じて送信される SMS のコンテンツの一部です。
RPT_AE_CAMPAIN_GN_BUSINESSFIELD	DNCM が適用されています	DNCM が適用されています	ブール値	このフラグは、このビジネスフィールドが連絡先の DNC をマークするためにマップされているかどうかを示します。
RPT_AE_CAMPAIN_GN_BUSINESSFIELD	BusinessTypeId	BusinessTypeId	整数	業種 ID。ユーザが作成した場合は 0。Cisco ビジネスフィールドの場合は 1。
RPT_AE_CAMPAIN_GN_BUSINESSFIELD	編集可能	編集可能	ブール値	このフラグにより、ビジネスフィールドがエージェントによる編集が可能かどうかが決まります。
RPT_AE_CAMPAIN_GN_BUSINESSFIELD	シーケンス ID	シーケンス ID	整数	注文用ビジネスパラメータのシーケンス ID です。

RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	最大値	最大値	ビット	このフラグは、ビジネスフィールドが大きなデータ長を受け入れるように構成されているかどうかを決定します。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	ビューアブル	ビューアブル	ブール値	このフラグは、ビジネスフィールドがエージェントに表示可能かどうかを決定します。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	IV 重複しているか	IV 重複しているか	整数	このフィールドは、ビジネスフィールドが

				IVR 構成
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	が SNS にマッピングされ ている	が SNS にマッピングされ ている	整数	このフィー ルドは、ビ ジネス フィ ールドが SN S にマッピ ングされて いるかどう かを決定し ます (SendGrid) 構成を参照し てください。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	文字の長さ	文字の長さ	整数	このビジネ スフィール ドで許可さ れている最 大文字数で す。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	顧客マスター	顧客マスター	変数文字	ビジネスパ ラメータに 渡される既 定の顧客デ ータです。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は新規テナ ントが作成 されるとア プリケーシ ョンにより 自動生成さ れます。
RPT_AE_ CAMPAI GN_ BUSINESSFI ELDS	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナン ト ID は新 しいテナン トが作成さ れると アプ リケーショ ンにより自

				動生成されます。
OBD_BSFTA-gentMping	ID	ID	整数	キャンペーンをチームにマッピングする際に入力されるID列。

OBD_BSFTA-gentMping	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
OBD_BSFTA-gentMping	エントリポイント	エントリポイント	変数文字	エントリポイントは、プレビューキャンペーンがマッピングされているキャンペーングループです。
OBD_BSFTA-gentMping	キャンペーン ID	キャンペーン ID	整数	キャンペーンの名前
OBD_BSFTA-gentMping	AgentID	AgentID	変数文字	使用されていません。
OBD_BSFTA-gentMping	エージェント名	エージェント名	変数文字	使用されていません。
OBD_BSFTA-gentMping	ユーザ ID	ユーザ ID		管理コンソールでプレビュー キャンペーンを作成したユーザのユーザ ID。
OBD_BSFTA-gentMping	チーム ID	チーム ID	変数文字	キャンペーンにマッピングされたチームの一意的 ID です。
OBD_BSFTA-gentMping	チーム名	チーム名	変数文字	チーム名です。

OBD_BSFTA-gentMping	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新しいテナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
---------------------	-----------	-----------	----	---

*OBD_CampaignBusinessFields テーブルのすべてのフィールドは、CampaignBusiness パラメータ の 1 つの列に XML 値として入力されます。 これはすべてのダイヤラーが対象です。

キャンペーングループ

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	キャンペーングループ ID	キャンペーングループ ID	整数	作成時に自動生成されるキャンペーングループ ID です。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	キャンペーングループ	キャンペーングループ	変数文字	キャンペーングループ名です。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	説明	説明	変数文字	キャンペーングループの説明。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	Cisco Unified Communications Manager アップロード	Cisco Unified Communications Manager アップロード	変数文字	連絡先のアップロードファイルを配置するためのファイルアップロードパスです。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	CISCOAlarmTime	CISCOAlarmTime		使用されていません。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	CISCOINITIALNOOFCONTACTS	CISCOINITIALNOOFCONTACTS	整数	ダイヤラーに配信されるコンタクトの初期数。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	Cisco Cisco Unified Communications Manager	Cisco Cisco Unified Communications Manager	整数	ダイヤル発信が予想されたペースではない場合に、コンタクト配信が減少しな

				ればならない 要因。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グル ープ	Cisco アップロードファイ ル形式	Cisco アップロードファイ ル形式	変数文字	連絡先ファイ ルのアップロ ード形式 (テ キスト、JSON など)。

RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	CISCOINCREMENTPERCENT	CISCOINCREMENTPERCENT	整数	予定より早くダイヤルしている場合、連絡先をアップロードする割合が増加します。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	CISCODECREMENTPERCENT	CISCODECREMENTPERCENT	整数	予定より早くダイヤルした場合は、アップロードする割合が減っていきます。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	ISCISCOGroup	ISCISCOGroup	ブール値	これが Cisco キャンペーン (グループ) かどうかを指定します。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	ゾーン名	ゾーン名	変数文字	このキャンペーングループのタイムゾーンです。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	Cisco VDN	Cisco VDN	変数文字	障害時の連絡先配信用の代替 Cisco キャンペーン ID。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	CISCO 周辺機器 ID	CISCO 周辺機器 ID	整数	Cisco でのスイッチのポート番号です。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	しきい値を下げる	しきい値を下げる	整数	ダイヤル速度に基づいて、最初の配信から削減される連絡先の数。

RPT_AE_CAMP AIGN_ グル ープ	Cisco 増加しきい値	Cisco 増加しきい値	整数	ダイヤル速度に基づいて、最初の配信から増加する連絡先の数。
RPT_AE_	設定データ	設定データ	変数文字	これは、

CAMPAIGN_グループ				これは、グループとそのパラメータの詳細な構成データが利用できるかどうかです。
RPT_AE_CAMP AIGN_グループ	が削除されました	が削除されました	ブール値	キャンペーングループを削除するかどうかを指定します。
RPT_AE_CAMP AIGN_グループ	有効になりました	有効になりました	ブール値	キャンペーングループが有効かどうかを指定します。
RPT_AE_CAMP AIGN_グループ	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
RPT_AE_CAMP AIGN_グループ	IsULGroup	IsULGroup	ブール値	共有リストキャンペーンかどうかを指定します。
RPT_AE_CAMP AIGN_グループ	IsULGroup マッピングされています	IsULGroup マッピングされています	ブール値	このキャンペーングループを共有リストにマッピングするかどうかを指定します。
RPT_AE_CAMP AIGN_グループ	IterationInterval	IterationInterval	整数	コンタクトの配信の 2 回の反復間の反復間隔。



RPT_AE_CAMP AIGN_ グル ープ	作成日時日時	作成日時日時	datetime	このキャン ペーングル ープが作成 された日時 です。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グル ープ	ModifyDateTime	ModifyDateTime	datetime	このキャン ペーングル ープが最後 に更新され た日時で す。

RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	API が生成されました	API が生成されました	ブール値	作成したキャンペーングループかどうかを API で指定します。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	isThrottlingEnable	isThrottlingEnable	ブール値	このキャンペーングループで IVR スロットリングを有効にするかどうかを指定します。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	キャンペーン目的タイプ	キャンペーン目的タイプ	整数	キャンペーンの目的タイプです。1 は API 音声キャンペーンを示します。2 は、キャンペーンマネージャグループ。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	Reservation タイムアウト	Reservation タイムアウト		使用されていません。
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	WxCC リファレンス ID	WxCC リファレンス ID	整数	キャンペーングループとしてキャンペーンマネージャに同期される Webex コンタクトセンターエントリポイントの一意の ID
RPT_AE_CAMP AIGN_ グループ	IsWxCCGroup	IsWxCCGroup	ブール値	このキャンペーングループが Cisco Webex Contact Center ダイアラーに属する

				かどうかを指定します。
RPT_AE_CAMP AIGN_グループ	プラットフォームプロバイダ ID	プラットフォームプロバイダ ID	整数	キャンペーンマネージャーで作成されたプラットフォームプロバイダに対して自動生成された ID です。たとえば、CCaaS プロバイダが

				プラットフォームが作成され、キャンペーンがこのプロバイダにマッピングされている場合、このフィールドが使用されます。
--	--	--	--	---

キャンペーン フィルタ グループ

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_CAMPAGN_ CUS TOMFILTER	キャンペーンの内容	キャンペーンの内容	変数文字	これはキャンペーン名です。たとえば、コレクションです。
RPT_AE_CAMPAGN_ CUS TOMFILTER	今週の日曜日	今週の日曜日	変数文字	この値は、適用するカスタムフィルタグループに設定された曜日を示します。
RPT_AE_CAMPAGN_ CUS TOMFILTER	時間から	時間から	varchar	配信用にアップロードされた連絡先をフィルタリングする開始時間です。既定値は 00:00 です。

RPT_AE_CAMPAIGN_ CUS TOMFILTER	HourT0	HourT0	varchar	配信のためにアップロードされた連絡先をフィルタリングするための終了時間。既定値は 23:59 です。
RPT_AE_CAMPAIGN_	カスタムフィルタグループ	カスタムフィルタグループ		名前:

カスタムフィルター				コンタクト配信のキャンペーンに適用されるカスタムフィルタグループ。
RPT_AE_CAMPAIGN_CUSTOMFILTER	ID	ID	整数	各レコードに固有の ID 列。
RPT_AE_CAMPAIGN_CUSTOMFILTER	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_CAMPAIGN_CUSTOMFILTER	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新しいテナントが作成されると アプリケーションにより自動生成されます。
RPT_AE_CUSTOMFILTERS	CustomFilterGroupID	CustomFilterGroupID	整数	カスタムフィルタグループ ID は新しいフィルタグループが作成された際に自動生成されます。
RPT_AE_CUSTOMFILTERS	CustomFilterGroup	CustomFilterGroup	変数文字	作成されたカスタムフィルタグループの名前です。
RPT_AE_CUSTOMFILTERS	説明	説明	変数文字	カスタム フィルター グループの説明です。

RPT_AE_CUSTOMFILTERS	キャンペーン ID	キャンペーン ID	変数文字	これはこのカスタムフィルターグループが属するキャンペーン名です。たとえば、「コレクション」です。
----------------------	-----------	-----------	------	--

RPT_AE_CUSTOMFILTERS	既定値である	既定値である	ブール値	これをキャンペーンの既定のカスタム フィルター グループにするかどうかを指定します。
RPT_AE_CUSTOMFILTERS	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_CUSTOMFILTERS	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新しいテナントが作成されると アプリケーションにより自動生成されます。
RPT_AE_CUSTOMFILTERGROUP	CustomFilterGroup	CustomFilterGroup	変数文字	カスタムフィルターグループの名前です。
RPT_AE_CUSTOMFILTERGROUP	キャンペーン ID	キャンペーン ID	変数文字	これはこのカスタムフィルターグループが属するキャンペーン名です。たとえば、「コレクション」です。
RPT_AE_CUSTOMFILTERGROUP	条件 ID	条件 ID	整数	条件 ID は、条件が作成されると アプリケーションにより自動生成されます。

RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	条件名	条件名	変数文字	このフィル ターグルー プの条件部 分の条件名 です。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	状態 STR	状態 STR	変数文字	条件の一部で ある文字列。

RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	条件 QRY	条件 QRY	変数文字	条件の一部であるクエリ。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	有効	有効	ブール値	この条件が有効かどうかを指定します。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	使用率	使用率	整数	各条件で処理されたコンタクトの割合を定義します。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	シーケンス ID	シーケンス ID	整数	この条件に対して生成されたシーケンス ID です。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	システム条件	システム条件		連絡先をフィルタリングするためのシステム条件。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	OrderBy	OrderBy	変数文字	条件を満たすデータが表示される順番です。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	ターゲットグループ名	ターゲットグループ名	変数文字	使用されていません。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	削除済み	削除済み	ブール値	この条件を削除して使用できない場合に指定します。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	条件タイプ	条件タイプ		使用されていません。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	マップされた ZoneName	マップされた ZoneName	変数文字	この条件にマッピングされるゾーン名。
RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	エクスポートされた条件 ID	エクスポートされた条件 ID		使用されていません。



RPT_AE_CUSTOMFILTERG roup	状態 STR 情報	状態 STR 情報	変数文字	フィルタリングするコンタクトの基準となる条件。
------------------------------	-----------	-----------	------	-------------------------

RPT_AE_CUSTOMFILTERGROUP	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_CUSTOMFILTERGROUP	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新しいテナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。

*OBD_CustomFilters テーブルのすべてのフィールドは、 **CustomerFilterGroup**。 これはすべてのダイヤラーが対象です。

OBD_CustomFilterGroup テーブルのすべてのフィールドは、名前の付いた 1 つの列に XML 値として入力されます。 **キャンペーン CustomFilters。 これはすべてのダイヤラーが対象です。

カテゴリ

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_CAMPAIGN_ カテゴリ	[キャンペーン カテゴリ ID]	[キャンペーン カテゴリ ID]	整数	作成 時のキャンペーンカテゴリに対して自動生成された ID です。
RPT_AE_CAMPAIGN_ カテゴリ	[キャンペーンカテゴリ名]	[キャンペーンカテゴリ名]	変数文字	割り当てられたキャンペーンカテゴリ名です。



RPT_AE_ CAM PAIGN_ カテ ゴリ	キャンペーン カテゴリ 説 明	キャンペーン カテゴリ 説 明	変数文字	キャンペー ン カテゴリ の説明で す。
RPT_AE_ CAM PAIGN_	グループ ID	グループ ID	整数	キャンペー ン カテゴリ グ ループ

カテゴリ				に属しません。
RPT_AE_ CAM PAIGN_ カテゴリ	作成日時日時	作成日時日時	datetime	キャンペーンカテゴリが作成された日時。
RPT_AE_ CAM PAIGN_ カテゴリ	ModifydDateTime	ModifydDateTime	datetime	キャンペーンカテゴリが最後に更新された日時。
RPT_AE_ CAM PAIGN_ カテゴリ	カテゴリ ID をエクスポートしました	カテゴリ ID をエクスポートしました	整数	これは特定のカテゴリの購読解除グループ ID を示します。
RPT_AE_ CAM PAIGN_ カテゴリ	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
RPT_AE_ CAM PAIGN_ カテゴリ	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID - 新しいテナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。

チャネル

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_ CHANNEL TYPE	チャンネル ID	チャンネル ID	整数	作成時の自動生成チャンネル ID。



RPT_AE_ CHANNEL TYPE	チャンネルの説明	チャンネルの説明	変数文字	チャンネルの説明。
RPT_AE_	カスタマイズモード	カスタマイズモード	ブール値	するかどうかを指定します。

CHANNELTYPE				はこのチャンネル用にカスタム作成されたモードです。
RPT_AE_CHANNELTYPE	「ダイヤラー名」	「ダイヤラー名」	varchar	ダイヤラー名です。これは、アプリケーションがコンタクトを配信する先のダイヤラーです。
RPT_AE_CHANNELTYPE	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_CHANNELTYPE	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されると アプリケーションにより自動生成されます。

コンタクトの状況

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_連絡先状況_マッピング	状況 ID	状況 ID	整数	これは自動生成されたユーザーの一意的識別子です。
RPT_AE_連絡先状況_マッピング	状況説明	状況説明	変数文字	キャンペーン用に設定されたビジネス フィールドです。すべてのビジネスフィールドが一覧表示されます。



RPT_AE_ 連絡先状況_マ ッピング	テナント ID	テナント ID	整数	ビジネスフィールドのデータ型（数値、浮動小数点、または日時指定）です。
RPT_AE_ 連絡先状況_マ ッピング	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	ビジネス フィールドのデータタイプがフィールドの場合の日付の形式です。

ダイヤル プランの詳細

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_ DP の詳細	DIALPLANNAME	DIALPLANNAME	変数文字	ダイヤル プラン名。
RPT_AE_ DP の詳細	説明	説明	変数文字	- ダイヤルプランの説明。
RPT_AE_ DP の詳細	STARTTIME	STARTTIME	datetime	このダイヤル プランが有効になる日時。
RPT_AE_ DP の詳細	ENDTIME	ENDTIME	datetime	このダイヤル プランの有効期限が切れる日時です。
RPT_AE_ DP の詳細	削除されました	削除されました	ブール値	これは、ダイヤル プランが削除されたか、または機能しているかを示します。
RPT_AE_ DP の詳細	モード番号	モード番号	整数	ダイヤルプランにおけるこのモードのモード番号（優先順位）です。
RPT_AE_ DP の詳細	体重	体重	整数	ダイヤルアウトのこのモードに与えられる重み。
RPT_AE_ DP の詳細	CHANNELTYPE	CHANNELTYPE	変数文字	<p>チャンネルの種類です。たとえば、「音声、SMS、メール」などです。</p> <p>1 は SMS、2 は音声、3 はメール、4 は CPAA S、0 は IVR です。</p>
RPT_AE_ DP の詳細	再試行回数	再試行回数	整数	このダイヤル プランごとに許可される最大再試行回数。
RPT_AE_ DP の詳細	PEWC	PEWC	ビット	これが PEWC かどうかを示します。PEWC は書面による事前の明示的な同意が必要です。

RPT_AE_ DP の詳細	WindowRetry	WindowRetry	整数	このダイアルプランで 設定された再試行ウィ ンドウの数です。
RPT_AE_ DP の詳細	WindowAttempts	WindowAttempts	整数	このダイアルプランで 設定された各ウィンド ウの試行回数。
RPT_AE_ DP の詳細	WindowDuration	WindowDuration	整数	ダイアルプランによる ウィンドウの継続時 間。
RPT_AE_	CallBack Carry 再試 行	CallBack Carry 再試 行	ビット	コールバックを

DP の詳細				試行は、再試行カウントをインクリメントする必要があります。
RPT_AE_ DP の詳細	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されるときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_ DP の詳細	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新しいテナントが作成されると アプリケーションにより自動生成されます。

[ユーザ (Users)]

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_USERS	UID	UID	整数	これは、自動生成されたユーザの一意の識別子です。
RPT_AE_USERS	ユーザ ID	ユーザ ID	変数文字	ログインユーザ ID です。
RPT_AE_USERS	名前	名前	変数文字	ユーザの名前。
RPT_AE_USERS	パスワード	パスワード	変数文字	ユーザがアプリケーションにログインするためのパスワードです。
RPT_AE_USERS	AAddress1	AAddress1	変数文字	ユーザの住所の 1 行目。
RPT_AE_USERS	AAddress2	AAddress2	変数文字	利用可能な場合、ユーザの住所の 2 行目。
RPT_AE_USERS	市区町村	市区町村	変数文字	ユーザが属する市区町村です。



RPT_AE_USERS	状態	状態	変数文字	上記の市区町村/州/ 住所の郵便番号で す。
RPT_AE_USERS	#dntr_ビフェジエフィ ズ	PIN	変数文字	上記の市区町村/州/ 住所の郵便番号で す。
RPT_AE_USERS	HOME_PHONE	HOME_PHONE	変数文字	家の電話

				ユーザの番号。
RPT_AE_USERS	MOBILE_PHONE	MOBILE_PHONE	変数文字	ユーザの携帯電話番号です。
RPT_AE_USERS	電子メールID (Email-Id)	電子メールID (Email-Id)	変数文字	ユーザのメール アドレス。
RPT_AE_USERS	コメント	コメント	変数文字	入力されたユーザに関する任意の追加コメント。
RPT_AE_USERS	作成日時	作成日時	変数文字	アプリケーション上でユーザが作成された日時。
RPT_AE_USERS	ユーザの作成	ユーザの作成	変数文字	このユーザを作成した人です。
RPT_AE_USERS	AuthenticationType	AuthenticationType	整数	このユーザに対して有効になっている認証タイプです。 オプションは Windows 認証、データベース認証、および SSO 認証です。
RPT_AE_USERS	ユーザタイプ	ユーザタイプ	整数	これは、ユーザが管理ユーザであるか、指定されたアクセス権を持つロールベースのユーザであるかを示します。
RPT_AE_USERS	ユーザはマップされています	ユーザはマップされています	ビット	
RPT_AE_USERS	Salesforce ですか	Salesforce ですか	ビット	これが Service Cloud の音声対応ユーザである場合、この値は 1 と指定されます。それ以外の場合は 0 となります。

RPT_AE_USERS	同時ログインである	同時ログインである	ビット	これは、ユーザが別のデバイスから同時にログインできるかどうかを示します。指定可能な値 - 許可されない場合は 0、許可されない場合は 0。1 (許可されている場合)。
--------------	-----------	-----------	-----	---

RPT_AE_USERS	有効期限なし	有効期限なし	ビット	これは、パスワードを無期限にするための設定です。パスワードの有効期限が無期限の場合は 1 を設定します。0 パスワードの有効期限が切れ、リセットが必要な場合。
RPT_AE_USERS	次のログオンパスワード	次のログオンパスワード	ビット	これはユーザに次のログオン時にパスワードの変更を強制するための設定です。ユーザにパスワードの変更を強制するには 1 を設定します。0:古いパスワードでのログインを許可します。
RPT_AE_USERS	CreateUserInDomain	CreateUserInDomain	ビット	ユーザがここで作成されたときにドメイン上で作成されるかどうかを決定します。ユーザがドメイン上で作成された場合は 1。0 ドメインで作成されていない場合。
RPT_AE_USERS	削除済み	削除済み	ビット	これは削除されたユーザを示します。ユーザが削除された場合、値は 1 です。ユーザが削除されていない場合は 0。

RPT_AE_USERS	変更日時	変更日時	変数文字	これはユーザ情報変更ルートを示します - アプリケーションまたは API メソッド経由。
RPT_AE_USERS	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
RPT_AE_USERS	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	アプリケーションが自動生成するサブテナント ID

				新しいテナントが作成されたとき。
--	--	--	--	------------------

プロフィール (Profile)

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_AutoUp-loadParam	ID	ID	整数	プロフィールの自動生成 ID です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	キャンペーン ID	キャンペーン ID	整数	連絡先のアップロード用のプロフィールのキャンペーン ID です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	プロフィール名	プロフィール名	変数文字	プロフィール名です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	ファイルヘッダー	ファイルヘッダー	変数文字	連絡先アップロードファイルのヘッダーの詳細です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	SrcDetails	SrcDetails	変数文字	コンタクトを含むアップロードファイルの名前です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	Priority	Priority	整数	このプロフィール経由でアップロードされた連絡先の優先順位。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	ContactMoment	ContactMoment	datetime	特定の日時を指定してコンタクトにダイヤルアウトします。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	AgentID	AgentID	整数	このコンタクトを処理するエージェントのエ

				ージェント ID です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	タイムゾーン	タイムゾーン	変数文字	このプロファイル経由でアップロードされる連絡先のタイムゾーン。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	モード	モード	変数文字	選択できるモード

				このプロファイル経由でアップロードできる連絡先を指定します。
RPT_AE_AutoUploadParam	業務用会議室	業務用会議室	変数文字	連絡先アップロードファイル中の連絡先のビジネスフィールド。
RPT_AE_AutoUploadParam	郵便番号	郵便番号	整数	連絡先の郵便番号
RPT_AE_AutoUploadParam	アップロードタイプ	アップロードタイプ	変数文字	アップロードタイプ - JSON、API など。
RPT_AE_AutoUploadParam	ソース タイプ	ソース タイプ	変数文字	これは連絡先のアップロードファイルのソースタイプです。ファイルはデータベーステーブル/ビュー、Service Cloud Voice ファイル、テキストファイル、JSON などがあります。
RPT_AE_AutoUploadParam	Sms データ	Sms データ	変数文字	このプロファイルを介してマップされるメッセージテキスト。

RPT_AE_AutoUp-loadParam	適用 DNC	適用 DNC	ビット	これは、プロフィールで DNC バリデーションが有効になっているかどうかを示します。1 が有効な場合。有効になっていない場合は 0。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	ユーザー ID	ユーザー ID	整数	このプロフィールを作成しているユーザーの ユーザ ID です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	日付 (Date)	日付 (Date)	datetime	プロフィールが作成された日時です。

RPT_AE_AutoUploadParam	重複フィルタ	重複フィルタ	ビット	アップロード時に連絡先の重複を確認するかどうかを指定します。
RPT_AE_AutoUploadParam	DuplicationFilterKeyID	DuplicationFilterKeyID	整数	アップロード前に重複がチェックされるキーです。
RPT_AE_AutoUploadParam	連絡先の詳細	連絡先の詳細	変数文字	これにはプロフィールフィールドのマッピング情報が含まれます。
RPT_AE_AutoUploadParam	メールの件名	メールの件名	変数文字	メールメッセージの件名です。
RPT_AE_AutoUploadParam	メールメッセージ	メールメッセージ	変数文字	メールメッセージの本文です。
RPT_AE_AutoUploadParam	メール添付	メール添付	ビット	メールに添付ファイルを含めるかどうか。
RPT_AE_AutoUploadParam	SMS テキスト	SMS テキスト	変数文字	メッセージテキストは SMS です。
RPT_AE_AutoUploadParam	デリミタ	デリミタ	変数文字	アップロードファイルで使用されるデリミタです。
RPT_AE_AutoUploadParam	[AreaCodeDelimiter]	[AreaCodeDelimiter]	変数文字	電話番号と市外局番を区別するためのデリミタです。



RPT_AE_AutoUploadParam	連絡先の次のアップロード時刻	連絡先の次のアップロード時刻	datetime	コンタクトファイルがアップロードされる日時です。これは Service Cloud に適用されます
------------------------	----------------	----------------	----------	---

				音声およびデータベース プロファイルのアップロード。
RPT_AE_AutoUploadParam	ScrubNextUploadTime	ScrubNextUploadTime	datetime	スクラブ ファイル コンタクトをアップロードする日時です。これは、Service Cloud 音声およびデータベース プロファイルのアップロードに適用されます。
RPT_AE_AutoUploadParam	自動アップロード時刻	自動アップロード時刻	datetime	ファイルが自動アップロードされた日時。
RPT_AE_AutoUploadParam	最後のアップロード	最後のアップロード	datetime	このプロファイルから最後にアップロードされた日時。
RPT_AE_AutoUploadParam	UpdateBussFld	UpdateBussFld	ビット	このプロファイル経由でアップロードされた連絡先のビジネスフィールドを更新するかどうか。
RPT_AE_AutoUploadParam	ListIdToUpdate	ListIdToUpdate	ビット	プロファイル経由で新しいアップロードが実行されたときに、リスト ID を更新するかどうか。

				を指定します。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	状態	状態	変数文字	連絡先が属する州です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNC ビジネスフィールド	DNC ビジネスフィールド	変数文字	コンタクトに DNC のマークを付けると考えられるフィールド。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	アップロード レベル	アップロード レベル	変数文字	のアップロード レベルは、

				tacts in this file - グローバルまたはキャンペーン固有のアップロード。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	IsAppend	IsAppend	ビット	アップロードプロセス中に連絡先を追加するか。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	更新日	更新日	ビット	アップロード中に連絡先を更新するか。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	上書き	上書き	ビット	アップロード中に連絡先を上書きするかを指定します。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNC キャンペーン ID	DNC キャンペーン ID	整数	特定のキャンペーンで連絡先が DNC とマークされている場合、その DNC のキャンペーン ID。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNCCountryCode	DNCCountryCode	変数文字	DNC 連絡先の国コードです。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNCAreaCode	DNCAreaCode	変数文字	DNC 連絡先の市外局番です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNCC 値	DNCC 値	整数	プロファイルの DNC フィルターの DNC Cvalue としてマッピングされたファイル ヘッダー

				のインデックスを保存します。
RPT_AE_AutoUploadParam	DNCImport Mode	DNCImport Mode	変数文字	DNC インポートモード - 自動または手動アップロード。

RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNC タイプ	DNC タイプ	変数文字	DNC タイプ - キャンペーン、カテゴリ、またはグローバル。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	永久	永久	ビット	連絡先に DNC Forever のマークが付けられているかどうか。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	NDNCBusinessFields	NDNCBusinessFields	変数文字	連絡先が NDNC としてマークされる基礎となる業務分野。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	プロフィール実行時間	プロフィール実行時間	datetime	アップロードコンタクト用のプロフィールが実行された日時。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	プロフィール パス	プロフィール パス	変数文字	このプロフィール経由でアップロードする連絡先ファイルの場所のパスです。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	郵便番号オプション	郵便番号オプション	整数	このプロフィールのオプションの追加の郵便番号です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	Modes_ZipCodes	Modes_ZipCodes	整数	郵便番号はプロフィールのモードにマッピングされています。

RPT_AE_AutoUp-loadParam	状態 STR	状態 STR	変数文字	これは、このプロファイル経由で一致する連絡先のアップロードに使用されるカスタムフィルタ条件です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	MailCC	MailCC	変数文字	キャンペーンメールの送信時にコピーされるメールアドレスです。

RPT_AE_AutoUp-loadParam	MailBCC	MailBCC	変数文字	キャンペーンメールが送信されるときに、ブラインドカーボンコピーを受け取るメールアドレスです。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	プロファイルの状況	プロファイルの状況	変数文字	プロファイルの状況 - アクティブまたは非アクティブ。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	リードスコア	リードスコア	整数	連絡先のリードスコア。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	ファイル形式	ファイル形式	変数文字	プロファイルのアップロードのファイルタイプです。たとえば、JSON、テキストなどです。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	ファイルの種類形式	ファイルの種類形式	変数文字	これはプロファイルで選択されたファイル拡張子です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNC 開始日	DNC 開始日	datetime	連絡先が DNC 状況になった日時。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNC 終了日	DNC 終了日	datetime	コンタクトが DNC コンタクトを終了する終了日時です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNCD 形式	DNCD 形式	変数文字	DNC 日付の日付形式。

RPT_AE_AutoUp-loadParam	デバイス ID	デバイス ID	整数	ID 認証通知が送信されるデバイスの ID。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	固定幅データ	固定幅データ	変数文字	データが

				固定幅のファイルからアップロードされます。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	市外局番	市外局番	整数	連絡先の市外局番です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	市区町村	市区町村	変数文字	連絡先の市区町村名です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	ゾーン名	ゾーン名	変数文字	連絡先が属するゾーン名です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	DNC キャンペーンカテゴリ ID	DNC キャンペーンカテゴリ ID	変数文字	連絡先 DNC をマークするためのキャンペーンカテゴリです。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	状態 STR 情報	状態 STR 情報		このフィールドにはコンタクトのスクラブに使用されるプロファイルの条件が保存されます。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	ビジネス フィールド DNC	ビジネス フィールド DNC	ビット	ビジネスフィールドをフィルターとして使用し、コンタクトを DNC としてマークするかどうか。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。

RPT_AE_AutoUp-loadParam	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新しいテナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	ConsentType	ConsentType	変数文字	同意タイプ - 連絡先が PEWC か非 PEWC か。

RPT_AE_AutoUp-loadParam	CPTTimeZoneType	CPTTimeZoneType	変数文字	顧客の指定時間 (CPT) の発信のタイムゾーン タイプ。たとえば、[キャンペーンのタイムゾーン]、[州のタイムゾーン] などです。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	CPTTimeZone	CPTTimeZone	変数文字	顧客の指定時間 (CPT) の発信時のタイムゾーン。たとえば、[キャンペーンのタイムゾーン]、[州のタイムゾーン] などです。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	CPTDayofWeek	CPTDayofWeek	変数文字	CPT の曜日です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	CPTTimeFormat	CPTTimeFormat	変数文字	CPT の時間形式です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	スロット開始時間	スロット開始時間	datetime	顧客が指定した最初のスロットの開始時刻です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	SlotAEndTime	SlotAEndTime	datetime	顧客が希望する最初のスロットの終了時刻です。
RPT_AE_AutoUp-loadParam	SlotBStartTime	SlotBStartTime	datetime	顧客が指定した 2 番目の最初のスロットの開始時刻。



RPT_AE_AutoUploadParam	SlotEndTime	SlotEndTime	datetime	顧客が希望する 2 番目のスロットの終了時刻です。
------------------------	-------------	-------------	----------	---------------------------

RPT_AE_AutoUploadParam	SlotCStartTime	SlotCStartTime	datetime	顧客が希望した 3 番目のスロットの開始時刻です。
RPT_AE_AutoUploadParam	SlotCEndTime	SlotCEndTime	datetime	顧客が指定した 3 番目のスロットの終了時刻です。
RPT_AE_AutoUploadParam	エリアコードが有効	エリアコードが有効	ビット	市外局番が有効になっているかどうか - これは電話番号から隔離するためです。
RPT_AE_AutoUploadParam	AreaCodeSubString	AreaCodeSubString	整数	市外局番から電話番号を区別する市外局番の部分文字列です。

モード

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_MODES	MinLength	MinLength	整数	このモードでの連絡先電話番号の最小の長さです。
RPT_AE_MODES	最大長さ	最大長さ	整数	このモードでの連絡先電話番号の最大長。
RPT_AE_MODES	チャンネル ID	チャンネル ID	整数	モードのチャンネル ID がマッピングされます。



RPT_AE_MODES	作成日時日時	作成日時日時	datetime	このモードが作成された日時です。
RPT_AE_MODES	ModifydDateTime	ModifydDateTime	datetime	日付と

				このモードが最後に更新された日時。
RPT_AE_MODES	エクスポートされたモード ID	エクスポートされたモード ID	整数	異なるソースからのモード ID です。
RPT_AE_MODES	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_MODES	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。

結果

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_Outcome	結果グループ	結果グループ	変数文字	この結果が属する結果グループ。
RPT_AE_Outcome	結果 ID	結果 ID		作成時の自動生成結果 ID。
RPT_AE_Outcome	説明	説明	変数文字	結果の説明です。
RPT_AE_Outcome	ディスプレイ名	ディスプレイ名	変数文字	結果の説明です。



RPT_AE_Outcome	ビジネスアウトカム	ビジネスアウトカム	整数	これは結果タイプを示します。 0 はテレフォニーの結果、1 はビジネスの結果です。
RPT_AE_Outcome	CHANNELTYPE	CHANNELTYPE	整数	チャンネル

				タイプを選択します。SMSに1件、VOICEに2件、3この値は、メールの場合はメール、CPAASの場合は4、IVRの場合は0です。
RPT_AE_Outcome	設定可能	設定可能	整数	これは、この結果に対する設定済みのプロパティが変更可能かどうかを示します。0は変更を許可しません。1は変更を許可します。
RPT_AE_Outcome	削除されました	削除されました	整数	これは、特定の結果が結果テーブルでソフト削除されたかどうかを示します。0が削除されました。1件のメールは削除されませんでした。
RPT_AE_Outcome	RPCType	RPCType	変数文字	これは、結果のRPCタイプをRPCまたは非RPCとして示します。
RPT_AE_Outcome	BOParentId	BOParentId	整数	親の結果グループのIDです。

RPT_AE_Outcome	IncrementRetry	IncrementRetry	整数	これは、特定の試行でリタイアの数を増やす必要があるかどうかを示します。
RPT_AE_Outcome	GlobalRetry	GlobalRetry	整数	この結果のグローバル再試行カウント。
RPT_AE_Outcome	日単位の再試行	日単位の再試行		この結果の日単位のリトライカウント。
RPT_AE_Outcome	モード再試行	モード再試行	整数	この結果のモードレベルの再試行カウント。

RPT_AE_Outcome	結果再試行	結果再試行	整数	この結果が設定されている場合、連絡先を閉じる必要があるかどうか。0 は連絡先を閉じます。1 連絡先を開いたままにしてください。
RPT_AE_Outcome	WindowRetry	WindowRetry	ビット	これは、ウィンドウの再試行が有効になっているかどうかを示します。0 は無効で、0 は無効です。1 件が有効になりました。
RPT_AE_Outcome	エージェントビュー	エージェントビュー	ビット	これは、結果がエージェントが閲覧可能としてマークされているかどうかを示します。
RPT_AE_Outcome	DefaultOffSet	DefaultOffSet	整数	は、この結果でコンタクトに再試行するデフォルトの日数を示します。
RPT_AE_Outcome	デフォルト連絡先を閉じる	デフォルト連絡先を閉じる	整数	これは、この結果のコンタクトを閉じることができるかどうかを示します。

RPT_AE_Outcome	DefaultMaxRetry	DefaultMaxRetry	整数	この出力で許可される最大再試行回数。
RPT_AE_Outcome	IsLiveCallOutcome	IsLiveCallOutcome	整数	これがライブコールアウトの結果か、またはマップされた結果かを示します。
RPT_AE_Outcome	エクスポートされた結果 ID	エクスポートされた結果 ID	整数	別のプラットフォームまたはダイヤラーからエクスポートされた結果の ID です。

RPT_AE_Outcome	外部結果 ID	外部結果 ID	整数	使用されていません。
RPT_AE_Outcome	テナント ID	テナント ID	整数	テナント ID は、新しいテナントが作成されたときに、アプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_Outcome	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID は新規テナントが作成されるとアプリケーションにより自動生成されます。

キャンペーン ビジネス フィールド

ソース表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_Campaign_BusinessFields	キャンペーン ID	キャンペーン ID	整数	これは自動生成されたユーザの一意の識別子です。
RPT_AE_Campaign_BusinessFields	フィールド名	フィールド名	変数文字	キャンペーン用に設定された事業分野です。すべてのビジネスフィールドが一覧表示されます。
RPT_AE_Campaign_BusinessFields	データタイプ	データタイプ	変数文字	ビジネスフィールドのデータ型（数値、浮動小数点、または日時指定）です。
RPT_AE_Campaign_BusinessFields	形式	形式	変数文字	ビジネス フィールドのデータ タイプがフィールドの場合の日付の形式です。

RPT_AE_Campaign_BusinessFields	ビジネスフィールド	ビジネスフィールド	変数文字	アプリケーションが生成する業務フィールド ID です。
RPT_AE_Campaign_BusinessFields	SQL 式	SQL 式	変数文字	文字列以外のデータ型のビジネスフィールドは、ビジネスフィールド ID を持つこの列にキャストされます。

パフォーマンス メトリックス

リアルタイムコンソールは、継続的に更新されるキャンペーンのデータを 15 秒のリフレッシュレートで提供します。これには、試行率、RPC % (Right Party Connect の割合)、および包括的なキャンペーンコンタクトの統計などの重要なメトリックが含まれます。

[レポート] > パフォーマンス に移動して [パフォーマンスメトリックス] ページを開きます。[パフォーマンス メトリックス] ページは、[キャンペーンの概要] のリアルタイム データを表示します。

キャンペーンの要約

キャンペーンの概要は、キャンペーン レベルのパフォーマンスを示します。キャンペーンレベルの予測パラメータと現在のダイヤラーペースデータの両方が表示されます。

キャンペーンの概要には次のパラメータが含まれます:

フィールド	説明
キャンペーンの詳細	
キャンペーン	キャンペーンの名前。
キャンペーンのステータス	キャンペーンの現在の状況。
システムレベルの状況	
利用可能な連絡先の合計数	その日の [オープン状態] のコンタクトの合計数。
ダイヤルされたコールの合計数	当日の合計試行回数。
応答した通話の合計数	日に接続済みのエージェント接続と留守録を含む連絡先の合計数。
進行中の通話の合計数	ダイヤラーによって現在ダイヤルされているライブ コールの数。
平均処理時間 (Average Handle Time)	平均通話時間と ACW 時間の合計を 応答した合計通話数で割った値。
推定完了時間	現在のペースによって異なる、キャンペーンの推定キャンペーン完了時間。
完了 %	連絡先テーブルのすべてのレコードを考慮して、クローズされた連絡先数を連絡先合計数で割った値。
接続 %	試行および応答がダイヤルされた固有連絡先の合計数を、当日ダイヤルされた固有連絡先の合計数で割った値。
試行回数 %	当日にダイヤルされた合計コール数を試みた固有連絡先合計数で割った値。



試行接続 %	応答済みコール数を当日にダイヤルされた合計コール数で割った値。
成功 %	ダイヤル済み通話で、「ビジネスの成果が成功」または「電話が-

	ライブ通話選択で成功としてマークされた偽の結果を、当日にダイヤルされた合計コール数で割った値。
RPC %	結果タイプが RPC のダイヤル通話総数を、当日のダイヤル通話総数で割った値。
開いている割合 (%)	連絡先テーブルのすべてのレコードを考慮して、ステータスがオープンになっている連絡先の合計を連絡先の合計数で割った値。
最新の %	連絡先テーブルのすべてのレコードを考慮して、「最新 (オープンおよび試行なし)」 状況の連絡先の合計を連絡先の合計数で割った値。
% の再スケジュール	表の [再スケジュール] ステータスを持つ [進行中および少なくとも 1 回の連絡先] ステータスのすべての記録を考慮して、総人数で割った値。
完了した %	コンタクトテーブルのすべてのレコードを考慮して、ステータスが「完了したコンタクト」を合計「コンタクト」数で割った値。
今日の統計	
開いている割合 (%)	現在開いている連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の開始時点で開いている状態の連絡先数の合計で割った値。 開いている連絡先は、ダイヤルできるレコードです。
最新の %	[最新 (オープンおよび試行されていない) ステータス] のコンタクト数を、今日アップロードされたコンタクトの合計数と、その日の初めのオープン ステータスのコンタクト数の合計で割った値。 新しい連絡先とは、まだ試行されていないレコードのことです。
% の再スケジュール	現在再スケジュールされている (オープンおよび少なくとも 1 回試行された) ステータスのコンタクト数を、本日アップロードされたコンタクトの合計数と、その日の開始時点でオープン状態のコンタクト数の合計で割った値。 再スケジュールされた連絡先とは、1 回以上の試行があり、リダイヤルを待っている 連絡先のことです。
完了した %	ステータスが [クローズ済みコンタクト] を、本日アップロードされたコンタクトの合計数と、その日の開始時点でオープン状態のコンタクト数の合計で割った値。 クローズしたコンタクトとは、ダイヤルできず、システムまたはユーザによりクローズされたレコードのことです。



パス レベル統計	
1% を渡す	本日、1 回しか試行していない連絡先数を、本日アップロードされた連絡先合計数と、その日の開始時点で未対応の連絡先数との合計で割った値。
2% を渡す	本日 2 回しか試行していない連絡先数を次の合計数で割った値：

	本日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の開始時の [オープンな状態の連絡先数] を表示します。
3% を渡す	本日、試行が 3 回しかない連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の開始時点で未対応の連絡先の数で割った値。
合格 4%	本日、4 回しか試行していない連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の開始時点でオープン状態の連絡先の数で割った値。
5% を渡す	本日、試行が 5 の連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の開始時点でオープン状態の連絡先の数の合計で割った値。
> 合格 5% (PassGRID- erThanFivePercentage)	本日、5 回以上の試行であった連絡先の数を、本日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の開始時点でオープン状態の連絡先の数で割った値。

レポート フィルタ条件

レポート モジュールには強力なフィルターが備わっており、これによりユーザはコンタクト センターのマクロ ビューを確認したり、コンタクト、コール、またはエージェントのマイクロ レベルにドリルダウンすることができます。以下のパラメータに基づいてレポートをフィルタリングすることができます。

タイムゾーン

特定のタイムゾーンの履歴レポートを生成できます。他のフィルター条件を選択する前に、[タイムゾーン] ドロップダウンからタイムゾーンを選択します。

メモ注意: これはオプションの構成です。タイムゾーン別のレポートを取得するには、LCMService web.config ファイルでプロパティ IsTimeZoneRequiredForFilter を true に設定する必要があります。

レポート データは、選択した周期に基づいて入力されます。

- **今日** フィルターは、選択したタイムゾーンの現在の日付に関するレポートデータを表示します。
- **昨日** フィルターは、前日から選択したタイムゾーンの午前 0 時までのレポートを表示します。
- **今週** フィルターは、選択したタイムゾーンで月曜日から本日までのレポートデータを表示します。
- **今月** フィルターは、カレンダー月の初日から当日までのレポート データを、選択したタイムゾーンで表示します。



- ・ **カスタム フィルター**は、選択したタイムゾーンの [開始日] と [終了日] に基づいて日付範囲のレポート データを表示します。

グローバルリスト

すべてのグローバルリストが選択対象として表示されます。 単一選択と複数選択の両方が可能です。すべてのグローバルリストを選択するには、 **すべて選択**。

キャンペーン グループ

選択したグローバルリストの連絡先を含むすべてのキャンペーングループが入力されました。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーングループを選択するには、 **すべて選択**。

キャンペーン

選択したキャンペーングループの連絡先を含むすべてのキャンペーンにデータが入力されました。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーンを選択するには、 **すべて選択**。

メモ: 単一のキャンペーン選択で次のレベルへのフィルタリングが可能です。 複数のキャンペーンを選択すると、次のレベルへのフィルタリングは無効になります。 このレベルのレポートを表示する。

リスト

このキャンペーン用にアップロードされたすべての連絡先リストにデータが入力されました。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのリストを選択するには、 **すべて選択**。

メモ: リストには、日付パネルのデフォルトの日付、つまり現在の日付が入力されます。 さらにリストを選択するには、 [日付] パネルから日付を選択し、 [OK] をクリックします。 入力済みのリストから、レポートに必要なリストを選択します。

CSS グループ

選択したリストに適用できるすべての連絡先選択戦略 (CSS) を選択できます。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループを選択するには、 **すべて選択**。

CSS グループ条件

上記の CSS グループの条件が入力され、選択できるようになります。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての条件を選択するには、 **すべて選択**。

上記のフィルター選択の任意の段階で、次をクリックします。 **検索** 特定の文字列の項目に入力します。

フィルター選択の任意の段階で、次をクリックします。 **レコードを表示** その選択レベルまでのレコードがレポートに追加されます。 フィルターを選択している場所から、キャンペーン レベルに直接戻ることができます。 この後、キャンペーンの選択を解除して [キャンペーングループ] に戻し、キャンペーングループの選択を解除してグローバルリストレベルに戻す必要があります。

メモ注意: 選択したフィルター基準に応じて、各レポートに異なる列を含めることができます。 スクリーンショットは、幅広いフィルター基準（すべてのキャンペーンを選択）からレポートを撮影したものです。 したがって、これらは説明のためのものに過ぎません。